

目黒区美術館年報

昭和62・63年度

目黒区美術館年報



昭和62・63年度

目次

事業

I. 展覧会	6
II. ワークショップ	74
III. 入館状況	86
IV. 作品収集	88
V. 作品貸出	104
VI. 調査研究	107
VII. 刊行	112
VIII. 区民ギャラリー	114
IX. ボランティア	116

資料

I. 沿革	118
II. 施設	120
III. 規程	122
IV. 組織	129
V. 名簿	130
VI. 案内	132

I. 展覧会

プレビュー・目黒区美術館

会期：1985(昭和60)年11月12日－17日

会場：目黒区民センター2F 第一、二集会室

主催：目黒区教育委員会

目黒区教育委員会美術館開設準備室では、芸術文化の振興とコミュニティ形成の一拠点となることをめざし、2年後の1987年の開館にむけて、建築設計、作品収集、展覧会・ワークショップの計画、その他館の基本的な活動についての準備をすすめていた。この美術館のめざす全体像を呈示し、その準備経過を報告することにより館建設についての理解と協力を広く求めるために、プレビュー(予告)としての美術館の展覧会「プレビュー・目黒区美術館」を開催した。展示は、既に収集された作品から収集の中心である日本人作家の滞欧米作品、今日の我々を取り巻く新しいテクニックの作品、またワークショップ教材として館独自に制作した絵画材料見本などから構成された。

●パンフレット

寸法(縦×横)：29.7×21.0cm

ページ数：4頁

デザイン：矢萩喜従郎

内容：展示作品について

絵画材料見本

展示作品リスト

●ポスター サイズ：B2 / デザイン：矢萩喜従郎

●ハガキ サイズ：15×11.7cm



会場風景



B2ポスター

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
1	鹿子木孟郎	海辺の牛	1903	油彩	60.0×71.0	目黒区美術館
2	安井曾太郎	パリ公園風景	1911頃	油彩	33.4×41.3	目黒区美術館
3	森田恒友	風景	1915	油彩	45.8×55.0	目黒区美術館
4	岡鹿之助	信号台	1926	油彩	45.5×53.0	目黒区美術館
5	児島善三郎	フランス風景	1927	油彩	65.3×80.4	目黒区美術館
6	高島達四郎	少年青帽	1927	油彩	115.9×72.8	目黒区美術館
7	坂田一男	浴室の二人の女	1928	油彩	100.0×80.7	目黒区美術館
8	国吉康雄	風景	1929	油彩	51.2×76.7	目黒区美術館
9	村井正誠	ゴルフジュアンの船	1929	油彩	100.0×80.5	目黒区美術館
10	田中 保	金髪の裸婦	1920/1930	油彩	87.0×90.0	目黒区美術館
11	野田英夫	汽車に坐せる少女	1932	油彩	37.3×35.2	目黒区美術館
12	北川民次	女	1935	油彩	61.0×46.0	目黒区美術館
13	今井俊満	黒い太陽	1956	油彩	60.0×91.8	目黒区美術館
14	菅井 汲	山の道	1960	油彩	90.0×61.0	目黒区美術館
15	川村清雄	幼児石膏習作	1870/1881	素描	12.0×11.8	目黒区美術館
16	山下新太郎	裸婦, パリー	1905	素描	25.5×17.6	目黒区美術館
17	清水登之	裸婦	1914	素描	60.0×45.5	目黒区美術館
18	白龍幾之助	裸婦	1904/1910	素描	61.8×48.0	目黒区美術館
19	田中 保	裸婦	1920/1930	素描	61.0×40.5	目黒区美術館
20	藤田嗣治	裸婦	1929	素描	71.5×128.5	目黒区美術館
21	矢萩喜徳郎	ストリート, 銀座1〜8	1984	立体	80.0×600.0× 120.0(h)	目黒区美術館
22	岩井俊雄	時間層II (毎日新聞社寄託)	1984	立体	120.0×120.0× 200.0(h)	目黒区美術館

プレビュー・目黒区美術館 2

会期：1986(昭和61)年9月9日-15日

会場：目黒区民センター 2F 第一、二集会室

主催：目黒区教育委員会

目黒区教育委員会美術館開設準備室は、前年の「プレビュー・目黒区美術館」に引き続き、美術館建設への理解と協力を広く求めるため「プレビュー・目黒区美術館 2」を開催した。展示は、収蔵作品から戦後国際的に活躍してきた日本の現代美術家の先駆的作品、現代版画家の版画集によって構成した。また、ワークショップでは「森の中のふしぎな動物園」と題して子供のための造形講座を開催した。

●パンフレット

寸法：29.7×21.0cm

ページ数：4頁

デザイン：矢萩喜徒郎

内容：展示作品について

ワークショップ

展示作品リスト

●ポスター サイズ：B2, B3 / デザイン：矢萩喜徒郎

●ハガキ サイズ：15×11.7cm



会場風景



B2ポスター

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	田淵安一	天の史	1954	油彩	86.0×73.0
2		影の通り道	1959	油彩	160.0×90.0
3	菅井 汲	白	1956	グアッシュ	81.0×67.0
4		黒い手帖	1963	油彩	100.0×81.0
5	今井俊満	新緑	1958	油彩	100.0×110.0
6		黒猫と少女	1964	コラージュ, ドローイング	65.0×50.0
7	堂本尚郎	コンポジション	1959	油彩	113.0×150.0
8	岡田謙三	間隔	1958	油彩	202.0×172.0
9	荒川修作	無題	1964	油彩	158.0×115.0
10	草間彌生	無限の網B	1961	アクリル	194.0×390.0
11		No.1 鏡の部屋—愛は永遠に	1964	ミクストメディア	75.0×75.0×170.0(h)
12	中林忠良	「剝離される日々」より 因われる風景—蒼き森	1973	エッチング, アクアチント, メゾチント	29.9×25.3
13		「剝離される日々」より 因われる風景—孤海	1973	エッチング, アクアチント, メゾチント	29.9×25.2
14		「剝離される日々」より 因われる風景—秋愁	1973	エッチング, アクアチント, メゾチント	29.8×25.2
15		「剝離される日々」より 因われる風景—浸食の道程	1973	エッチング, アクアチント, メゾチント	30.0×25.3
16		「剝離される日々」より 因われる風景—払暁	1973	エッチング, アクアチント, メゾチント	30.0×25.3
17	黒崎 彰	「アメリカ」より スミソニアン博物館	1975	木版, 亜鉛凸版	43.1×30.0
18		「アメリカ」より ストリーキング	1975	木版, 亜鉛凸版	30.0×42.8
19		「アメリカ」より ニクソン脱税事件	1975	木版, 亜鉛凸版	42.9×30.0
20		「アメリカ」より ポストン・コモンの日曜日	1975	木版, 亜鉛凸版	30.0×42.8
21		「アメリカ」より ハーバード大学	1975	木版, 亜鉛凸版	42.9×30.0
22	野中ユリ	「イリュミナシオン」より 大洪水の後	1975	リトグラフ, コロタイプ	55.1×41.5
23		「イリュミナシオン」より 神秘	1975	リトグラフ, コロタイプ	57.3×42.7
24		「イリュミナシオン」より 神秘	1975	リトグラフ, コロタイプ	55.1×41.3
25		「イリュミナシオン」より 花々	1975	リトグラフ, コロタイプ	55.4×41.3
26		「イリュミナシオン」より 野蠻	1975	リトグラフ, コロタイプ	55.1×43.0

目黒区美術館開館記念展 スイス現代美術家滞日90日展

会期：1987(昭和62)年11月15日－1988(昭和63)年1月17日
会場：展示室A・B・C，展示ロビー，エントランスホール，
ワークショップ，区民ギャラリー
主催：目黒区美術館，ジュネーヴ市立歴史美術館
後援：プロヘルベティア文化財団，在日スイス大使館，文化庁
担当学芸員：矢内みどり

この展覧会のために、20年以上のキャリアを持ち国際的な活動をしてきた、スイスの各都市出身の5名の作家、バルタザール・ブルカルト(ベルン)、ジャンフレド・カメージ(メンツォニオ)、マリアンヌ・アイゲンヘル(バーゼル)、レオン・シュビゲール(ジュネーブ)、ニエーレ・トローニ(ロカルノ)が来日し、それぞれ約3か月滞在した。彼らは開館前の美術館で作品の構想を練り、素材を調達し、制作・展示をしながら日本の生活を経験したのである。また、展覧会カタログ(6冊組)のためにひとり一冊ずつアーティスト・ブックを制作した。オープン後は会場で制作過程を撮影したビデオを放映し、さらに自作を語るレクチュアを持ち参加者と交流を図るというアーティスト・イン・レジデンスならではの企画であった。展示作品は、各作家が展示空間を実際に見て場所を決め、プランを立てたものであるため、建築構造との融合が計られ、自然な流れの動線によってゆったりと鑑賞することが可能となった。また制作環境と作品の相関関係について興味深いデータが得られた。完成品の作品の鑑賞だけでなく制作過程も重視し、国際的な視野をもつという姿勢は、今後も続けていくものである。

●カタログ

寸法(縦×横)：外箱31×22×3.3cm/29.8×21cm(1冊)／
22×16.5cm(5冊)

ページ数：48頁(1冊)／32頁(5冊)

デザイン：外箱，大カタログ－矢萩喜従郎／小カタログ－
各々，バルタザール・ブルカルト，ジャンフレド・
カメージ，マリアンヌ・アイゲンヘル，
レオン・シュビゲール，ニエーレ・トローニ

内容：開館記念展に当たって(加藤貞雄)／メッセージ(駐
日スイス連邦大使 ロジェー・ベアー)／作家論(ジ
ュネーヴ市立歴史美術館学芸員 エンデル・タイシ
ャー)／制作の現場から(矢内みどり)／図版／作家
略歴，インタビュー／作品リスト

●ポスター サイズ：B1，B3／デザイン：矢萩喜従郎

●チラシ サイズ：B5

●関連行事

1月14日 「スイスの現代美術」 講演(エンデル・タイシ
ャー)

1月15日 「国際化時代と美術－アーティスト・イン・レジ
デンスを機に－」
シンポジウム(エンデル・タイシャー，バルタザ
ール・ブルカルト，ジャンフレド・カメージ，
マリアンヌ・アイゲンヘル，レオン・シュビ

ゲール，ニエーレ・トローニ，矢口國夫，伊藤
公象，加藤貞雄)

1月15日 ワークショップ(マリアンヌ・アイゲンヘル)

1月18日 ワークショップ(ニエーレ・トローニ)

11月21日 ワークショップ(レオン・シュビゲール)

11月22日 ワークショップ(ジャンフレド・カメージ)

●主要関連記事

『スイス現代美術家滞日90日展』 無署名 新美術新聞
1987年12月1日

『Swiss Artists in residence in Japan』 Peter Mollen-
kof Japan Times 1987年12月20日

『折衷を超えた「融合」を示す「記憶の美術館」に残る5氏』
米倉守 朝日新聞 1987年12月23日(夕刊)

『多彩な表現の語法スイス現代美術家滞日90日展』 三田晴
夫 毎日新聞 1987年12月25日(夕刊)

『ものを作るプロセスに価値を探る』 無署名 読売新聞
1988年1月16日(夕刊)



B1ポスター



制作風景(ニエーレ・トロニー)



ニエーレ・トロニー「絵画の庭」目黒区美術館、東京、1987

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	バルタザール・ブルカルト	無題	1987	写真、鉄フレーム	165.0×130.0(2点) 165.0×80.0(1点) 125.0×100.0(2点) 125.0×45.0(1点) 110.0×75.0(1点) 97.5×65.0(4点) 97.5×40.0(1点)
2	ジャンフレド・カメージ	ラムダ、精神—生命力学の空間	1987	A. 立体 金属、木、花崗岩、硝子、鏡、植物(盆栽)、石、砂、木の幹、アクリル B. 壁面構成 木、カードボード、アクリル、鉛直線、板、水、石、木の幹、釘 C. 水平線一点・線 釘	1944.0×320.0× 106.0(H) 273.5×828.0 1118.0
3	マリアヌス・アイゲンハール	ドン・ジョバンニの微笑み	1987	紙、グアッシュ	152.0×702.0(1点) 152.0×539.0(1点) 152.0×492.0(1点) 100.0×74.0(14点)
4	レオン・シュビゲール	船酔い	1987	綿キャンヴァス、アクリル	100.0×100.0(11点) 150.0×300.0(2点)
5	ニエーレ・トロニー	絵画の庭、目黒区美術館、東京、1987	1987	壁、板、パネル、和紙、水性塗料	1920.0×850.0× 325.0(H)

所蔵作品展 I —意味のたし算

会期：1988(昭和63)年1月23日—2月21日

同時開催：ワークショップ・手と目の冒険広場「素材との触れあい—木」

会場：展示室A・B, 展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

常設展示スペースをもたない目黒区美術館では、所蔵作品を、そのつどテーマをさだめた「所蔵作品展」で公開。その第1回としての本展では、作品の美術史的な背景、制作の方法論や造形的な思考、作家のおかれた状況などさまざまな着眼点から22のキーワードを選び、それによって作品を2点一組にむすびつけて展示し、ひとつの作品が別の作品とむすびつけられることによって生まれる新たな「意味」や魅力をさぐった。

これらのキーワードは、総体としては、日本人作家の留学体験や海外とのかかわりを重視した当館の作品収集を観覧者にわかりやすく示すことをねらって選択し、さらにそれぞれのキーワードが今後の所蔵作品展で独立して展開できることを条件に加えて、本展に一連の「所蔵作品展」シリーズの導入部としての性格をもたせた。また、展示手法の上では、開館直後であることを考慮して、建築物としての美術館をプレーンに見せることを意図した。

●カタログ

「目黒区美術館所蔵作品展」を刊行。同図録には本展の出品作品と同じ作品を掲載。

寸法：29.6×21.0cm

ページ数：40頁(さしこみ解説8頁を含む)

内容：「コレクションについて」

「作品解説」(さしこみ)

●解説パンフ

会期中、上記の図録に展示解説(4頁)を付けて販売した。

寸法：29.6×21.0cm

ページ数：4頁

内容：ごあいさつ(加藤貞雄)/意味のたし算(山田敦雄)/
展示内容解説

●ポスター サイズ：B3(ワークショップと兼用)



B3ポスター

出品目録

No.	「対」タイトル	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	「滯欧」のもたらしたもの	鹿子木孟郎	アブニューオッシュ	1916—17	油彩, キャンバス	50.1×61.0
		満谷国四郎	ブルターニュ	1913	油彩, キャンバス	46.6×55.5
2	もう一人の作家	安井曾太郎	パリの公園	1911	油彩, キャンバス	33.2×41.0
		沢部清五郎	くつ下の女	1912	油彩, キャンバス	51.0×40.5
3	光をつかまえる	齋藤豊作	羊飼	1906—12	油彩, キャンバス	45.6×38.0
		太田喜二郎	雪の朝	1908—13	油彩, キャンバス	74.2×50.0
4	第三の素材	武内鶴之助	ロンドン郊外	1908—12	パステル, 紙	15.3×21.5
		武内鶴之助	雲(9点)	1908—12	パステル, 紙	
		矢崎千代二	マルセーユ	1925	パステル, 紙	72.8×53.2

No.	「対」タイトル	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)
5	過程 2	中村義夫	ブルターニュの女	c.1921-26	油彩, キャンバス	146.2 × 97.0
		中村義夫	ブルターニュの女	c.1921-26	パステル, 紙	62.8 × 48.0
		中村義夫	ブルターニュの女	c.1921-26	木炭, 紙	64.0 × 48.0
6	もう一枚の絵	北 蓮蔵	コンセルジュ	c.1929	油彩, キャンバス	146.3 × 113.8
		北 蓮蔵	コンセルジュ (岐阜県美術館蔵・参考写真)	c.1931	写真パネル	
7	作家はカメラではない	鈴木良三 撮影: 益子明倫	モレーの寺院 (1986年の現地写真)	1931	油彩, キャンバス 写真パネル	80.3 × 65.2
8	セザンヌと出会った日本人	児島善三郎	フランス風景	1927	油彩, キャンバス	65.3 × 80.4
		森田恒友	風景	1915	油彩, キャンバス	45.6 × 54.9
9	若い作家と街	大橋了介	町外れの家	1927-33	油彩, キャンバス	60.6 × 73.3
		横手貞美	風景	1927-30	油彩, キャンバス	52.0 × 72.0
10	アメリカ時代の不安	国吉康雄	風景	1929	油彩, キャンバス	50.8 × 76.5
		野田英夫	車中の少女	1932	油彩, パーティクルボード	37.4 × 35.4
11	NUDE	藤田嗣治	裸婦	1929	鉛筆, 紙	71.5 × 128.5
12	日本人の油彩	田中 保	金髪の裸婦	c.1920-30	油彩, キャンバス	88.5 × 91.2
		高島達四郎	食卓	1927	油彩, キャンバス	80.9 × 99.8
13	帰国した作家たち	清水登之	肉屋	1926	油彩, キャンバス	80.8 × 65.2
		海老原喜之助	蹄	1936	油彩, キャンバス	111.2 × 144.7
14	移動と内省	里見勝蔵	女	1930	油彩, キャンバス	80.3 × 116.7
		栗原忠二	ベニス	c.1926	油彩, 紙	23.5 × 34.5
15	私は何を描くのか 1	森田元子	婦人	c.1925-27	油彩, キャンバス	72.7 × 60.7
		岡鹿之助	信号台	1926	油彩, キャンバス	45.7 × 53.2
16	新しい人	坂田一男	浴室の二人の女	1928	油彩, キャンバス	100.1 × 81.0
		村井正誠	ゴルジュ・ド・ルー	1928	油彩, キャンバス	80.4 × 100.4
17	私は何を描くのか 2	矢橋六郎	ポンヌフ	1931	油彩, キャンバス	80.4 × 100.0
		国松桂溪	静物	c.1920-24	油彩, キャンバス ボード	19.0 × 23.9
18	石造りの街で	荒井龍男	彩色サレタレ歌	1938	油彩, 板	32.9 × 24.0
		角 浩	パリの屋根	1938	油彩, キャンバス	80.7 × 100.2
		浜口陽三	パリの屋根	1956	カラーメゾチント, 紙	14.8 × 19.9
19	ノートル・ダムの前で	猪熊弦一郎	ノートル・ダム	1938-39	油彩, キャンバス	81.2 × 54.3
		山尾薫明	夜のノートル・ダム	1933	油彩, キャンバス	81.1 × 53.1
20	時代のエネルギー	野見山曉治	ジブシーの小屋	1954	油彩, キャンバス	96.6 × 129.5
		今井俊満	黒い太陽	1956	油彩, キャンバス	60.1 × 92.3
21	電気冷蔵庫と遊園地	篠原有司男	コニーアイランド遊園地	1974	アクリル, キャンバス	191.0 × 241.0
		荒川修作	無題	1964	油彩, キャンバス	158.1 × 114.4
22	過程 1	岡田謙三	三つの四角形	1970	油彩, キャンバス	206.5 × 132.0
		岡田謙三	エスキース (5点)	c.1960-70	コラージュ	

昭和62年度目黒区立小中学校連合展覧会

会期：1988(昭和63)年1月23日－2月7日

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区立小学校長会，目黒区立中学校長会，
目黒区立心身障害学級設置校長会，目黒区教育会，
目黒区美術館，目黒区教育委員会

担当学芸員：塚本紀久子

区立小学校，中学校，心身障害学級の児童・生徒の作品を一堂に集め，今後の児童・生徒の創作意欲にこたえ
るとともに，豊かな人間性を育む情操教育に寄与することを目的に開催した。

あわせて，保護者および広く区民の鑑賞に供すことで目黒区の美術等の教育に対する一層の理解を得ることに
も努めた。

点数：小学校 約800点／中学校 約500点／心身障害学級 約200点／合計 約1500点

●パンフレット

寸法：29.7×21cm

ページ数：4頁

内容：あいさつ(主催者)／小学校図画工作科，中学校美術
科，中学校国語科書写，心身障害学級各担当の先生
(執筆)

●ポスター サイズ：B3

●チラシ サイズ：A5



B3ポスター

目黒区の書道家展

会期：1988(昭和63)年2月13日－18日

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：塚本紀久子

地域に根ざした美術館としてオープンした目黒区美術館の開館記念の一環として開催した。現在活躍している区内在住等の主な書作家の漢字・かな・篆刻等の作品を一堂に展示し・紹介した。目黒区の書道芸術のさらなる発展と、これが地域の文化振興に寄与することを目的として開催した。

●カタログ

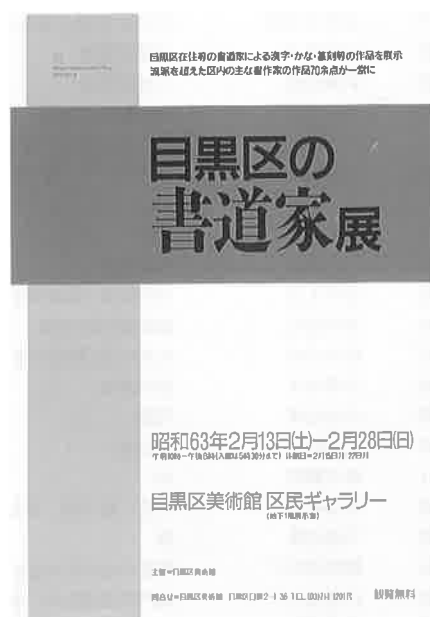
寸法：27.7×21.0cm

ページ数：24頁

●ポスター サイズ：B3

●チラシ サイズ：B5

●ハガキ サイズ：15.0×10.6cm



B3ポスター

出品目録

No.	書家名	釈文	種類	寸法	形状
1	青木瑞苑	三月桃華浪也紅	篆刻		額
2	青柳敬政	冬の夜の坐りなほして風きくや(大野林火句)	かな	半切	額
3	浅香恵堂	峨眉山月半輪秋……(李白)	刻字	小品	額
4	天野白陽	水門風寒く吹くらし奈呉の江に……	かな	小品	軸
5	飯島春敬	雪降るといひしばかりの人静か(室生犀星)	近代詩文書	小品	額
6	池田少雲	朝に辞す白帝彩雲の間……	漢字	全紙	額
7	石田久紘	百億の目の玉凍てる核の冬	近代詩文書	半切	額
8	宇田敬絃	久方の光のどけき春の日に……(紀友則)	かな	半切	額
9	大坪典子	い都しかととや万の霞多ち可へり……	かな	半切	軸
10	大藪扇山	故人西辞黃鶴樓……(李太白詩)	漢字	半切	額
11	岡田玲舟	谷深み春の光のおそければ……(新古今和歌集より)	かな	小品	額

No.	書家名	取文	種類	寸法	形状
12	岡部初子	一松いくよかへぬるふく風の	かな	半切	軸
13	荻須耕陽	晴樹遠浮青峰出 春江曉帶白雲流	漢字	半切	額
14	小原紫琴	山茶花へ青木へ木瓜へ忙しく……	かな	半切	軸
15	笠川瑞舟	鄧石如臨畢沅詩一節	漢字	半切	軸
16	風間凌山	光通九華殿	漢字	聯落	額
17	加藤和香	桃李不言不自成蹊	漢字	小品	軸
18	神谷玉瑛	幽懷暢	漢字	小品	軸
19	北島菁丘	三輪山を鹿も隠すか雲だにも	かな	聯落	額
20	北村泰一	五経掃地	篆刻		額
21	工藤小波	義公習禪寂 結宇依空林……(孟浩然詩)	漢字	半切	軸
22	栗林松雅	この朝け道のくぼみに残りたる……	かな	半切	額
23	栗山鳳雪	青々たる園中の葵 朝露日を待ちて啼く(長歌行)	漢字	聯落	額
24	相良憲泉	掃石共看山色坐 枕書同唫雨聲眠(許棻)	漢字	半切	軸
25	佐々晶笛	秋夜沈沈として此に君を送れば……(皇甫冉)	漢字	半切	軸
26	左治木紫翠	呉大激篆書宋周眞人廟碑臨	漢字	全紙	軸
27	三宮濃李	清懷如蘭香	漢字	小品	軸
28	首藤佳泉	天高群星近	漢字	半切	額
29	神保芳祥	林表秋山白鳥飛……(孤山從上人林亭字望)	漢字	半切	軸
30	鈴木觀山	雲母の空窗曉煙薄く……(温庭筠)	漢字	全紙	軸
31	鈴木般山	參省(荀子) 鑿辟偷光(西京雜記)	篆刻		額
32	関 墨水	和染	漢字	半切	額
33	高橋照弘	樓居	漢字	全紙	額
34	竹内久晶	緑満窓前	漢字	半切	軸
35	竹内太蒼	清閑之飲(藤原行成筆 本能寺切の傲書)	漢字	半切	額
36	田中華愁	幽趣當於絃外聽	漢字	小品	軸
37	田中赤城	松風吹耳(禪林句集より)	漢字	半切	軸
38	田淵觀齋	情深潭水	漢字	半切	額
39	丹治思郷	円融	漢字	半切	額
40	續木湖山	幾山河	漢字	聯落	軸
41	塚本劉堂	雨	漢字	全紙1/2	額
42	津守祥玉	対君 君不語 不語意悠哉……	漢字	小品	軸
43	手島右卿	響	漢字	小品	額
44	徳野恵美子	初夏の山のなかなるふる寺の……	かな	全紙	額
45	戸塚嶺月	洞門高閣靄餘暉 桃李陰陰柳絮飛……(王維之詩)	漢字	聯落	額
46	中島光子	劫初より作りいとなむ殿堂に……(与謝野晶子)	かな	小品	軸
47	中野大雅	在	漢字	小品	額
48	中村旭坡	今日巖前坐 坐久烟雲収……(寒山詩)	漢字	半切	軸
49	西川 寧	濁酒半壺	漢字	小品	額
50	畠中莫愁	長嘯懷人 深心豪素	漢字	聯	額
51	服部虚舟	故人西辞黄鹤楼 煙花三月下揚州……(李白詩)	漢字	半切	額
52	原嶋竹堂	松風の落葉か水の音涼し	かな	小品	軸
53	廣戸明芳	幽居氣味長	漢字	小品	軸
54	深澤芝仙	不失花	漢字	小品	軸
55	福井玉華	文魚字識唐金匱 雄虎威傳古玉璋(呉大激臨)	漢字	聯	軸
56	藤田金治	訊	漢字	小品	額
57	藤田紫香	墨池新水籠鷺帖 彩筆清風宿鳳枝(沈石田)	漢字	半切	軸
58	堀 桂琴	い多つ支能いゆる日しらにき底辺に……	かな	小品	額
59	堀田小葉	富士ひとつづみのこして若葉かな	かな	全紙1/2	額
60	松井恵美子	静さや花なき庭の春の雨(高浜虚子)	かな	半切	軸
61	道脇瑞草	曹全碑	漢字	聯落	軸
62	皆川抱石	祿是聚	漢字	小品	額
63	室岡節子	めづらしくわが思ひやる鹿の音を……	かな	半切	額

No.	書家名	釈文	種類	寸法	形状
64	持田春翠	朝の土から拾ふ(種田山頭火)	かな	小品	額
65	保浦玉英	おく山に紅葉ふみわけ鳴く鹿の……	かな	小品	額
66	山崎淳子	Kai	前衛書	小品	額
67	山崎方石	忘懐得失(陶淵明)	篆刻		額
68	山田春華	漢禮器碑臨書	漢字	半切	軸
69	山本静華	無事此静坐 有福方讀書	漢字	聯	軸
70	吉田蘭舟	香を聞いて染心を去る	漢字	半切	額
71	渡辺智津子	壺中世界青天近卷内詩篇白雪高	漢字	半切	軸
72	渡邊三代子	山吹や暮れゆく水のとどまらず(水巴の句)	かな	小品	軸
73	佐藤久雅	言葉は人の道具である(高田敏子)	近代詩文書	半切	額

美術史探索学入門

美術館時代が掘り起こした作家達展

会期：1988(昭和63)年2月27日－3月27日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー

ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館

担当学芸員：正木 基，山田敦雄，重田 誠

全国に公立・私立の美術館が相次いで建設された1970年代が美術館のハードの時代だとするならば，1980年代は美術館のソフトの時代の幕開けといえるだろう。そうした時代の趨勢のなかで顕著だったもののひとつが，既成の美術史でフォローされていなかった作家たちの発掘・再評価であった。ただそうした作家達は無名ということや地方美術館による地元美術の顕彰を目的としたものが多かったため，東京での公的な紹介はほとんどなされていなかった。こうした視座から，再評価の機運にある作家達の仕事をまとめ，日本近代美術史の厚みと地方美術館の地道な調査・研究の成果とをあわせて紹介しようとしたのが本展である。作家はアカデミズムから香田勝太，フォーヴィスムから手塚一夫，抽象から山口正城，シュルレアリスムから藤野一友，そして現代美術としての写真から山中信夫をとりあげた。なお，カタログに掲載する作家論，資料については該当作家の展覧会を担当した学芸員の方々にお願いするなど各美術館から全面的な協力を受けた。

●カタログ

寸法：29.7×21.0cm

ページ数：176頁

デザイン：伸デザイン

内容：ごあいさつ／〈美術史の厚み〉と美術館のネットワーク(正木 基)

香田勝太・篇 香田勝太について(正田みどり)／略歴／参考文献／作品図版／参考図版・著述文再録
手塚一夫・篇 手塚一夫(山田敦雄)／略年譜／参考文献／作品図版・参考図版

山口正城・篇 作品図版／山口正城の世界一線・非形象・象徴(中塚宏行)／著述文再録／略年譜／参考文献

藤野一友・篇 作品図版／夢に呪縛されて ぼくたちはもう目覚めない(後小路雅弘)／著述文再録／略年譜／参考文献

山中信夫・編 作品図版・参考図版／山中信夫 内なる世界と外なる世界の分岐点としてのピンホール(山本和弘)／略年譜／参考文献／出品目録
現代美術としての映像表現・篇 作品目録／現代美術としての映像表現(正木 基)／略年譜

●ポスター サイズ：B3／デザイン：山田勇男

●チラシ サイズ：B5(本展)／B5(関連行事「現代美術としての映像表現」)

●関連行事

(1)現代美術としての映像表現プログラム

○フィルム造形 in 京都①

2月27日(土) 午後2時より(目黒区美術館)

今井祝雄 「円」(16mm, '67, 4分), 「JOINTED FILM」(16mm, '72~'73, 19分)

松本正司 「Media-'67」('67, 18分), 「THE GERM」('71, 30分)

植村義夫 「Shoot」('70, 14分), 「Moving Picture 2」('72, エンドレス)

河口龍夫 「観測の時間(15秒)1」, (グループ「位」, '67, 60分), 「DARK」('68, 2分30秒), 「陸と海」('70, 4分20秒), 「Location」('70, 6分), 「ある映画のプランの映画」('71, 10分)

植松奎二 「Articulation」('74, 20分) 「Compression—圧—態〈構造の関係性〉」('74, 15分)

○フィルム造形 in 京都②

2月28日(日) 午後2時より(目黒区美術館)

村岡三郎 「懐中電灯A」('73, 2分30秒), 「懐中電灯B」('73, 4分)

米津茂英 「フレームにて皿を消す作業」('73, 15分), 「1974米津茂英」(16mm, '74, 約60分)

郭 徳俊 「space」('72, 6分), 「what time」('73, 7分30秒)

北辻良央 「WALTZ・RUMBA・CHA-CHA」('74, 10分20秒)

庄司 達 「浜辺にて」('70, 10分), 「フレームについて」('74, 11分)

水上 旬 「紐力学指向儀'69~'71」('69~'71, 約60分)

宮崎豊治 「はかり」('73, 3分30秒), 「変形-減量」(同), 「変形-増量」(同), 「作品」('73, 14分15秒)

森口宏一 「かさなり」('74, 1分45秒)

○FILM MEDIA in 東京①

3月5日(土) 午後2時より(目黒区美術館)

長 重之 「原野1」('72, 13分), 「イヴェント'77」('77, 30分)

藤井博 「肉・街・路(作業中)」('72, 14分), 「肉・街・路(作業後)」('72, 5分30秒), 「FRAGMENTS 1972~73」('72~'73, 16分), 「断片1972~1973」('72~'73, 11分30秒), 「何処へ I II」('72~'75, 11分30秒), 「KOSA - BUTUTE-KINA」('75, 7分)

○FILM MEDIA in 東京②

3月6日(日) 午後2時より(目黒区美術館)

高山 登 「高山」('73, 10分30秒), 「遊殺」('73, 14分30秒), 「遊殺イメージ」('73, 36分), 「水」('73, 3分30秒), 「川+イメージ 遊殺」('73, 32分)

○FILM MEDIA in 東京③-ときわ画廊篇

3月10日(木) 午後7時より(ときわ画廊)

高橋雅之 「白の白」('72, 31分)

榎倉康二 「予兆<光>」(スライド, '76, エンドレス)

○FILM MEDIA in 東京④

3月12日(土) 午後2時より(目黒区美術館)

菅木志雄 「Dependence」('73, 28分), 「Fieldlogy」('74, 26分), 「There!(are)」('74, 7分), 「Sumi no Hen」('76, 18分), 「真木画廊1976年1月」('76, 38分)

○FILM MEDIA in 東京⑤

3月13日(日) 午後2時より(目黒区美術館)

八田 淳 「No 720~No 727」('72, 27分), 「No 728~No 7214」('72, 25分), 「No 731~No 734」('73, 15分)

彦坂尚喜 「墓の歌(1/2)」14「ジストロフィ」('68, 20分), 「白線」('69, 3分20秒), 「スタンディング」(不明, 27台)

○FILM MEDIA in 東京⑥

3月19日(土) 午後2時より(目黒区美術館)

羽生 真 「映像の布置-Reflection Constellation」(16mm, '73, エンドレス), 「白の間 百科事典」(16mm, '73, 20分)

和田守弘 「アプリカシオン」('74, 25分), 「フィルムによる認識構造(マキ・スペース)」(16mm, '75, 16分)

渡辺哲也 「ウォール・シー」(16mm, '73, 12分), 「コーヒーを飲む」(16mm, '75, 15分)

高木 修 「パースペクティブ」('74, 3分30秒), 「アスペクト(様相)」('75, 3分30秒)

中山正樹 「BODY SCALE」(スライド, '78)

高島直之(特別上映) 「This paper is printed」('75, 5分)

前山裕司(特別上映) 「横断歩道(新宿)」('72, 3分)

○0次元商会

3月20日(日) 午後2時より(目黒区美術館)

加藤好弘 「シベール」(ドナルド・リチーとの共作/16mm, '68, 20分), 「いなばの白うさぎ」(16mm, '70, 2時間30分の短縮版)

○概念芸術とフィルム

3月21日(月) 午後2時より(目黒区美術館)

安土修三(ガリバー) 「WATCH」(16mm, '66~'67, 20分), 「FILM」(16mm, '68, 5分)

池田龍雄 「ASARAT 瞰覧環計画」('72, 17分), 「梵天」('74, 44分),

柏原えつとむ「足をあらいましょう」('72, エンドレス), 「方法のモンロー(試作)」('71, 4分)

松沢宥 「プサイの部屋-泉水入冥想台」('75, 7分)

○FILM DOCUMENT

3月26日(土) 午後2時より(目黒区美術館)

庄司 達 「サンクト・マルガレーテン国際彫刻シンポジウム'70」('70, 35分)

高山 登 「団地+水(遊殺)点展」('73, 不明), 「戸塚スペース ドラマ・地下動物園」(16mm, '70, 3分)

長 重之 「点展」('73, 13分)

藤井 博 「EVENT1973・8 団地・無題A」('73, 7分)

藤原和通 「音響標定」(16mm, '74, 約45分)

高木 修 「アクベクト(ときわ画廊)」('75, 3分30秒)

榎倉康二 「予兆<光>」(スライド, '76, エンドレス), 「点展」('74, 23分)

○野村仁フィルム・コレクション

3月27日(日) 午後2時より(目黒区美術館)

野村 仁 「カメラを木にくくりつける」(16mm, '70, 17分), 「Graphilm」(16mm, '70, 17分), 「Shoot出来なかった時間はNo Shootingのフィルムをさむことによってカバー出来る」(16mm, '71, 17分), 「テレビモニター」(16mm, '71, 6分), 「腕を回す」(16mm, '72, 11分), 「重心の移動」(16mm, '72, 5分), 「JUMP」(16mm, '72, 8分), 「DEC 1973~OCT 1974」(16mm, '73~'74, 30分), 「水の中でのbreathing TRYX・PLUSX」(16mm, '72, 3分)

榎倉康二 「予兆<光>」(スライド, '76, エンドレス)

16mmフィルム, スライドのみ表記。無表記はすべて8mmフィルム。

(2)藤野一友「喰べた人」特別上映 3月17日, 20日, 21日, 26日, 27日 16mmモノクロフィルム, 30分 第3回国際実験映画祭特別上映

●主要関連記事

『美術史探索学入門-美術史の厚みをつくる発掘・研究活動』 正木 基 新美術新聞 1988年2月21日

『公立美術館乱立時代に地味だが横の広がり求めた 美術史探索学入門展』 高島直之 朝日ジャーナル 1988年3月18日

『美術 創造する者の痛み伝わる－美術史探索学入門展』
(菅) 読売新聞 1988年3月23日

『意義深い 美術史探索学入門展』 高階秀爾 季刊東京人
1988年5・6月

『美術の現在 美術家は無口がいい』 峯村敏明 海燕
1988年4月



会場風景



B3ポスター

出品目録

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
香田勝太						
1	根雨原より大仙眺望	1915	油彩, 板	33.0×23.5		
2	牡丹	制作年不明	油彩, キャンヴァス	95.0×95.0		
3	芍薬	制作年不明	油彩, 絹	161.0×162.0		米子市美術館
4	草庵	制作年不明	着彩, 絹	26.0×43.5		
5	晩春	1919	着彩, 絹	160.0×360.0		
6	野菊と雀*	制作年不明	油彩, 紙/屏風装	177.0×168.4		
7	秋野	制作年不明	油彩, 紙/屏風装	177.0×172.6		
8	裾野の秋	制作年不明	着彩, 紙/屏風装	169.5×169.0		
9	菊と鶏頭	制作年不明	油彩, 紙/屏風装	178.0×172.4		
10	花垣	制作年不明	油彩, 紙/屏風装	177.5×172.0		
11	秋草	制作年不明	油彩, キャンヴァス	164.1×82.1		米子市美術館
12	朝曇り(巴里郊外ヴェイユにて)	1926-29	油彩, キャンヴァス	60.8×72.5		
13	キューガーデンの石楠花(英国)	1926-29	油彩, キャンヴァス	46.5×38.0		米子市美術館
14	野の花(パリ郊外ヴェイユにて)	1926-29	油彩, キャンヴァス	41.0×33.0		米子市美術館
15	小庭	1926-29	油彩, 板, キャンヴァス	23.1×32.0		鳥取県立博物館
16	フローレンス風景	1926-29	油彩, 板, キャンヴァス	32.0×40.0		
17	裸婦	1926-29	油彩, キャンヴァス	72.0×91.0		
18	ブルージュの運河	1928	油彩, キャンヴァス	51.0×61.0		
19	裸婦パリにて	1926-29	油彩, キャンヴァス	33.5×41.0		
20	ブルターニュ風景	1929	油彩, 板	37.5×45.0		
21	雨中白牡丹	1936	油彩, キャンヴァス	33.5×24.2		
22	雪	1939	油彩, キャンヴァス	130.5×207.5	第13回帝展	鳥取県立博物館

(構成: 正田みどり)

*印は目黒区美術館が仮題として付したものである。

手塚一夫

23	いちやく	1937	油彩, キャンヴァス	24.9×33.5		
24	船	1938	油彩, キャンヴァス	33.8×45.7		
25	村娘	1938	油彩, 板	33.1×23.7		
26	工場風景	1938	油彩, 板	23.2×32.9		
27	蓮田と白鷺	1938	油彩, キャンヴァス	41.0×31.7		

その他作品写真パネル16点, スライド上映による作品1点などの資料も展示
(構成: 山田敦雄)

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
山口正城						
28	形態第3番—フォトグラム	1937	フォトグラム	30.5×23.5	第1回自由美術協会展	福岡市美術館
29	連結せざる構造による一群の横線	1941	水性絵具, 紙	41.6×47.3	第5回美術創作家協会展	
30	〈作品〉	1949	水性絵具, 紙	28.6×27.3		
31	作品502	1950	水性絵具, 紙	45.4×72.3	第4回美術団体連合展	
32	作品51X	1951	水性絵具, 紙	45.1×72.4	第15回自由美術家協会展	
33	象徴の起源	1951	水性絵具, 紙	45.1×72.3	第5回美術団体連合展	北海道立旭川美術館
34	〈作品〉	制作年不明	水性絵具, 紙	28.5×37.9		
35	タイトル不詳3	制作年不明	水性絵具, 紙	33.0×45.0		
36	回復	1952	水性絵具, 紙	33.3×45.2		
37	タイトル不詳6	1953	クレヨン, 紙	26.5×37.2		
38	カノン4(休止に向う)	1953	水性絵具, 紙	33.2×45.2	第17回自由美術家協会展	
39	こだま	1953	水性絵具, 紙	45.1×72.2		
40	〈作品〉	1953	クレヨン, 紙	26.2×37.5		
41	期待	1954	水性絵具, 紙	72.7×72.7		
42	鬼の対話(A)	1954	水性絵具, 紙	72.7×72.7	第1回現代日本美術展	
43	鬼の笑い	1954	水性絵具, 紙	72.5×72.5	第18回自由美術家協会展	
44	鬼の証言	1955	水性絵具, 紙	72.7×72.7		
45	鬼のささやき(女)	1955	水性絵具, 紙	72.5×72.5	日米抽象美術展	
46	鬼の変身	1955	水性絵具, 紙	68.5×68.8	第3回日本国際美術展	
47	溶けるカノン	1955	水性絵具, 紙	45.0×72.0	第19回自由美術家協会展	北海道立旭川美術館
48	エチュード55	1955	水性絵具, 紙	44.8×71.5		
49	赤いカノン	1956	水性絵具, 紙	73.0×73.0	第2回現代日本日本美術展	
50	再会の時	1956	水性絵具, 紙	45.1×71.6		
51	習作	1956	水性絵具, 紙	53.7×72.3		
52	青い山彦	1957	水性絵具, 紙	33.2×45.3		
53	春のこだま	1957	水性絵具, 紙	129.6×161.5	世界の中の日本抽象美術展	北海道立旭川美術館
54	〈作品〉	1957	水性絵具, 紙	73.0×73.0		
55	凍るカノン	1957	水性絵具, 紙	45.5×72.4	第21回自由美術家協会展	
56	冬の山彦	1957	水性絵具, 紙	130.2×162.5	世界の中の日本抽象美術展	福岡市美術館
57	夕霧	1958	水性絵具, 紙	48.3×57.4		
58	炎の歌	1958	水性絵具, 紙	77.5×110.5	第3回現代日本美術展	
59	作品59—7	1959	水性絵具, 紙	130.0×161.5	世界の中の抽象 イタリア・日本美術展	
60	タイトル不詳16	制作年不明	水性絵具, 紙	130.0×162.1		
61	タイトル不詳25	制作年不明	水性絵具, 紙	46.0×51.0		
62	AさんとBさん	制作年不明	紙, 板	30.4×30.4		
(構成:中塚宏行)						
藤野一友						
63	中世の上を通過するメルクレスとブシケ	1954	油彩, キャンヴァス	194.0×130.3	第6回日本アンデパンダン展	福岡市美術館
64	ヴィナス誕生	1955	油彩, キャンヴァス	146.3×97.8	第7回日本アンデパンダン展	福岡市美術館
65	町工場のバラード	1955	油彩, 板	152.0×181.9	第40回二科展	福岡市美術館
66	火	1956	油彩, 板	180.7×151.5	第41回二科展	福岡市美術館
67	ルクレチア	1957	油彩, キャンヴァス	130.6×75.8		福岡市美術館
68	聖アントワヌの誘惑	1958	油彩, キャンヴァス	162.5×228.0	第43回二科展	福岡市美術館
69	曳航	1959	油彩, キャンヴァス	112.7×194.3	第44回二科展	福岡市美術館
70	神話	1959	油彩, キャンヴァス	162.2×112.8		福岡市美術館

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	展覧会歴	所蔵先
71	不安の家	1960	油彩, キャンヴァス	162.3×130.5	第45回二科展	福岡市美術館
72	レダのアレルギー	1961	油彩, キャンヴァス	130.8×161.8	第46回二科展	
73	カセドラル	1961	油彩, キャンヴァス	45.6×45.7	1961年	
74	眺望	1963	油彩, キャンヴァス	163.0×130.9	第48回二科展	福岡市美術館
75	卵を背負った天使	1964	油彩, キャンヴァス	162.7×130.5	第49回二科展	福岡市美術館
76	抽象的な籠	1964	油彩, キャンヴァス	162.5×131.0	第49回二科展	福岡市美術館
77	肉を着た鎧	1965	油彩, キャンヴァス	162.0×97.7		福岡市美術館
78	未醒	1965	油彩, キャンヴァス	162.4×227.2	第50回二科展	福岡市美術館
79	題不詳	制作年不明	油彩, キャンヴァス	41.0×53.0		福岡市美術館
80	レダのアレルギー(下絵)	1961頃	水彩, 紙	20.8×23.0		福岡市美術館
81	覚醒(下絵)	1962頃	水彩, 紙	24.6×18.7		福岡市美術館
82	題不詳*1"	制作年不明	水彩(黒), コンテ, 紙	25.0×19.0		福岡市美術館
83	題不詳*2"	制作年不明	鉛筆, 紙	17.5×14.3		福岡市美術館
84	題不詳*3"	制作年不明	コンテ, 紙	31.2×22.2		福岡市美術館
85	朝(習作)*1"	1951	鉛筆, 色鉛筆, 紙	37.8×26.6		福岡市美術館
86	ヴィナス誕生(頭部習作)	1955	鉛筆, 紙	20.8×18.7		福岡市美術館
87	ルクレチア(習作)*1"	1957頃	鉛筆, 紙	26.0×20.0		福岡市美術館
88	聖アントワーヌの誘惑(下絵)	1958頃	鉛筆, 紙	各25.1×37.2		福岡市美術館
89	薔薇と海賊(原画)	1958頃	インク, 鉛筆, 紙	22.3×16.1		福岡市美術館
90	曳航(下絵)	1959頃	コンテ, 紙	27.0×40.7		福岡市美術館
91	神話(下絵)	1959	鉛筆, 紙	26.8×18.4		福岡市美術館
92	題不詳*4"	1962	インク, 紙	10.1×32.0		福岡市美術館
93	題不詳*5"	1963	インク, 紙	11.4×31.9		福岡市美術館
94	眺望(習作)	1963頃	鉛筆, 紙	37.5×29.2		福岡市美術館
95	抽象的な籠(習作)	1964頃	鉛筆, 紙	40.5×31.7		福岡市美術館
96	題不詳*6"	1965頃	鉛筆, 紙	35.5×24.5		福岡市美術館
97	題不詳*7"	1965頃	鉛筆, 紙	24.3×35.4		福岡市美術館
98	題不詳*8"	1965頃	鉛筆, 紙	24.2×35.4		福岡市美術館
99	自画像	1951	木炭, 紙	36.2×25.2		福岡市美術館
100	ルクレチア(習作)*2"	1957頃	鉛筆, 紙	35.3×36.1		福岡市美術館
101	ルクレチア(習作)*3"	1957頃	鉛筆, 紙	36.5×26.0		福岡市美術館
102	ルクレチア(習作)*4"	1957頃	鉛筆, 紙	36.6×26.0		福岡市美術館
103	朝(習作)*2"	1951頃	木炭, コンテ, 紙	35.8×24.8		福岡市美術館
104	レダのアレルギー(習作)	1961頃	鉛筆, 紙	24.4×35.5		福岡市美術館
105	曳航	1959頃	鉛筆, 紙	26.8×17.8		福岡市美術館
106	習作(卵を背負った天使)	制作年不明	鉛筆, 紙	37.5×29.2		福岡市美術館
107	習作(神話)	制作年不明	鉛筆, 紙	35.5×24.4		福岡市美術館
108	題不詳*9"	1954頃	墨, 紙	22.5×13.6		福岡市美術館

(構成:後小路雅弘)

**藤野一友作品のうち“数字”は目黒区美術館が整理の都合上暫定的に付したものである。

山中信夫

109	B&Wコンタクトピンホール(1)	1973	モノクロ写真	25.2×31.0		栃木県立美術館
110	B&Wコンタクトピンホール(4)	1973	モノクロ写真	25.2×31.0		栃木県立美術館
111	B&Wコンタクトピンホール(5)	1973	モノクロ写真	25.2×31.0		栃木県立美術館
112	B&Wコンタクトピンホール(9)	1973	モノクロ写真	31.0×25.2		栃木県立美術館
113	B&Wコンタクトピンホール(10)	1973	モノクロ写真	31.0×25.2		栃木県立美術館
114	カラーピンホール(1)	1973	カラー写真	29.0×24.4		栃木県立美術館
115	カラーピンホール(10)	1973	カラー写真	24.4×29.0		村松画廊
116	カラーピンホール(11)	1973	カラー写真	29.0×24.4		村松画廊
117	カラーピンホール(1)(五人組版) ***	1973	カラー写真	24.5×29.1		栃木県立美術館
118	B&Wピンホール(8)	1973	モノクロ写真	25.3×31.1		栃木県立美術館

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	展覧会歴	所蔵先
119	B&Wピンホール (9)	1973	モノクロ写真	25.3×31.1		栃木県立美術館
120	2つの穴のピンホール	1973	カラー写真	25.4×30.3		栃木県立美術館
121	あふれる太陽のピンホール (6)	1973	カラー写真	25.0×30.0		村松画廊
122	あふれる太陽のピンホール (7)	1973	カラー写真	25.0×30.0		村松画廊
123	ピンホール・ルームNo.8	1974	モノクロ写真	243.0×256.0		栃木県立美術館
124	9階上のピンホール	1975	モノクロ写真, スチロールパネル	240.0×400.0 ×320.0		栃木県立美術館
125	camera obscura 2	1977	モノクロ写真,合板	560.0×400.0		栃木県立美術館
126	床と壁のピンホール (2)	1977	モノクロ写真,合板	90.5×90.0 ×91.0		栃木県立美術館
127	マチュ・ピクチュの太陽 (1)	1980	カラー写真	20.5×25.3	第12回バリ・ビエンナーレ	栃木県立美術館
128	マチュ・ピクチュの太陽 (2)	1980	カラー写真	20.5×25.4		栃木県立美術館
129	マンハッタン of 太陽 (1)	1980	カラー写真	20.4×25.4		栃木県立美術館
130	マンハッタン of 太陽 (19)	1980	カラー写真	20.4×25.4		栃木県立美術館
131	マンハッタン of 太陽 (28)	1980	カラー写真	20.4×25.4		栃木県立美術館
132	マンハッタン of 太陽 (32)	1980	カラー写真	20.4×25.4		栃木県立美術館
133	マンハッタン of 太陽 (35)	1980	カラー写真	20.4×25.4		栃木県立美術館
134	東京の太陽 (1)	1980—81	カラー写真	20.4×25.3		栃木県立美術館
135	東京の太陽 (2)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
136	東京の太陽 (3)	1980—81	カラー写真	30.4×25.4		栃木県立美術館
137	東京の太陽 (4)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
138	東京の太陽 (8)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
139	東京の太陽 (11)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
140	東京の太陽 (14)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
141	東京の太陽 (15)	1981	カラー写真	30.4×25.4	第12回バリ・ビエンナーレ	栃木県立美術館
142	東京の太陽 (17)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4	第12回バリ・ビエンナーレ	栃木県立美術館
143	東京の太陽 (21)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
144	東京の太陽 (28)	1980—81	カラー写真	30.4×25.4		栃木県立美術館
145	東京の太陽 (35)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
146	東京の太陽 (38)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
147	東京の太陽 (42)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4	第12回バリ・ビエンナーレ	栃木県立美術館
148	東京の太陽 (44)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
149	東京の太陽 (48)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
150	東京の太陽 (51)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
151	東京の太陽 (56)	1982	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
152	東京の太陽 (64)	1982	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
153	東京の太陽 (65)	1982	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
154	東京の太陽 (68)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
155	東京の太陽 (69)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
156	東京の太陽 (72)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
157	東京の太陽 (74)	1980—81	カラー写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
158	東京の太陽 (76)	1981	カラー写真	25.4×30.4	第12回バリ・ビエンナーレ	栃木県立美術館
159	東京の太陽 (88)	1980—81	モノクロ写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
160	東京の太陽 (91)	1980—81	モノクロ写真	25.4×30.4		栃木県立美術館
161	あるひとつの点 No.1	1981—82	モノクロ写真	63.0×52.5 ×30.0	第12回バリ・ビエンナーレ	
162	あるひとつの点 No.2	1981—82	モノクロ写真	53.0×74.0 ×38.0	第12回バリ・ビエンナーレ	
163	バリのカメラ・オブスクラ	1982	モノクロ写真,スチ ロール,ボード	240.0×240.0 ×50.0	第12回バリ・ビエンナーレ	鎌倉画廊

参考出品, 8×10ピンホール, カメラ 個人蔵
(構成: 山本和弘)

***印作品は, カラーピンホール作品に未発表のものと「(五人組+4)REVOLUTION 写真展」発表のものがあるため, 便宜的にこれを五人組版とした。

目黒区の画家展

会期：1988(昭和63)年3月5日-29日

会場：区民ギャラリー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：塚本紀久子

区民に身近な美術館としてオープンした目黒区美術館の開館記念の一環として開催した。区内在住、在勤など目黒区に関わりのある日本画、洋画、版画等の作家の作品を紹介し、区内の美術家達の活動状況を一望するもの。あわせて区民の方々が区内作家の作品に触れ、美術をより身近なものとして受け入れる機会となることも意図した。

●カタログ

寸法：29.7×21.0cm

ページ数：24頁

●ポスター サイズ：B3

●チラシ サイズ：B5

●ハガキ サイズ：15.0×10.6cm



B3ポスター

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材、技法	寸法(号)
1	相原吉夫	花火	1987(昭和62)	油彩, キャンバス	P40
2	青木邦子	P市の秋	1984(昭和59)	油彩, キャンバス	F12
3	赤穴桂子	眠る女(エドガー・ポーの詩による)	1987(昭和62)	紙, 油彩, キャンバス	F10
4	赤穴 宏	二つの壺	1981(昭和56)	油彩, キャンバス	F8
5	天野政雄	場外にて	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	S30
6	井関安治	田植の頃	1987(昭和62)	油彩, キャンバス	F10
7	一柳 幸	川	1987(昭和62)	油彩, キャンバス	F40
8	井手宣通	日光大雪	1982(昭和57)	油彩, キャンバス	変形60
9	稲田ハル	うたげ	1987(昭和62)	油彩, キャンバス	F50
10	井上 慎	暁(エジプト回想)	1986(昭和61)	油彩, キャンバス	P30
11	今井俊満	パンチュール=ポエム/フェリックス・ガタリ	1986(昭和61)	アクリル, 紙	P40

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(号)
12	内田義孝	秋	1985(昭和160)	油彩,キャンバス	F30
13	越後瑛子	弾く	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	P25
14	円秀光城	ふる里の秋	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30
15	大島 巖	初冬の富士	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F20
16	大淵繁樹	雨の十番館	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30
17	小河美智子	向日葵	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F10
18	荻野藤枝	浅間山	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	F30
19	長部朝子	波座 <small>なみくら</small>	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30
20	小野のり子	春の夢	1977(昭和152)	油彩,キャンバス	F30
21	甲斐鉄男	裸婦立像	1975(昭和150)	油彩,キャンバス	F30
22	春日哲人	風景	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F3
23	香取栄次郎	司令部跡	1961(昭和136)	油彩,キャンバス	F12
24	金井恵子	翡翠の首飾り	1988(昭和163)	油彩,キャンバス	F10
25	鎌田敬子	想う	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	F20
26	川瀬スミ	眼鏡	1984(昭和159)	油彩,キャンバス	F30
27	木下巳貴彦	ばら	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F8
28	桑川 清	埴輪	1988(昭和163)	油彩,キャンバス	F30
29	小園ケイ子	ベニスの奏	1985(昭和160)	油彩,キャンバス	F40
30	後藤岳楓	横浜暮色	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30
31	古茂田美津子	冬の庭	1984(昭和159)	油彩,キャンバス	F20
32	小山光男	高原の朝	1975(昭和150)	油彩,キャンバス	F50
33	斎藤勤也	イワナガヒメ	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F40
34	佐野美喜男	鳥	1981(昭和156)	油彩,キャンバス	F25
35	佐野雪枝	初秋	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F20
36	柴原 雪	小孩子(可愛い兄妹)中国の旅	1982(昭和157)	油彩,キャンバス	F40
37	水藤澄子	作品'87-B	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F50
38	関 真	犬吠埼灯台	1982(昭和157)	油彩,キャンバス	F30
39	関戸伊三郎	舞妓	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	P12
40	曾我英彦	アーチのある風景	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	F30
41	曾布川正子	淡い光	1985(昭和160)	油彩,キャンバス	F10
42	大工原武司	花菖蒲	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F10
43	大聖寺宏	平安	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	F30
44	高野恭子	雨あかり	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30
45	高山和子	林のなかで	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F15
46	タガン荔枝	カルマ	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	P40
47	田口正子	森の響きシリーズより(その3)	1983(昭和158)	油彩,キャンバス	F20
48	武田一郎	桜	1983(昭和158)	油彩,キャンバス	F40
49	種房ひさ子	舞妓	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F50
50	都竹伸政	ストールの裸婦	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	P15
51	角田 斌	赤い帽子	1965(昭和40)	油彩,キャンバス	M6
52	鶴岡義雄	合せ鏡	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F50
53	戸田芳江	山の音	1986(昭和161)	油彩,キャンバス	F30
54	土肥 朗	冬日	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F20
55	中井幸一	砂の翼	1980(昭和155)	写真モンタージュ	M10
56	中岡ユリ	悠久の一瞬(陵王)	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30
57	中沢毅太郎	卓上静物	1985(昭和160)	油彩,キャンバス	F30
58	梨谷 昭	遊園地の一隅	1984(昭和159)	油彩,キャンバス	F30
59	成井 弘	シーボニヤ・ヨットハーバー	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F6
60	西村正次	イヤ	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F15
61	橋本百合子	古い人形	1985(昭和160)	油彩,キャンバス	F20
62	長谷川政子	モロッコの人	1985(昭和160)	油彩,キャンバス	P30
63	埜 八重子	ピエロたち	1987(昭和162)	油彩,キャンバス	F30

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(号)
64	原 久子	バイオリンと貝	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F20
65	張替秀起	WORK 1986	1986(昭和61)	アクリル,キャンバス	F40
66	平松 譲	運河のある工場地帯	1984(昭和59)	油彩,キャンバス	F30
67	吉田十郎	オハヨウ河	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	M20
68	ホール・真美子	自山への奇跡 Towards Freedom—A MIRACLE	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F20
69	星川しげ子	for you	1987(昭和62)	水彩,クレパス,パステル,ガッシュ,木炭,紙	M5
70	本目勇市	街路	1963(昭和38)	油彩,キャンバス	F40
71	前川佳子	エクスプレス87	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F40
72	前田さなみ	見透せぬ窓	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	S40
73	前川美智子	街角	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	P40
74	丸毛利久	金環	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F50
75	三上隆彦	馬丸行く	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	M40
76	宮田武彦	日丘橋より鷹番,五反田方面を望む	1946(昭和21)	油彩,キャンバス	変形20
77	宮田武彦	柿の木坂風景	1944(昭和19)	油彩,キャンバス	P10
78	宮出 武	聖ルフィノ聖堂(アッシジ)イタリア	1982(昭和57)	油彩,キャンバス	F30
79	茂木すみ子	パリ風景	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F8
80	森田万樹	マジック・ボックスⅡ	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F50
81	山崎 正	裸婦	1984(昭和59)	油彩,キャンバス	F15
82	山根敦子	北の海	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F40
83	山本悦子	遙かなるピラミッド	1982(昭和57)	油彩,キャンバス	F30
84	山本道子	家路	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F40
85	横山菊枝	mさん	1976(昭和51)	油彩,キャンバス	F10
86	石津君江	鉄砲ゆり	1981(昭和56)	水彩,紙	変形40
87	板津陽子	人形たちの午後	1987(昭和62)	水彩,紙	F40
88	小代三保子	めげえ	1986(昭和61)	水彩,紙	P30
89	水谷仁美	風韻	1987(昭和62)	水彩,紙	S12
90	安運清一	大運河風景(ベネチア)	1987(昭和62)	水彩,紙	変形25
91	荒井華秋	霧の遊歩道	1985(昭和60)	紙本墨画	F20
92	飯田裕子	粧	1987(昭和62)	紙本墨画	F10
93	伊藤淳子	清韻	1987(昭和62)	紙本墨画	F10
94	岩田染華	アメリカン・トランペット・フラワー	1987(昭和62)	紙本墨画淡彩	F15
95	加藤敬彩	萌春	1986(昭和61)	紙本墨画	F10
96	沢井白陽	海	1987(昭和62)	紙本墨画淡彩	F40
97	菅田 渡	早春	1987(昭和62)	紙本墨彩画	P30
98	永井菁光	不二	1974(昭和49)頃	紙本墨画着色	F8
99	松重佳子	古木	1984(昭和59)	紙本墨画	P25
100	吉田泰賀	冬景色	1986(昭和61)	紙本墨画	変形50
101	渡辺智津子	つばき(有情)	1986(昭和61)	紙本墨画	F10
102	赤井春水	ロアール川	1986(昭和61)	紙本着色	F40
103	市川登孟胡	和魂歌	1987(昭和62)	紙本着色	P30
104	市村藤也	晩秋	1986(昭和61)	紙本着色	F8
105	岩壁富士夫	椿	1986(昭和61)	紙本着色	M10
106	岩壁富士夫	ポルトガルの少女	1976(昭和51)	紙本着色	M10
107	岩本美代子	思い	1987(昭和62)	紙本着色	F40
108	岡田哲弥	蟬	1982(昭和57)	紙本着色	F10
109	佐々木曜	春	1987(昭和62)	紙本着色	SM
110	杉浦千秋	あちさい	1987(昭和62)	紙本着色	変形20
111	橘 熙子	春の音	1987(昭和62)	紙本着色	変形40
112	増田俊雄	月明	1986(昭和61)	紙本着色	F20

No.	作家名	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(号)
113	山口景泉	遊鯉	1980(昭和55)	紙本着色	F15
114	横溝由貴	八重桜	1984(昭和59)	紙本着色	P30
115	加々路伸子	河畔の冬(最上川)	1982(昭和57)	和紙, 和紙ボード	F10
116	吉田米子	木星	1985(昭和60)	和紙, 和紙ボード	F20
117	土屋正男	多度の俄か法師	1978(昭和53)	型紙版, 和紙	M30
118	船坂芳助	My Space and My Dimension-964	1987(昭和62)	木版, シルク, 紐, 紙他	変形30

ドイツ70年代グラフィック展

会期：1988(昭和63)年4月2日－5月5日

同時開催：ワークショップ・遊びの広場「積むかたち+組むかたち」

会場：展示室A・B・C，展示ロビー

主催：目黒区美術館，東京ドイツ文化センター

協賛：パイオニア株式会社

協力：東京商工会議所目黒支部

担当学芸員：矢内みどり

現在の日本での「グラフィック」という言葉は、いわゆる版画作品を指すグラフィック・アート，ポスターなど大量印刷による商業美術としてのグラフィック・デザインなどに使われるのが一般的である。西欧での伝統的な解釈はより範囲が広い。特にドイツでは，素描，図形，カリグラフィーなど「線を主体にしたもの」を言うことが多い。本展は，こうした概念のもとに集められた1970年代の素描，版画，写真，オフセットなど107点によって構成した。60年代の経済的反映に支えられた楽観的な世界観と密接なポップ・アート，その後反作用的に続くミニマル・アート，コンセプチュアル・アートの客観的，知的な世界に代わって，70年代は石油危機やヴェトナム戦争の終結などに象徴されるように，反物質的な，主観的内的世界への転換があった。ヨーゼフ・ボイスの始原的で時に宗教的・神秘的な観念に代表される世代とその次世代の作家の精神性の高い作品が，現代美術の流れの中で重要なひとつの時代を形成してきたことを再確認することになった。

●カタログ

〈独英語版〉

寸法：24×15cm

〈日独語版〉

寸法：24×15cm

ページ数：80頁

内容：はじめに(ヘルマン・ポリッヒ，ヴィオラ・ズーレ)／70年代の美術(トルステン・ロディエク 訳：中島芳郎)／グラフィックと版画・1970年代の出来事(矢内みどり)／図版／作家資料

●ポスター サイズ：A1

●ハガキ サイズ：15.0×10.7cm

●主要関連記事

『支配的システム喪失後の不安と危機意識映す「ドイツ70年代グラフィック展」』 柏木 博 朝日ジャーナル 1988年4月22日

『起点から起点へ「ドイツ70年代グラフィック展」をみて』 水沢勉 みづゑ 1988年夏号



A1ポスター



会場風景

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	ゲオルク・バゼリッツ	白樺の木	1972	エッチング 20/52	50.0×70.0
2		ポートフォリオ 「鷺」より	1974 /75年		70.3×50.0
3		ポートフォリオ 「風景」より シートII	1981	ドライポイント 10/20	78.5×59.0
4		ポートフォリオ 「風景」より シートIII	1981	ドライポイント 10/20	78.5×58.0
5		ポートフォリオ 「風景」より シートIV	1981	ドライポイント 10/20	78.5×57.5
6	ベルンハルト&ヒラ・ベッヒャー	ポートフォリオ 「一對の給水塔」より シャルルロア		写真を印刷 11/100	42.0×52.0
7		ポートフォリオ 「一對の給水塔」より ル・アーヴル		写真を印刷 11/100	42.0×52.0
8		ポートフォリオ 「一對の給水塔」より ハーゲン		写真を印刷 11/100	42.0×52.0
9		ポートフォリオ 「一對の給水塔」より ドウエー		写真を印刷 11/100	42.0×52.0
10		ポートフォリオ 「一對の給水塔」より ドルトムント		写真を印刷 11/100	42.0×52.0
11		ポートフォリオ 「一對の給水塔」より エッセン		写真を印刷 11/100	42.0×52.0
12	ヨーゼフ・ボイス	ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートa	1974	カラーリトグラフ 40/98	52.0×72.0
13		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートb	1974	カラーリトグラフ 40/98	52.0×72.0
14		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートc	1974	カラーリトグラフ 40/98	52.0×72.0
15		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートd	1974	カラーリトグラフ 40/98	72.0×52.0
16		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートe	1974	カラーリトグラフ 40/98	71.7×52.0
17		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートf	1974	カラーリトグラフ 40/98	72.0×52.0
18		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートg	1974	カラーリトグラフ 40/98	72.0×52.0
19		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートh	1974	カラーリトグラフ 40/98	52.0×72.0
20		ポートフォリオ 「軌跡 I」より シートi	1974	カラーリトグラフ 40/98	52.0×72.0
21		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリ ード手稿によせるドローイング」 限定版Aに 含まれる12枚のドローイングより シート1	1975	リトグラフ 34/100	32.0×24.0
22		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリ ード手稿によせるドローイング」 限定版Aに 含まれる12枚のドローイングより シート2	1975	リトグラフ 34/100	32.0×24.0
23		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリ ード手稿によせるドローイング」 限定版Aに 含まれる12枚のドローイングより シート3	1975	リトグラフ 34/100	32.0×24.0
24		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリ ード手稿によせるドローイング」 限定版Aに 含まれる12枚のドローイングより シート4	1975	リトグラフ 34/100	29.0×21.0
25		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリ ード手稿によせるドローイング」 限定版Aに 含まれる12枚のドローイングより シート5	1975	リトグラフ 34/100	29.0×21.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
26	ヨーゼフ・ボイス	ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート6	1975	リトグラフ 34/100	25.0×32.0
27		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート7	1975	リトグラフ 34/100	30.0×24.0
28		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート8	1975	リトグラフ 34/100	29.0×21.0
29		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート9	1975	リトグラフ 34/100	30.0×24.0
30		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート10	1975	リトグラフ 34/100	30.0×24.0
31		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート11	1975	リトグラフ 34/100	30.0×24.0
32		ポートフォリオ 「レオナルド・ダ・ヴィンチのマドリード手稿によせるドローイング」 限定版Aに含まれる12枚のドローイングより シート12	1975	リトグラフ 34/100	30.0×24.0
33	ハンネ・ダルボーヴェン	カレンダー75(1月-6月)		オフセット	29.6×40.0
34		「筆記体」より シート6	1972	ドローイング	29.5×21.0
35		「筆記体」より シート7	1972	ドローイング	29.5×21.0
36		「筆記体」より シート8	1972	ドローイング	29.5×21.0
37		「筆記体」より シート10	1972	ドローイング	29.5×21.0
38	ゴットハルト・グラウフナー	6点の作品のポートフォリオより シートI	1976	アクアチント 23/30	62.0×47.0
39		6点の作品のポートフォリオより シートII	1976	アクアチント 23/30	62.0×47.0
40		6点の作品のポートフォリオより シートIII	1976	アクアチント 23/30	62.0×47.0
41		6点の作品のポートフォリオより シートIV	1976	アクアチント 23/30	62.0×47.0
42		6点の作品のポートフォリオより シートV	1976	アクアチント 23/30	62.0×47.0
43		6点の作品のポートフォリオより シートVI	1976	アクアチント 23/30	62.0×47.0
44	イミ(ヴォルフ)・クネーベル	11点の作品のポートフォリオより 無題	1971	グアッシュ	60.0×60.0
45		11点の作品のポートフォリオより 無題	1971	グアッシュ	60.0×60.0
46		11点の作品のポートフォリオより 無題	1971	グアッシュ	60.0×60.0
47		「ボン 81」より シート1	1975	鉛筆	30.0×21.0
48		「ボン 81」より シート2	1973	赤グアッシュ	30.0×21.0
49		「ボン 81」より シート3	1973	赤グアッシュ	30.0×21.0
50		「ボン 81」より シート4	1973	赤グアッシュ	30.0×21.0
51	プリンキー・ノパレルモ	オリーブ=シルバー	1971	スクリーンプリント 80/100	73.5×65.5
52		フリッパー	1970	スクリーンプリント 21/90	86.0×66.0
53		フリッパー	1970	スクリーンプリント 2/90	85.5×66.0
54		「4つのプロトタイプ」シリーズより シート1 緑の三角形	1970	スクリーンプリント 58/90	60.0×60.0
55		「4つのプロトタイプ」シリーズより シート3 青い三角形	1970	スクリーンプリント 58/90	60.0×60.0
56		無題(ブルー=グレー)	1971	カラースクリーンプリント 98/100	48.0×70.5
57		自動車	1972	スクリーンプリント /カラージュ	36.0×58.0
58	A・R・ベンク	ポートフォリオ 「始源, 結末, スタンド・アート」より シートII	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
59		ポートフォリオ「始源、結末、スタンド・アート」より シートIII	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0
60		ポートフォリオ「始源、結末、スタンド・アート」より シートV	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0
61		ポートフォリオ「始源、結末、スタンド・アート」より シートVIII	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0
62		ポートフォリオ「始源、結末、スタンド・アート」より シートXII	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0
63		ポートフォリオ「始源、結末、スタンド・アート」より シートXIII	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0
64		ポートフォリオ「始源、結末、スタンド・アート」より シートXVI	1972	スクリーンプリント 52/75	70.0×70.0
65	ジクマー・ボルケ	ここで何も認識できない人			45.5×63.0
66		キッカー(青)	1971	オフセットプリント	64.0×84.0
67		ベンギン(手描き)	1974頃	紙、トレーシングペーパーに印刷、手描き	50.0×65.0
68		ケルンの物乞い	1973	写真を印刷	41.5×60.5
69		ケルンの物乞い	1973	写真を印刷	43.0×60.5
70		ケルンの物乞い	1973	写真を印刷 68/100	43.0×60.5
71		ケルンの物乞い	1973	写真を印刷 68/100	45.5×60.5
72	ゲルハルト・リヒター	ハノーヴァー駅	1967	オフセットリトグラフ AP.	54.0×62.3
73		影絵	1968	オフセットリトグラフ 82/150	59.5×64.5
74		雲 1969年のスケッチより No. V / XII	1971	オフセット, 2色	63.7×59.5
75		スイス アルプス モチーフB3	1969	カラースクリーンプリント	69.5×69.5
76		スイス アルプス モチーフA2	1969	カラースクリーンプリント	69.5×69.5
77		湖	1970	カラーオフセットリトグラフ XIII/XXX	67.5×53.0
78		黄一赤一青 ポートフォリオ「色の区画」より	1974	3色のオフセットプリント 16/32	64.5×79.0
79	クラウス・リンケ	端から外への拡張	1973	グラフィットドローイング	
80		突然変異	1970	写真からの印刷	100.0×74.7
81		突然変異	1970	写真からの印刷	100.0×74.7
82	ディーター・ロート	手から口へ	1972	カラースクリーンプリント, コロタイプ	83.0×176.0
83		ピカデリー	1970	カラースクリーンプリント 107/150	85.0×104.5
84		自画像	1970	スクリーンプリント 43/100	50.0×70.0
85		ゾロトゥルン	1970	スクリーンプリント	74.5×100.0
86		海辺で	1971	エッチング 42/50	78.0×97.5
87		鉢植えとしての自分	1971	スクリーンプリント 39/110	75.5×100.0
88		ミックスサラダ	1977	スクリーンプリント 62/100	70.0×89.0
89	ウルリヒ・リュックリーム	無題	1971/73	ドローイング	43.0×61.0
90		無題	1971/73	ドローイング	43.0×61.0
91		無題	1971/73	ドローイング	43.0×61.0
92		無題	1971/73	ドローイング	43.0×61.0
93		無題	1971/73	ドローイング	29.5×42.0
94		黄一黒	1976	カラーエッチング E.A.	76.5×54.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
95	ヴァルター・シュテラー	無題	1976	カラーエッチング E.A.	76.8×54.3
96		無題	1976	カラーエッチング E.A.	77.0×54.6
97		無題	1976	カラーリトグラフ 4/50	60.0×82.0
98		無題	1976	カラーリトグラフ 7/50	60.0×82.0
99	フランツ・エルハルト・ヴァルター	ある行動の写真とドローイング		オフセット	64.5×48.6
100		ある行動の写真とドローイング		オフセット	64.5×48.6
101		ある行動の写真とドローイング		オフセット	64.5×48.6
102		ある行動の写真とドローイング		オフセット	64.5×48.6
103		ある行動の写真とドローイング		オフセット	64.5×48.6
104		「季節一方向」 よりシート2 無題		ドローイング	21.5×28.0
105		「季節一方向」 よりシート6 無題		ドローイング	28.0×21.5
106		「季節一方向」 よりシート7 無題		ドローイング	27.8×21.5
107		「季節一方向」 よりシート8 無題		ドローイング	28.0×21.3

つながれた形の間— 飯田善國展

会期：1988(昭和63)年5月10日—6月5日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館・三重県立美術館・京都国立近代美術館

協賛：大日本インキ化学工業株式会社

担当学芸員：山田敦雄

巡回スケジュール：1988年1月5日—1月31日 三重県立美術館

1988年8月30日—10月2日 京都国立近代美術館

飯田善國(1923—)は栃木県生まれ。東京芸術大学に学び「制作者懇談会」に参加，表現主義的な傾向の強い油彩を発表。1956年，渡欧して彫刻に転じ，ウィーン，ベルリンなどを舞台に国際的に活躍。67年に帰国後は彫刻に加え，ステンレスによるモニュメントや評論，詩作でも活躍を続けている。本展は，三重県立美術館・京都国立近代美術館との3館共同企画として開催。「HITO」「COSMOS」など渡欧初期のシリーズ、金属とカラーロープの構成で独自の言語哲学を実体化した近作群から最新の大作まで，代表作を網羅して飯田善國の彫刻家としての足跡をはじめて本格的に回顧した。当館では，わが国の現代彫刻を代表するひとりであるこの作家の軌跡に，海外体験がきわめて重要な意味をもつことに着目しての開催。展示にあたっては，コンパクトな会場を克服して多くの作品を紹介することに留意した。また，会期中に4つのワークショップを開催して，作家の多彩な世界を紹介した。

●カタログ

寸法：24.0×25.5cm

ページ数：158頁

内容：飯田善國を囲んで(飯田善國，小倉忠夫，陰里鐵郎，加藤貞雄)

不可視の碑をもとめて(滝口修造 再録)／記憶された鏡・もしくは飯田善國の彫刻(荒屋鋪透)／素描からみた飯田善國(島田康寛)／年譜(土田真紀)／文献(土田真紀)／初心者による飯田善國入門(山田敦雄)

●ポスター サイズ：B2，B3

●チラシ サイズ：B5

●関連行事

5月15日 ワークショップ1「飯田善國とつくる—構成と連結」飯田善國 (約20名)

5月21日 ワークショップ2「円盤の5月—肉体ピン」
飯田善國，鍵谷幸信，埴谷雄高，中村眞一郎，大月壮太，長浜奈津子，杉浦葉子，日緯南，関野可奈子，蒔田早苗，梅原伸子，石川加津子，岡秀彦 (約200名)

5月29日 ワークショップ3「フリートキング・ひと—存在—コスモス」 飯田善國，吉増剛造，三浦雅士，佐治晴夫，荒屋鋪透 (約80名)

6月5日 ワークショップ4「飯田善國展による飯田善

國—独行者の自画像」 飯田善國 (約60名)

●主要関連記事

『飯田善國展』 田中幸人 毎日新聞 1988年5月20日夕刊

『ヒモになりたいから—ロープでパフォーマンス』 毎日新聞 1988年5月20日夕刊

『飯田善國展』 ワシオ・トシヒコ 公明新聞 1988年5月21日

『造形が取りもつ言葉—飯田善國展』 川 読売新聞 1988年6月1日

『飯田善國が語る美術的ロジック』 月刊美術153 1988年6月9日



B2ポスター



ワークショップ



会場風景

出品目録

*他にワークショップ「独行者の自画像—飯田善國による飯田善國」で初期油彩作品15点を講演中に公開

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
彫刻					
1	SONZAI	1962	銅	60.0×42.0×41.0	
2	HITO	1962	ブロンズ	H180.0	神奈川県立近代美術館
3	HITO	1962	ブロンズ	H100.0	神奈川県立近代美術館
4	HITO	1963	木	51.0×27.5×11.5	草月美術館
5	HITO	1963	ブロンズ	H100.0	神奈川県立近代美術館
6	COSMOS-WHITE	1964	木にペンキ彩色	150.5×150.5×6.0	目黒区美術館
7	COSMOS-BLUE	1964	木にペンキ彩色	153.2×153.2×6.2	目黒区美術館
8	QUADRAT-WEIß	1964	木にペンキ彩色	100.2×100.2×6.5	
9	HITO	1966	木	65.5×25.0×13.5	
11	HITO	1966	木	66.0×20.0×14.5	
12	HITO	1967	木	83.5×29.0×15.0	広島市
13	HITO	1967	真鍮	76.3×34.5×33.0	広島市
14	SONZAI	1967	真鍮	68.5×58.0×78.3	
15	作品No. 5	1969	ステンレススチール	72.0×72.0×72.0	日産自動車株式会社
16	作品No. 6	1969	ステンレススチール	90.0×90.0×100.0	株式会社神戸製鋼所
17	作品No. 8	1969	ステンレススチール	71.0×70.0×70.0	栃木県立美術館
18	作品No.10	1969	ステンレススチール	36.0×60.0×60.0	日産自動車株式会社
19	作品No.11	1969	ステンレススチール	61.0×100.0×61.0	
20	作品No.12	1969	ステンレススチール	60.0×99.0×89.0	菊池色素工業株式会社
21	作品No.16	1969	ステンレススチール	44.0×70.0	
22	MAN-WOMAN	1974	ステンレススチール, ビニールロープ	ca.30	
23	GUN-DOG	1974	ステンレススチール, 木,ビニールロープ	ca.270	
24	SEA-LAND	1974	ステンレススチール, 木,ビニールロープ	ca.200	
25	JOY-SORROW	1974	ステンレススチール, 木,ビニールロープ	ca.200	
26	TENDER-STONY	1974	ステンレススチール, 木,ビニールロープ	ca.200	
27	円盤-DISK	1977-1978	ステンレススチール, 着色ナイロンロープ	18.0×99.0×99.0	神奈川県立県民ホール
28	六面体-HEXAHEDRON	1977-1978	鉛,ステンレススチール, 着色ナイロンロープ	100.0×100.0×30.0	東京都美術館
29	円筒-CYLINDER	1977-1978	鉛,ステンレススチール, 着色ナイロンロープ	160.0×47.0×47.0	軽井沢高輪美術館

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
30	十面体	1981	鉛, ステンレススティール, 着色ナイロンロープ	200.0×120.0×50.0	
31	八面体-OCTAHEDRON	1981	鉛, ステンレススティール, 着色ナイロンロープ	100.0×400.0×40.0	西武百貨店
32	JŪMENTAI	1983	鉛, ステンレススティール, 着色ナイロンロープ	110.0×172.5×110.0	国立国際美術館
35	JŪICHIMENTAI No. 2	1983	鉛, ステンレススティール, 着色ナイロンロープ	169.0×65.0×65.0	
37	鉛のHEXAHEDRON	1987	鉛, 着色ナイロンロープ	600.0×75.0×60.0	
38	鉛のJŪMENTAI	1987	鉛, 着色ナイロンロープ	600.0×125.0×50.0	
39	鉛のシリンダー	1987	鉛, 着色ナイロンロープ	600.0×75.0×75.0	
40	屋根に平行に	1987	鉛, 着色ナイロンロープ	215.0×190.0×160.0	
41	びょうぶの谷	1987	鉛, 着色ナイロンロープ	200.0×115.0×115.0×15.0	
42	交叉	1987	鉛, 着色ナイロンロープ	150.0×150.0×40.0	
43	木のHEXAHEDRON	1987	木, 着色麻ロープ	600.0×75.0×60.0	
44	壁から出たテーブル	1987	木, 着色麻ロープ	100.0×100.0×66.6	
45	Xのコンストラクション	1987	木, 着色麻ロープ	248.0×200.0	
46	不規則なコンストラクション	1987	木, 着色麻ロープ	600.0×500.0×400.0	
デッサン					
1	カラフルなモビール	1962.2.26	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
2	落下する玉を捉える装置	1962.2.26	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
3	無邪気な男	1962.2.26	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
4	向いあう人	1962.2.26	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
5	ほうよう	1962.8.18	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
6	ささやき	1962.3.6	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
7	遊戯	1962.3.21	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
8	威厳のある男根	1962.2.26	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
9	イノチェント	1962.10.30	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
10	牛頭人	1962.9.24	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
11	動かないプロペラ	1962.3.8	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
12	かつら掛け	1962.11.7	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
13	地底の風	1962.10.2	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
14	鋼鉄のマネキン	1962.8.18	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
15	KOPF	1962.2.27	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
16	背中合せの人物	1962.10.5	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
17	片目の動物	1962.2.22	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
18	鳥人と古代人	1962	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
19	Kinder-spielen	1962.3.2	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
20	角のある頭部	1962.1.13	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
21	三つの形態	1962.1.13	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
22	モダンな鳥	1962.3.14	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
23	おどけ	1962.3.21	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
24	三つの間隙	1962.10.30	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
25	実存的なベッド	1962.2.22	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
26	二人の子供	1962.10.24	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
27	やわらかくて固い花びら	1962.2.27	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
28	二つの頭部	1962.1.28	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
29	人間に似た三つの形態	1962.1.13	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
30	三つの球のある頭部	1962.9.24	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
31	三つに分れた頭部	1962.10.30	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
32	奇妙な生物	1962.3.7	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
33	体操	1962.2.1	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
34	二つ目小僧	1962.3.23	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
35	旅人	1962.10.30	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
36	前向きの顔・後向きの顔	1962.5.21	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
37	思春期	1962.2.27	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
38	会話-小さな会議	1962	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
39	無邪気なエイリアン	1962.2.22	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
40	みどりの迷路	1962.2.26	鉛筆, マーカー, 紙	49.8×69.8	
41	古代的風影	1960.12.31	鉛筆, 紙	30.0×40.5	
42	骨のリズム	1961.1.8	鉛筆, ペン, 紙	30.0×42.8	
43	ストレインジャー	1961.1.8	鉛筆, ペン, 紙	30.0×42.8	
44	動かない王	1961.1.9	鉛筆, マーカー, 紙	30.0×42.8	
45	ふしぎな動物	1961.1.10	鉛筆, マーカー, 紙	29.8×40.4	
46	犬あるいは……	1961.1	鉛筆, マーカー, 紙	29.8×39.1	
47	男あるいは……	1961.11	鉛筆, マーカー, 紙	29.8×39.1	
48	何?	1961.1.1	鉛筆, マーカー, 紙	29.8×38.9	
49	人それとも……	1961.1.22	鉛筆, マーカー, ペン, 紙	29.8×39.8	
50	構成された世界	1961.1	鉛筆, マーカー, 紙	29.8×38.8	
51	母と子	1961	鉛筆, マーカー, 紙	29.9×40.0	
52	眼そしてHito	1961.6.8	鉛筆, マーカー, 紙	29.9×40.0	
53	鉄の子供	1961	鉛筆, マーカー, 紙	29.9×39.3	
54	鎖のイカルス	1964.4.16	鉛筆, マーカー, ペン, 紙	29.8×40.0	
55	三つの形態	1964.4.19	マーカー, 紙	29.8×39.8	
56	鎖の空気と眼	1964.4.18	マーカー, ペン, 紙	29.8×39.9	
57	三個のAugen-mensche	1964.4.19	マーカー, 紙	29.8×39.8	
58	円形のHito 2人	1964.4.18	マーカー, 紙	29.8×40.0	
59	生の花	1964.5.15	鉛筆, マーカー, ペン, 紙	29.6×41.5	
60	魔女の食卓	1964.5	マーカー, ペン, 紙	29.6×41.5	
61	すきまの生む空間	1967.4.6	鉛筆, マーカー, ペン, 紙	29.6×41.5	
62	モニュメンタルな形	1967.1.23	鉛筆, マーカー, ペン, 紙	29.6×41.5	
63A	ANDYWARHOL-CLAESOLDENBURG-ROYLICHTENSTEIN	1973	鉛筆, マーカー, 方眼紙	28.0×18.0	
63B	KIMAENOYOI-GENEROUS	1973.8.28	鉛筆, マーカー, 方眼紙	28.0×18.0	
63C	SOGOTEKINA-RECIPROCAL	1973.8.25	鉛筆, マーカー, 方眼紙	28.0×18.0	
63D	SEKININNOARU-RESPONSIBLE	1973.8.25	鉛筆, マーカー, 方眼紙	28.0×18.0	
64	ITA	1987	クレヨン, 鉛筆, 紙	24.0×30.2	
65	KI-WOOD	1987	クレヨン, 鉛筆, 紙	24.0×30.2	
66	木の六面体(WOOD)	1987	マーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
67	HOKEI-DAEN	1987.4.7	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
68	SEIHOKEI-SQUARE	1987.4.7	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
69	WOOD-WALL ROKUMENTAIHEXA-HEDRON	1987	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
70	さけめから見える木の部分	1987	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
71	さけめから見える木の部分	1987	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
72	さけめから見える部分	1987	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
73	さけめから見える部分	1987	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
74	おかしな木	1987.4.14	クレヨン, 鉛筆, 紙	24.0×30.2	
75	交叉する木	1987.4.14	カラーマーカー, 鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
76	BALLERINEと踊り子たち	1987.4.14	コラージュ, カラーマーカー, クレヨン, 鉛筆, 紙	24.0×30.2	

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
77	AOBAとBOCHI	1987.4.14	写真, コラージュ, 鉛筆, カラーマーカー, 紙, クレヨン	30.2×24.0	
78	AOBAとSAKURA	1987.4.17	写真, コラージュ, 鉛筆, カラーマーカー, 紙, クレヨン	30.2×24.0	
79	KI	1987	鉛筆, カラーマーカー, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
80	UMIとTORI	1987	鉛筆, カラーマーカー, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
81	TORIと木	1987.4.17	鉛筆, カラーマーカー, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
82	PIANOとSHOJO	1987.4.17	鉛筆, マーカー, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
83	KI-A'	1987	鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
84	KIとWOOD ①	1987	鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
85	KI-B	1987	鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
86	KIとWOOD ②	1987	鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
87	KIとWOOD ③	1987	鉛筆, クレヨン, 紙	24.0×30.2	
88	WARUI-EVIL-JŌDAN-CRACK	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
89	HIBIKI-ECHO-SAKURA-CHERRY	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
90	MUSŪNO-NUMBERLESS-HA-LEAF	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
91	NIWA-GARDEN-YORUNONEKO-CATOFNIGHT	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
92	JISHIN-EARTHQUAKE-SANGEKI-ATROCITY	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
93	NAMAGUSAI-FISHSMELLING-HONE-BONE	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
94	ONNA-WOMAN, ME-EYE	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
95	KOTOBA-WORD-NAMI-WAVE	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
96	KONEKO-KITTEN-ISU-CHAIR	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
97	SHI-DEATH-NIOI-ODOR	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
98	KINOUNOYORU-LASTNIGHT-YUME-DREAM	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
99	TORI-BIRD-SHIGAI-CORPSE	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
100	AMADO - SLIDINGDOOR - HARUNOYUKI - SNOWOFSPRING	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
101	MACHI-CITY-MADO-WINDOW	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
102	KURAI-DARK-NEMURI-SLEEP	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
103	KEMURI-SMOKE-IKARI-ANCHOR	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
104	SENAKA-THEBACK-GANPEKI-QUAY	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
105	ONGAKU-MUSIC-KŌKOTSU-ECSTASIES	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
106	SHIMARINONAI-LOOSE-ZENSŌKYOKU-A PRELUDE	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
107	JIKAN-AN HOUR-SHISŌ-ANIDEA	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
108	HATESHINAI - ETERNALLY - IKAGAWASHII - DUBIOUS	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
109	KŌRI-ICE-SUISEN-NARCISSUS	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
110	KAMI-GOD……	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
111	MISAKI-CAPE……	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
112	HANA-SHRI……	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
113	HIKARI-YAMI-EIEN-ETERNITY	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
114	KAFUN-JAAKU	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	

No.	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
115	YOMOGI-TANPOPO-AZAMI- HAHAKOGUSA	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
116	YOMENA-SEITAKAAWADACHISŌ- YOMENA	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
117	COSMOS-YOROI-KIKU-BUTAKUSA 版画	1983	鉛筆, カラーマーカー, 方眼紙	18.0×28.0	
1	クロマトポイエマ (全22点)	1972	シルクスクリーン, 紙	各75.0×55.0	三重県立美術館

インド現代美術展

会期：1988(昭和63)年6月11日－7月17日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館，読売新聞社，美術館連絡協議会，

インド祭日本委員会，インド祭事務局(インド政府・ニューデリー)

後援：外務省，インド大使館

協賛：花王株式会社

協力：目黒ユネスコ協会

担当学芸員：重田 誠

巡回スケジュール：1988年5月13日－5月29日 高岡市立美術館

1988年11月12日－12月11日 町田市立国際版画美術館

本展は、1988年4月から10月にかけて日本各地で開催された文化交流事業「インド祭」の一環として企画されたものである。今日のインド美術の状況を俯瞰することを目指し、40歳代から60歳代を中心とするインド美術家29名の作品118点で構成、これまで何回か開催されたインドの現代美術展覧会に比べ、作家数を絞ることで一人当りの点数を増やしているのが特徴である。インド美術は、19世紀の英国支配による西欧美術導入以降、1947年の独立を経て現代にいたるまで、絶えず伝統と西欧文化との融合・相克というテーマをめぐって展開してきたといえる。本展出品作も例外ではなく、様々な方法によるこのテーマへの取り組みが見られ、中にはサントーシュラの「ネオ・タントラ」などのように、伝統的宗教造形の今日的表現として特異性を示したものもあった。本展の展示にあたっては、こうした側面を一方の軸としながら、作品をいくつかの傾向ごとに整理し、インド現代美術の豊かさと力強さが理解されるように努めた。

●カタログ

寸法：25.5×19.0cm

ページ数：122頁

内容：迷宮からの帰還(J.スワーミナータン)／私の見た
インド現代美術(本間正義)／インド現代美術－その
歴史的展望(アニス・ファルーキ)

●ポスター サイズ：B2

●チラシ サイズ：B5

●関連行事

講座：インド文化の現在

7月10日 「インド文化と日本文化」 講師：スシーラ・ナ
ラシンマン (受講者：約30名)

7月17日 「インド美術の現在」 講師：アルチナ・ヘパー
ル (受講者：約30名)

●主要関連記事

『虹の橋づめーインド現代美術展』 大庭みな子 朝日新
聞，1988年6月26日

『インド現代美術展』 ワシオ・トシヒコ 公明新聞，1988
年7月2日

『インド文化の現在進行形ーインド現代美術展』 ブルータ
ス183号，1988年7月1日

『タゴール展～インド現代美術展』 鷹見明彦 ラティーナ
414号，1988年8月



B2ポスター



会場風景

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
1	アムバダス	波濤		油彩, キャンヴァス	91.3×122.0	ニューデリー国立近代美術館
2		Roopam Vedh		油彩, キャンヴァス	149.0×149.0	ニューデリー国立近代美術館
3		Roop Bhed		油彩, キャンヴァス	160.0×120.0	ニューデリー国立近代美術館
4		Roop Bhed		油彩, キャンヴァス	130.0×104.5	ニューデリー国立近代美術館
5	マンジット・バワ	無題		油彩, キャンヴァス	121.0×156.2	ニューデリー国立近代美術館
6		楽の調べにのって	1987	油彩, キャンヴァス	243.0×173.0	ニューデリー国立近代美術館
7		彼女と犬	1987	油彩, キャンヴァス	109.5×91.5	作家蔵
8		彼女と猫	1987	油彩, キャンヴァス	109.2×87.0	作家蔵
9		緑の背景の彼と虎	1987	油彩, キャンヴァス	168.0×137.5	作家蔵
10	ラーメシュワール・ブルータ	男性像 I	1979	油彩, キャンヴァス	177.9×127.0	ニューデリー国立近代美術館
11		死後の栄冠 II	1982	油彩, キャンヴァス	203.0×203.0	ニューデリー国立近代美術館
12		変容 VII	1986	油彩, キャンヴァス	120.0×120.0	ニューデリー国立近代美術館
13		変容 VIII	1986	油彩, キャンヴァス	125.0×250.0	ニューデリー国立近代美術館
14	バル・チャブダ	ゴアの宗教的モチーフ	1963	油彩, キャンヴァス	89.0×61.0	作家蔵
15		色の黒い孤児達	1965	油彩, キャンヴァス	182.0×92.0	ニューデリー国立近代美術館
16		自画像	1970	油彩, キャンヴァス	61.0×51.0	作家蔵
17		人体	1975	油彩, キャンヴァス	102.0×61.0	作家蔵
18		秘密のバー	1986	油彩, キャンヴァス	153.0×183.0	ニューデリー国立近代美術館
19	ジョーゲン・チョウドリ	描かれた生活 I	1973	インク, パステル, 紙	152.0×152.0	ニューデリー国立近代美術館
20		描かれた生活 II (夫婦)	1976	インク, パステル, 紙	152.0×154.0	作家蔵
21		月と暗黒の天空	1980	インク, パステル, 紙	216.0×152.0	ニューデリー国立近代美術館
22	スニール・ダス	死との対決 I		油彩, キャンヴァス	170.0×152.0	作家蔵
23		死との対決 II		油彩, キャンヴァス	149.0×170.0	作家蔵
24		死との対決 III		油彩, キャンヴァス	183.0×122.0	作家蔵
25		死との対決 IV		油彩, キャンヴァス	88.0×88.0	作家蔵
26		死との対決 VI		油彩, キャンヴァス	170.0×153.0	ニューデリー国立近代美術館
27	シャンティ・ダヴェ	無題	1970	ミックストメディア, キャンヴァス	74.0×58.0	ニューデリー国立近代美術館
28		ペインティング	1973	ミックストメディア, キャンヴァス	90.0×85.5	ニューデリー国立近代美術館
29		ペインティング		ミックストメディア, キャンヴァス	155.0×100.0	作家蔵
30		ペインティング2		ミックストメディア, キャンヴァス	156.0×100.0	作家蔵
31		ペインティング5		ミックストメディア, キャンヴァス	100.0×115.0	作家蔵

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法 (cm)	所蔵先
32	ビレン・デ	創世	1964	油彩, キャンヴァス	76.0×152.5	ニューデリー国立近代美術館
33		8月	1971	油彩, キャンヴァス	106.0×86.0	ニューデリー国立近代美術館
34		創世	1978	油彩, キャンヴァス	121.5×182.5	ニューデリー国立近代美術館
35		2月	1985	油彩, キャンヴァス	139.5×101.5	ニューデリー国立近代美術館
36	V・S・ガイトンデ	無題	1974	油彩, キャンヴァス	177.0×101.5	ニューデリー国立近代美術館
37		ペインティング I	1980	油彩, キャンヴァス	156.0×105.0	バーラト・バヴァン美術館
38		ペインティング II	1981	油彩, キャンヴァス	156.0×105.0	バーラト・バヴァン美術館
39	M・F・フセイン	第7号独房	1974	油彩, キャンヴァス	111.5×110.0	ニューデリー国立近代美術館
40		嵐の静けさ	1977	油彩, キャンヴァス	136.5×193.0	ニューデリー国立近代美術館
41		嵐の静けさ	1977	インク, ウォッシュ	50.0×75.0	ニューデリー国立近代美術館
42	サナット・カール	母	1979	木版画	58.5×51.0	ニューデリー国立近代美術館
43		夢みる人 III	1983	テンペラ, 紙	37.5×50.0	ニューデリー国立近代美術館
44		夢みる人シリーズ100	1984	木版画	50.3×58.5	作家蔵
45		母(夢みる人シリーズ)	1985	木版画	51.5×60.5	作家蔵
46		無題	1986	紙版画	48.0×36.5	作家蔵
47	クリシェン・カンナ	ノクターン	1979	油彩, キャンヴァス	109.0×155.0	バーラト・バヴァン美術館
48		後尾の光景	1981	油彩, キャンヴァス	178.0×122.0	バーラト・バヴァン美術館
49		密告	1981	油彩, キャンヴァス	180.0×117.0	バーラト・バヴァン美術館
50	タイプ・メータ	無題		油彩, キャンヴァス	209.0×444.0	ニューデリー国立近代美術館
51		対角線	1973	油彩, キャンヴァス	175.0×175.0	ニューデリー国立近代美術館
52		桃色の人物	1981	油彩, キャンヴァス	152.0×107.0	バーラト・バヴァン美術館
53		人力車に乗った婦人	1984	油彩, キャンヴァス	153.0×123.0	バーラト・バヴァン美術館
54	ムリナーリニ・ムケル ジー	Purush	1985	ジュート	112.0×212.0× 112.0	バーラト・バヴァン美術館
55		Yogini	1986	ジュート	244.0×79.0× 79.0	バーラト・バヴァン美術館
56	マス・パレーク	無題	1970	油彩, キャンヴァス	122.2×122.5	ニューデリー国立近代美術館
57		増殖	1973	油彩, キャンヴァス	119.0×119.0	ニューデリー国立近代美術館
58		抽象	1974	油彩, キャンヴァス	104.5×119.0	ニューデリー国立近代美術館
59		彼	1974	油彩, キャンヴァス	148.0×167.0	作家蔵
60		彼女		油彩, キャンヴァス	154.0×168.0	作家蔵
61	マヘンドラ・M・パテ ル	風景	1982	パステル, 紙	35.6×47.5	作家蔵
62		人とサボテン	1982	パステル, 紙	54.5×37.0	作家蔵
63		人と墳墓	1982	パステル, 紙	36.5×54.5	作家蔵
64		風景	1982	パステル, 紙	56.5×76.0	作家蔵
65	ナグジ・パテル	萌芽(桃色の)		大理石	62.0×32.0× 45.0	ニューデリー国立近代美術館
66		萌芽	1981	大理石	30.0×30.0× 61.0	バーラト・バヴァン美術館
67		鳥	1981	大理石	72.0×32.0× 48.0	バーラト・バヴァン美術館
68	ラム・クマール	無題		油彩, キャンヴァス	152.0×83.5	ニューデリー国立近代美術館
69		風景- I		油彩, キャンヴァス	83.0×140.0	ニューデリー国立近代美術館
70		無題	1974	油彩, キャンヴァス	140.0×80.0	ニューデリー国立近代美術館
71		Leh	1986	油彩, キャンヴァス	127.5×178.0	作家蔵
72		ワナラジ讃	1987	油彩, キャンヴァス	152.5×208.0	作家蔵
73	クリシュナ・レディ	渦巻く瀧み		版画, 紙	38.0×46.0	ニューデリー国立近代美術館
74		生命の営み		エッチング	31.0×50.0	ニューデリー国立近代美術館
75		萌芽	1962	エッチング, アク アチント	30.3×44.5	ニューデリー国立近代美術館
76	ピラジ・サガラ	無題	1966	コラージュ, 木	122.5×245.0	ニューデリー国立近代美術館
77		木へのイメージ	1974	コラージュ, 木	120.0×242.8	ニューデリー国立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)	所蔵先
78		木へのイメージ		コラージュ, 木	78.0×56.0	ニューデリー国立近代美術館
79		魚		コラージュ, 木	60.0×162.0	作家蔵
80		Nag		コラージュ, 木	106.0×91.5	作家蔵
81	カシナート・サルヴェ	無疵のまま		ミックストメディア	99.0×83.0	作家蔵
82		ブラック・デイ		ミックストメディア	186.2×96.5	作家蔵
83		プラークリット・古代の言葉		ミックストメディア	76.0×60.5	作家蔵
84		Purush	1985	ミックストメディア	77.0×62.0	ニューデリー国立近代美術館
85		Purush II		ミックストメディア	91.2×75.8	作家蔵
86	G・R・サントーシュ	Nada		油彩, キャンヴァス	178.0×127.0	作家蔵
87		ペインティングー I		油彩, キャンヴァス	178.0×127.0	作家蔵
88		ペインティングー II		油彩, キャンヴァス	206.0×153.0	作家蔵
89		無題	1980	油彩, キャンヴァス	153.0×127.0	ニューデリー国立近代美術館
90		無題	1982	油彩, キャンヴァス	202.5×152.7	ニューデリー国立近代美術館
91	スレーシュ・シャルマ	無題		アクリル, キャンヴァス	156.0×120.0	ニューデリー国立近代美術館
92		無題		アクリル, キャンヴァス	91.0×122.0	作家蔵
93		無題		アクリル, キャンヴァス	89.0×107.0	作家蔵
94	P・スリニヴァーサン	S.A.の門2		油彩, キャンヴァス	30.0×30.0	作家蔵
95		S.P.の門2		油彩, キャンヴァス	30.0×30.0	作家蔵
96		S.P.の門II		油彩, キャンヴァス	30.0×30.0	作家蔵
97		正方形と対象線G, 2	1984	油彩, 板	51.0×51.0	ニューデリー国立近代美術館
98		垂直線と水平線G	1984	油彩, キャンヴァス	132.0×107.5	ニューデリー国立近代美術館
99	K.G. スブラマニアン	果物鉢と盲目の母親	1980	油彩, アクリルシート	57.5×42.5	ニューデリー国立近代美術館
100		悪魔と戦う色の黒い少年達	1986	水彩, 油彩, アクリルシート	89.0×59.0	ニューデリー国立近代美術館
101		ブルワ・パッルリの妖精譚	1986	水彩, 油彩, アクリルシート	84.0×61.0	ニューデリー国立近代美術館
102		ブルワ・パッルリの妖精譚-2	1986	水彩, 油彩, アクリルシート	84.7×59.5	作家蔵
103		ブルワ・パッルリの妖精譚-3	1986	水彩, 油彩, アクリルシート	85.0×59.5	作家蔵
104	J・スワミナータン	祭壇	1987	油彩, ワックス	152.5×457.5	バーラト・バヴァン美術館
105		全能の神	1987	石	114.0×31.5×50.0	バーラト・バヴァン美術館
106	V・S・ウバーダヤー	無題	1982	アクリル, キャンヴァス	152.0×123.0	ニューデリー国立近代美術館
107		無題-I	1984	アクリル, キャンヴァス	172.0×137.0	ニューデリー国立近代美術館
108		無題	1985	アクリル, キャンヴァス	165.0×183.3	ニューデリー国立近代美術館
109		無題		アクリル, キャンヴァス	130.0×179.0	作家蔵
110	S・G・ヴァスデーヴ	Kalpanka II	1976	油彩, キャンヴァス	121.5×122.0	ニューデリー国立近代美術館
111		生命の樹	1985	油彩, キャンヴァス	120.0×150.0	ニューデリー国立近代美術館
112		生命の樹		油彩, キャンヴァス	90.0×90.0	作家蔵
113		生命と死の木		油彩, キャンヴァス	90.0×90.0	作家蔵
114	ジャイ・ザロティア	コンポジション	1977	ミックストメディア	44.0×55.0	ニューデリー国立近代美術館
115		不思議な事 I		水彩, 紙	170.0×52.5	ニューデリー国立近代美術館
116		不思議な事 II		水彩, 紙	170.0×52.5	ニューデリー国立近代美術館
117		不思議な事 III		水彩, 紙	170.0×52.5	ニューデリー国立近代美術館
118		版画	1979	シルクスクリーン	39.0×54.5	ニューデリー国立近代美術館

光があるから闇がある

高島野十郎—美術史探索学・号外—展

会期：1988(昭和63)年7月28日—8月28日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館，NHKサービスセンター，朝日新聞社

協賛：ハイネケンビール

企画協力：福岡県立美術館

担当学芸員：正木 基，山田敦雄，重田 誠

巡回スケジュール：1988年9月15日—26日 久留米・岩田屋

1988年10月6日—18日 大分・トキハ会館

美術史探索学展の第2回。前回の入門編に引き続き，地方美術館の発掘した作家の紹介として開催された。1985年に福岡県立美術館でようやくその画業のおおよそが明らかにされ，大きな反響を呼んだ高島野十郎の，東京における初めての本格的な展覧会となった。前回の展覧会以降の福岡県立美術館の調査によって野十郎の孤高の作家としての足跡がさらにつまびらかにになり，また新発見作品およそ50点も加えられ，野十郎の紹介としてはまさに決定的な回顧展となった。野十郎再評価の機運が，彼の生き方，とりわけ芸術に殉ずるといふ白樺派的生涯への共感にあったことは否めない。そこで本展覧会の開催にあたっては，初期の劉生らの草土舎に通じる作風の時代，滞欧時代，帰国から終戦時代，戦後と，透徹した細密描写で対象の存在に肉薄しようと画境を深めた軌跡をあまねく紹介し，作品中心の鑑賞と評価が可能となるよう意図した。

●カタログ

寸法：24.0×25.0cm

ページ数：136ページ

内容：ごあいさつ／高島野十郎一人と作品(西本匡伸)／図版／資料／仏と乞食の間の魔(菊畑茂久馬)／高島野十郎—自然を見つめるまなざし(正木 基)／出品目録

●ポスター サイズ：B2，B3／デザイン：原口健一郎

●チラシ サイズ：B5

●ハガキ サイズ：15.0×10.7cm

●関連行事

7月31日(日) フリートーク・高島野十郎って知ってるかい？ 川崎 浹・西本匡伸

8月7日(日) フリートーク・高島野十郎って知ってるかい？ 窪島誠一郎・米倉守

8月14日(日) フリートーク・高島野十郎って知ってるかい？ 高橋克彦・あがた森魚

8月21日(日) フリートーク・高島野十郎って知ってるかい？ 中沢新一・松枝 到

8月28日(日) フリートーク・高島野十郎って知ってるかい？ 大島清次・田中日佐夫

●主要関連記事

『美術館時代が掘り起こした作家達—(美術史の厚み)へ』

正木 基 アートトップ 1988年7月

『透徹した記憶と求道—放浪の画人高島野十郎展』 米倉守 朝日新聞 1988年8月3日

『高島野十郎—すいれんの池』 芥川喜好 読売新聞 1988年8月14日

『画壇から離れ，諸流派に翻弄されず独特の表現に結実した「高島野十郎展」』 高島直之 朝日ジャーナル 1988年8月26日

『燃え尽きたかった？ 蠟燭画家 高島野十郎の執念』 西本匡伸 芸術新潮 1988年9月

『孤高の画家高島野十郎を語る』 大内田茂士 三彩 1988年9月



B2ポスター



会場風景

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
1	傷を負った自画像	1914頃	油彩,キャンバス	59.5×49.6	福岡県立美術館
2	緒 <small>いと</small> 子 <small>こ</small> をかけたる自画像	1920	油彩,キャンバス	52.6×45.4	福岡県立美術館
3	紫おもととりんご	1920	油彩,キャンバス	45.5×60.6	
4	枯草の郊外	1921	油彩,キャンバスボード	24.0×33.1	
5	早春	1921	油彩,キャンバス	90.4×72.8	
6	鉢と茶碗	1922	油彩,キャンバス	33.4×45.4	
7	つりさげられた鳥	1922	油彩,板	33.1×23.8	
8	りんごを手にした自画像	1923	油彩,キャンバス	60.5×49.2	福岡県立美術館
9	煙草を手にした自画像	未詳	油彩,キャンバス	52.6×45.4	福岡県立美術館
10	ざくろ	1925	油彩,キャンバス	44.2×59.0	
11	静物	1925	油彩,キャンバス	33.2×45.6	
12	霧と煙	1930—33	油彩,キャンバス	32.8×45.6	
13	村落の冬	1930—33	油彩,キャンバス	45.5×60.6	
14	岸辺の道	1930—33	油彩,キャンバス	45.5×60.4	福岡県立美術館
15	セース河畔	1930—33	油彩,キャンバス	45.4×60.5	福岡県立美術館
16	日曜日の夕方—パリ オーステルリッツ橋	1930—33	油彩,キャンバス	52.8×72.6	
17	セースの解	1930—33	油彩,キャンバス	50.6×65.8	
18	ノートルダム界限	1930—33	油彩,キャンバス	60.2×49.2	福岡県立美術館
19	五月の夕	1930—33	油彩,キャンバス	53.4×41.0	
20	ジブシーの馬車	1930—33	油彩,キャンバス	40.9×52.8	
21	田舎道 Country road	1930—33	油彩,キャンバス	60.6×50.0	
22	石畳の道	1930—33	油彩,キャンバス	45.6×54.6	福岡県立美術館
23	横丁	1930—33	油彩,キャンバス	45.6×54.6	福岡県立美術館
24	パリ郊外	1930—33	油彩,キャンバス	72.8×60.7	
25	ベニスの港	1930—33	油彩,キャンバス	53.0×41.0	
26	梨の花	1930—33	油彩,キャンバス	53.0×72.3	財団法人恵愛団
27	向日葵 Sunflowers	未詳	油彩,板	32.0×23.8	
28	大西洋の浪	1930—33	油彩,キャンバス	37.4×71.0	
29	竹藪	1934—35	油彩,キャンバス	70.3×50.0	
30	りんご	1935	油彩,キャンバス	31.8×41.3	
31	朝霧	1941	油彩,キャンバス	45.4×60.8	
32	山中秋色	1942	油彩,キャンバス	47.0×52.6	
33	壺とりんご	1943	油彩,キャンバス	41.0×53.4	
34	春雨	未詳	油彩,キャンバス(板貼)	23.8×32.8	
35	村はずれの森	未詳	油彩,キャンバス	39.6×51.4	

No	作品名	制作年	素材、技法	寸法(cm)	所蔵先
36	月夜の雲	1925	油彩, キャンバスボード	11.0×15.6	
37	夕月	1940	油彩, キャンバス	45.6×60.8	
38	三日月	未詳	油彩, 板	25.5×20.3	
39	夕月	1961以降	油彩, キャンバス	45.5×60.5	
40	月	未詳	油彩, キャンバス	41.0×32.3	
41	月	1962	油彩, キャンバス	41.0×31.8	
42	月	未詳	油彩, キャンバス	41.0×31.9	
43	満月	1963以降	油彩, キャンバス	60.6×50.0	東京大学医科学研究所
44	月	1962以降	油彩, キャンバス	31.7×40.8	
45	古池	1945—47	油彩, キャンバス	60.4×50.0	
46	溪流	1946	油彩, キャンバス	46.3×61.3	
47	溪流	未詳	油彩, キャンバス	60.5×72.7	杏林大学
48	溪谷	未詳	油彩, 板	45.4×37.6	
49	溪谷	未詳	油彩, キャンバスボード	45.4×37.5	
50	桜	1946	油彩, 金箔	各32.5×72.8	
51	筑後川遠望	未詳	油彩, 板	21.2×33.4	福岡県立美術館
52	山辺秋色	1948	油彩, キャンバス	50.0×60.5	
53	すいれんの池	1949	油彩, キャンバス	89.0×129.9	株式会社アサヒコ ーポレーション
54	割れた皿	未詳	油彩, 板	24.0×33.2	
55	海岸	未詳	油彩, キャンバス	45.5×60.6	
56	越ヶ谷	未詳	油彩, キャンバス	45.4×60.7	福岡市立美術館
57	早春	1952	油彩, 板	20.0×26.0	
58	寧楽の春	1953	油彩, キャンバス	73.5×54.0	福岡県立美術館
59	雨—法隆寺塔	未詳	油彩, キャンバス	72.4×53.2	
60	山中孤堂	1953	油彩, 板	22.0×27.0	
61	大樹のある野	未詳	油彩, キャンバス	38.0×45.4	
62	春の日—新宿御苑	1954	油彩, 板	33.1×24.2	
63	御苑の春	未詳	油彩, キャンバス	51.8×44.5	
64	すもも	未詳	油彩, キャンバス	25.4×44.0	
65	壺とリング	1954	油彩, キャンバス	40.1×31.0	
66	カンナとコスモス	1954	油彩, キャンバス	60.6×50.3	
67	境内の桜	1955	油彩, キャンバス	60.6×50.0	福岡県立美術館
68	初夏の野路	1955頃	油彩, キャンバス	33.2×45.6	福岡県立美術館
69	石神井池	未詳	油彩, キャンバスボード	37.8×45.2	福岡県立美術館
70	菊の花	1956	油彩, キャンバス	51.8×44.4	
71	萩	未詳	油彩, キャンバス	51.8×44.3	
72	さくらんぼ	1957	油彩, キャンバス(板貼)	27.2×21.9	
73	雪晴れ	1958	油彩, キャンバス	40.8×53.1	福岡県立美術館
74	高原の秋	未詳	油彩, キャンバス	33.5×45.4	
75	野の径	未詳	油彩, 板	23.0×31.8	
76	高原の道	1958	油彩, キャンバス(板貼)	24.5×33.2	
77	晴れゆく山村	1959頃	油彩, キャンバスボード	33.2×24.0	福岡県立美術館
78	八ヶ岳への道	未詳	油彩, 板	45.6×37.6	福岡県立美術館
79	萌え出づる森	未詳	油彩, キャンバス	52.9×45.7	
80	林径秋色	1961	油彩, キャンバス	45.5×37.7	
81	菜の花	未詳	油彩, キャンバス	53.0×72.5	ブルーミング中西 株式会社
82	早春池畔	1953	油彩, キャンバス	48.7×59.5	福岡市立美術館
83	葡萄	未詳	油彩, キャンバス	53.2×41.0	
84	春の海	1962	油彩, キャンバス	53.2×72.5	福岡県立美術館
85	柿	1962	油彩, キャンバス	31.8×41.1	

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先	
86	りんご	未詳	油彩,キャンバス	41.2×32.1	福岡県立美術館	
87	太陽	1962	油彩,キャンバス	30.5×39.8		
88	秋陽	未詳	油彩,キャンバス	45.5×53.0		
89	無題	1967以前	油彩,キャンバス	45.8×60.8		
90	太陽	1962	油彩,キャンバス	32.0×41.0		
91	ほたん	1963以降	油彩,キャンバス	53.0×45.7		
92	南瓜	1965以降	油彩,キャンバス	31.8×41.2		
93	けし	1966以降	油彩,キャンバス	60.2×50.0		
94	林辺太陽	1974以前	油彩,キャンバス	60.8×73.1		東京大学医学研究所
95	からすうり	未詳	油彩,キャンバス	53.0×41.0		
96	積る	未詳	油彩,キャンバス	33.5×45.8		
97	太陽	1975	油彩,キャンバス	60.0×72.1		
98	人形	未詳	油彩,キャンバスボード	22.5×15.5		
99	りんご畑	未詳	油彩,キャンバス	50.2×60.6		
100	睡蓮	1975	油彩,キャンバス	48.6×50.0		
101	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.9		
102	蠟燭	1934頃	油彩,キャンバス(厚紙貼)	22.8×15.8		
103	蠟燭	未詳	油彩,板	27.5×21.7		
104	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.7		
105	蠟燭	未詳	油彩,キャンバス(板貼)	23.0×15.8		
106	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.6		
107	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.4		
108	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.6		
109	蠟燭	未詳	油彩,板	22.6×15.7		
110	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.8		
111	蠟燭	未詳	油彩,板	22.8×15.7		
112	蠟燭	未詳	油彩,板	22.6×15.6		
113	蠟燭	未詳	油彩,板	22.6×15.6		
114	デッサン(積る=no.96)	未詳	鉛筆,紙	20.2×28.9	福岡県立美術館	
115	デッサン(太陽=no.97)	未詳	色鉛筆,コンテ,紙	18.8×22.2	福岡県立美術館	
116	デッサン	未詳	鉛筆,紙	20.8×25.7	福岡県立美術館	

所蔵作品展Ⅱ —住所について

会期：1988(昭和63)年9月1日—25日

同時開催：ワークショップ・手と目の冒険広場「素材との触れあい—金属」

会場：展示室A，展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：山田敦雄

当館所蔵品のうち大きな部分を占める、日本人作家が海外で制作した作品から、作家と環境のかかわりをテーマに構成。出品作品は戦前のいわゆる「滞欧作」を中心に1970年代まで。ヨーロッパやアメリカの見知らぬ街や風景に作家たちがどんな視線を注いだか、アトリエからのながめにはじまり、街なみ、寺院、風景の中の村、そして廃墟など、人間の文化的な営為＝「住所」のある情景を選び、いくつかのエピソードによるひとつのストーリーとして展観した。また、作品寄贈を受けた矢橋六郎氏のご逝去にともない、特にコーナーをもうけ11点の滞欧作品を特別展示した。会場はテーマにあわせて、風景の中の街なみを念願に、仮設壁を多用して変化にとんだ構成を意図した。

●パンフレット サイズ：A4



B3ポスター

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
1	山口 薫	巴里の屋根	1930	油彩, キャンバス	45.6×37.7
2	児島善三郎	窓からの風景	1925—28	油彩, キャンバス	60.6×45.5
3	鹿子木孟郎	アブニュー オッシュ	1916—17	油彩, キャンバス	50.1×61.0
4	荒井龍男	プラスサンミッシェル	1935	油彩, キャンバス	60.6×50.1
5	青山義雄	リュクサンブール公園	1933	油彩, キャンバス	45.4×37.8
6	大橋了介	町外れの家	1927—33	油彩, キャンバス	60.6×73.3
7	横手貞美	街路	1921—31	油彩, キャンバス	52.9×72.7
8	安宅安五郎	仏国ヴェルサイユ郊外	1922	油彩, キャンバス	31.7×40.6
9	伊原宇三郎	アヴィニオンの廃跡	1925—29	油彩, キャンバス	54.2×65.0
10	児島善三郎	丘の見える村	1925—28	油彩, キャンバス	60.3×72.5
11	里見勝蔵	雪景	c.1925	油彩, キャンバス	65.4×80.6

No.	作家名	作品名	制作年	素材・技法	寸法(cm)
12	旭谷左右	風景	1925	油彩, キャンバス	24.5×33.5
13	加山四郎	寺の小路	1930	油彩, キャンバス	60.6×72.7
14	大久保作次郎	塔のある風景	1928	油彩, キャンバス	80.3×65.4
15	宮田重雄	ヴリエ・シュール・モラン	1929	油彩, キャンバス	60.3×73.3
16	中村義夫	村の教会	c.1921-26	油彩, キャンバス	65.2×54.2
17	鈴木良三	クラマールの寺院	1931	油彩, キャンバス	80.5×65.0
18	角 浩	サンスの寺院	1939	油彩, キャンバス	65.0×53.0
19	太田喜二郎	雪の朝	1908-13	油彩, キャンバス	74.2×50.0
20	原 勝郎	ベルギー風景	1938	油彩, キャンバス	50.3×60.2
21		ベルギー風景	1938	油彩, キャンバス	45.7×60.7
22	沢部清五郎	ニューヨーク風景	1910-12	水彩, 紙	55.5×33.2
23	国吉康雄	ウッドストック風景	1917	油彩, キャンバスボード	22.8×27.8
24	栗原忠二	ロンドン国会議事堂	c.1926	油彩, キャンバス	81.3×101.5
25	武内鶴之助	パトニーブリッジ	1908-12	油彩, キャンバス	41.2×53.3
26	浜口陽三	パリの屋根	1956	カラーメゾチント, 紙	14.8×19.9
27	長谷川潔	吉村(シャトーアルヌー)	1927	ドライポイント, 紙	19.5×27.5
28		サン・ポール・ド・ヴァンスの村	1929	メゾチント, 紙	13.7×17.8
29	名井萬亀	レジェ風	1950	油彩, キャンバス	65.8×90.7
30	菅井 波	風景	1953	油彩, キャンバス	45.6×60.7
31	近藤吾朗	家並	1930	油彩, キャンバス	31.8×41.2
32	野見山曉治	パリの郊外	1953	インク, グワッシュ, 紙	37.5×51.5
33	原 精一	ルーブル美術館夕景	c.1966	油彩, キャンバス	65.5×91.6
34	村井正誠	アラブの店	1929	油彩, キャンバス	100.2×80.7
35	山口 薫	風景	1930-31	油彩, キャンバス	50.1×60.6
36	矢橋六郎	ポンヌフ	1931	油彩, キャンバス	80.4×100.0
37		マルチック	1932	油彩, キャンバス	65.2×81.1
38		ミュゼリニー・パリ	1930-31	油彩, ボード	24.0×33.0
39		パリ, ルーブルにて	1930-31	油彩, 板	23.9×33.1
40		トロカデ	1930-31	油彩, 板	32.8×40.7
41		モレー	1930-31	油彩, 板	24.3×33.0
42		ニース港	1930-31	油彩, 板	15.7×22.0
43		コルシカ島にて 1	1930-31	油彩, 板	16.0×22.0
44		コルシカ島にて 2	1930-31	油彩, 板	15.8×22.0
45		トレド	1930-31	油彩, 板	22.4×27.0
46		トレド, アルカンタラ橋	1930-31	油彩, 板	22.4×27.0
47	吉田克朗	LONDON II (12点)	1975	フォトエッチング, 紙	31.0×43.5

5つの卵はいかにして包まれたか— 日本の伝統パッケージ展

会期：1988(昭和63)年10月9日—11月6日

会場：展示室A・B・C, 展示ロビー, ワークショップ, エントランスホール

主催：目黒区美術館

後援：国際交流基金

企画協力：岡 秀行

担当学芸員：矢内みどり

木、竹、わら、土、草など日本の風土にはぐくまれた自然の素材を生かし、一徹な職人気質に守られ、昔からの「本物」の姿で続けられている日本の伝統パッケージ(包装・容器)は、あまりにも身近なためか、普段はじっくりと見ることも少ないものである。こうした貴重な伝統が消えてゆくことに対する反省の意味もこめて、庶民の美意識と生活の知恵のすばらしさを再認識し、そのルーツを探り、純粹に鑑賞し、追体験するなど、様々なレベルでの試みが我々の現在と未来にとって必要とされるだろう。「日本の伝統パッケージ」、「包む・TSUTSUMU」などの著者であるデザイナーの岡秀行氏の「包む」海外展は、世界各国の100か所以上の会場で開催され高い評価を得た。本展はその成果をふまえ岡氏の協力の元に日本では初めての美術館での本格的な伝統パッケージの展覧会となった。また、今回はパッケージに対して生態学、宗教学など文化の諸層からの多面的な分析を試みて、この日本独自の伝統的な現象の根拠となる精神構造、美学を探りだし、今までにない新しい視点を加味し、新鮮な切り口の展開を意図したものである。また会期後、パッケージを保存し、今後の活用を図る。

●カタログ

寸法：29.0×22.5cm

ページ数：152頁

デザイン：矢萩喜徒郎

内容：メッセージ(国際交流基金理事長 鹿取泰衛)／包む：日本の包装芸術(ジャパン・ソサエティー・ギャラリー, アシスタント・ディレクター マリエル・セマル)／「包む」心の造形(デザイナー, 岡秀行)／伝統パッケージに見られる日本人の美意識の源流(矢内みどり)／図版／解説／出品リスト／参考文献／「日本の伝統パッケージ」展 展覧会リスト(逢坂恵理子)

●ポスター サイズ：104.0×73.0cm(わら製), B 3 / デザイン：矢萩喜徒郎

●チラシ サイズ：B 5

●ハガキ サイズ：15.0×11.7cm

●関連行事

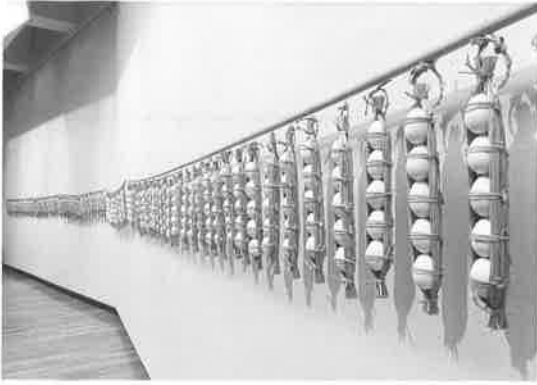
10月30日 「日本の伝統パッケージ」 対談 岡秀行(デザイナー), 水尾比呂志(美術評論家)

●主要関連記事

『日本の伝統パッケージ展 How to wrap 5 eggs 東京の新しい美術館活動の動き』 AXIS 1989年冬号



ポスター



会場風景

出品目録

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
A:木				
A-1	利休齋	菓子	15.3×23.2×21.8	岐阜県
A-2	和三盆おちよぼ	菓子	13.0×13.0×9.8(L), 10.0×10.0×8.3(S)	愛知県
A-3	祇園ちご餅	菓子		京都府
A-4	大徳寺饅頭	菓子	19.0×19.0×8.0	東京都
A-5	二人静	菓子	13.7×13.7×5.5	愛知県
A-6	千両	菓子	18.5×14.5×5.3	愛知県
A-7	真盛豆(利休井筒)	菓子	18.5×17.0×8.0	京都府
A-8	文明堂かすてら	菓子	57.0×52.5×14.0	東京都
A-9	暑気払い	菓子	13.0×13.0×5.0	東京都
A-10	金千両	その他 (つまようじ)	14.0×7.7×3.5(L), 9.0×6.0×2.5(S)	東京都
A-11	御雲丹	食品	8.7×7.8×4.0	福井県
A-12	金絲香	その他 (線香)	22.3×7.7×4.3	東京都
A-13	福ハ内	菓子	13.8×13.8×7.3	
A-14	京のよすが	菓子	16.5×16.5×5.0	京都府
A-15	湖東散歩	菓子	18.5×18.5×6.0	滋賀県
A-16	丹波大納言羊羹	菓子	28.0×10.0×8.5	佐賀県
A-17	虎屋まんじゅう	菓子	17.8×17.8×8.9	東京都
A-18	茶箱	菓子	13.5×18.5×13.5	
A-19	羊羹	菓子	27.5×15.0×7.0	東京都
A-20	七いろの味	食品	8.5×8.5×16.5	京都府
A-21	氷室	菓子	18.0×18.0×5.0	京都府
A-22	京氷室	菓子	6.5×6.5×5.0	京都府
A-23	霰三盆	菓子	14.3×16.0×10.5	徳島県
A-24	弁当箱	その他	19.5×11.8×5.5	
A-25	おもてなし弁当	その他	8.3×21.0×5.4	東京都
A-26	千木笥	その他	8.5×5.5×11.5	東京都
A-27	ますのすし	食品	18.5×21.0×8.5(L), 18.5×21.0×7.5(S)	富山県
A-28	釣瓶鮓	食品	20.3×22.6×28.5(L), 15.6×17.2×22.5(S)	奈良県
A-29	お千代宝	菓子	φ10.5×7.5	京都府
A-30	銚子樽	その他	12.5×16.5×21.0(S), 16.5×21.0×29.3(L)	

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
A-31	銚子樽	その他	φ9.0×11.0	
A-32	久方味噌	食品	φ15.0×11.0	東京都
A-33	雀桶詰	食品	20.0×28.0×15.4	大阪府
A-34	奈良漬	食品	29.0×19.0×10.0	奈良県
A-35	福神漬	食品	φ18.0×12.0	東京都
A-36	梅ぼし	食品	φ14.5×9.5	東京都
A-37	小鯛のさき漬こんぶ	食品	27.0×13.0×7.0	福井県
A-38	ヤマサ醤油	食品	φ38.0×34.0	千葉県
A-39	キッコーマン醤油	食品	φ38.0×33.0	千葉県
A-40	梅干し	菓子	φ11.3×9.0	大阪府
A-41	角樽(鶴)	酒	φ30.0×70.0	石川県
A-42	角樽(亀)	酒	φ30.0×70.0	石川県
A-43	日本盛 祝い樽	酒(清酒)	23.2×39.5×45.0	兵庫県
A-44	熊野古道	酒(清酒)	8.0×8.0×29.5	和歌山県
A-45	桃紅李白	菓子	9.5×9.5×2.2	大阪府
A-46	鮎鮓	食品	25.5×15.5×9.4	奈良県
A-47	笹乃雪	食品	22.8×16.5×5.5	東京都
A-48	稲庭饅頭	食品	37.2×10.3×3.0	秋田県
A-49	御引菓子			
A-50	老木	菓子	22.0×5.5×4.0	長野県
A-51	御用林	菓子	21.5×5.0×4.5	長野県
A-52	朝倉山椒	食品	20.0×15.5×3.5	
A-53	深山漬	食品	10.0×20.0×5.0	岡山県
A-54	お水取行法味噌	菓子	14.0×11.0×2.7	奈良県
A-55	蕉水亭弁当	食品	φ27.0×11.0	岐阜県
A-56	みやこぼし	その他	4.0×25.5×2.4	京都府
A-57	きゃらぶき・芽山椒	食品	φ11.0×10.0	長野県
A-58	木頭杉	食品	φ11.0×13.2	
A-59	椿もち	菓子		
A-60	朴葉巻	菓子		長野県
B:竹				
B-1	ちくりん	酒(焼酎)	φ14.0×28.5	鹿児島県
B-2	博多小女郎	酒(焼酎)	φ10.8×24.5	福岡県
B-3	今年竹	菓子	φ5.0×25.0	京都府
B-4	彩の香	菓子	φ5.0×22.0	
B-5	蟹丸太	食品	φ10.5×16.0	新潟県
B-6	海蔵貝しぐれ煮	食品	φ18.5×6.5	新潟県
B-7	苔清水	菓子	φ5.0×22.0	島根県
B-8	梅が香	その他(香)	φ4.5×16.0	東京都
B-9	西京漬目鯛	食品	24.0×10.5×10.0	東京都
B-10	星まつり	菓子	φ9.5×5.0×25.0	神奈川県
B-11	竹の翁	酒	27.8×7.2×4.0	東京都
B-12	御香煎	食品		京都府
B-13	やげん堀	食品 (薬味)	φ3.3×14.4	東京都
B-14	竹に小豆	菓子	φ6.0×16.0	京都府
B-15	黒方	お香	φ4.5×16.5	東京都
B-16	柿羊羹	菓子	10.0×18.0×3.0	岐阜県
B-17	ささらあめ	菓子	5.0×13.0×31.0	宮城県
B-18	笹の露	菓子	24.0×18.5×5.0	京都府
B-19	山づと	菓子	9.0×13.0	静岡県
B-20	鶴の玉子羊羹	菓子	18.0×14.0	岐阜県

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
B-21	やっとかあめ	菓子	φ14.0×11.0	愛知県
B-22	十三里	菓子	19.5×4.0	京都府
B-23	あづみ野みそ	食品	12.0×10.0	長野県
B-24	干魚	食品	φ23.0×1.0	
B-25	炭火煉新茶	食品	17.5×8.5×8.0	京都府
B-26	山牛蒡味噌	食品	19.0×5.0×40.0	
B-27	松月の香りかご	その他	φ10.0×16.5	
B-28	仙台味噌	食品	φ15.5×21.0	宮城県
B-29	山さと	菓子	φ10.0×7.5	滋賀県
B-30	せた志じ味	菓子	φ8.5×7.5	滋賀県
B-31	真盛豆	菓子	12.0×16.8×13.0	
B-32	真盛豆	菓子	10.0×20.0×4.0	京都府
B-33	たちばなのあゆ	菓子	18.0×18.0×6.0	東京都
B-34	山里柿	菓子	20.0×21.0×4.5	
B-35	阿闍梨餅	菓子	22.0×23.0×4.5	
B-36	水羊羹花しぼり	菓子	18.5×13.8×5.0	東京都
B-37	蓬生	菓子	26.0×17.5×5.0	京都府
B-38	だんご	菓子	17.5×12.7×4.0	愛知県
B-39	やきもち	菓子	19.0×11.0×3.5	京都府
B-40	豆腐羹	菓子	24.0×9.0×2.0	京都府
B-41	濱焼桜鯛	食品	28.0×57.0×9.0	岡山県
B-42	鯛の濱焼	食品	25.5×56.0×6.5	香川県
B-43	栗蒸羊羹	菓子	5.5×56.0	愛知県
B-44	栗蒸羊羹	菓子	26.0×7.3×5.5	東京都
B-45	しそもろみ,きのこもろみ	食品	13.0×7.2	
B-46	葛もち	食品	17.0×10.0×3.0	福岡県
B-47	野趣有情	菓子	4.0×40.0	福島県
B-48	和三餅	菓子	10.0×7.5×1.0	京都府
B-49	草だんご	菓子		
B-50	すし	食品	23.0×8.0×3.0	東京都
B-51	ちもと	菓子		東京都
B-52	かんじきみそ漬	食品	24.0×18.5×1.6	新潟県
B-53	弁当箱	その他	12.0×26.3×6.5	
B-54	駿河竹千筋細工	その他 (弁当箱)	10.0×30.0×9.5	静岡県
B-55	西京漬目鯛	食品	24.0×11.0×8.0	東京都
B-56	さきあめ	菓子		新潟県
B-57	道喜ちまき	菓子		京都府
B-58	道喜ちまき(献上)	菓子	7.0×7.0	京都府
B-59	笹巻麩	菓子	φ20.0×6.0	
B-60	おけさもなか	菓子	20.0×20.0×6.0	新潟県
B-61	祇園祭厄除ちまき	その他	3.0×11.0×35.0	京都府
C:その他の自然				
C-1	潮騒	菓子	φ18.3×8.4	京都府
C-2	浜土産	菓子	28.0×12.5×5.0	京都府
C-3	浜土産	菓子	17.0×16.0×7.5	京都府
C-4	貝あわせ	菓子	6.5×8.0×4.0	東京都
C-5	瓢丹の薬味入れ	食品	φ4.0×11.5	京都府
C-6	冬ごもり	菓子	φ5.0×24.0	愛知県
C-7	菰かむり	菓子	φ5.0×24.0	愛知県
C-8	紫雲,白虎,青龍	菓子	25.0×20.0×6.0	大阪府
C-9	のぼりあゆ	菓子	31.5×22.0×5.0	東京都

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
C-10	お水取行法味噌	食品	10.5×15.0×4.0	奈良県
C-11	はぶぐわ	その他	φ5.0×40.0	沖縄県
C-12	どなん	酒(泡盛)	φ7.3×29.0	沖縄県
C-13	バナパイヤ漬	菓子	49.0×12.0×10.0(L), 46.0×11.3×9.0(M), 26.0×7.0×5.0(S)	沖縄県
C-14	ウチナームーチャー	菓子	20.0×41.0	沖縄県
C-15	大ぬさ	その他(香)	23.0×15.5×17.0	東京都
C-16	御仏前	その他(香)	20.5×14.5×4.0(S), 32.5×12.5×4.0(L)	東京都
C-17	福男	菓子	φ12.5×25.0(L), φ10.0×21.0(M)	岡山県
C-18	養生糖	菓子	φ9.5×17.5	新潟県
C-19	ふる里の味	食品	12.0×25.0×5.0	岡山県
D:土				
D-1	木曾の酒七笑	酒(清酒)	φ12.0×20.0	
D-2	もっこす	酒(焼酎)	φ11.7×14.5	熊本県
D-3	山車	酒(清酒)	φ12.2×20.5(S)	岐阜県
D-4	さつま五代	酒(焼酎)	φ10.0×17.5	鹿児島県
D-5	おにたおし	酒(焼酎)	φ12.2×20.0	熊本県
D-6	猿壺	飲料	φ10.0×12.5	山形県
D-7	古丹波	酒(焼酎)	12.8×14.3×16.0	兵庫県
D-8	鳴門鯛	酒(清酒)	φ14.0×23.0	徳島県
D-9	琉球泡盛	酒(泡盛)	φ32.5×37.0	沖縄県
D-10	宝壺	酒(焼酎)	φ24.0×30.0	福岡県
D-11	山吹味噌	食品	φ26.0×34.0	
D-12	仙台味噌	食品	φ14.5×29.0	宮城県
D-13	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	φ10.0×25.0	広島県
D-14	原酒 秩父錦	酒	φ9.1×21.7	
D-15	二階堂吉四六	酒(焼酎)	φ11.0×20.5	大分県
D-16	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	φ6.8×18.0	広島県
D-17	八重桜ごろん徳利	酒(焼酎)	φ11.7×17.0	宮崎県
D-18	澤之鶴	酒(清酒)	φ17.7×20.0	兵庫県
D-19	こもりくの里	酒(清酒)	8.5×10.5×20.5	奈良県
D-20	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)		広島県
D-21	梅酢	食品	φ10.0×20.0	神奈川県
D-22	日本海	酒	φ13.3×15.0	新潟県
D-23	銚子とっくり	その他	φ7.5×11.2	徳島県
D-24	雲山	酒(清酒)	φ11.0×12.2	長野県
D-25	喜界島	酒(焼酎)	φ13.5×17.2	鹿児島県
D-26	宮崎の女	酒(焼酎)	φ12.5×15.0	宮崎県
D-27	丸大豆醤油	食品	φ10.0×26.0	
D-28	自然の里生醤油	食品	φ11.2×25.0	埼玉県
D-29	御むぎみそ	食品	11.0×11.5	埼玉県
D-30	御玄米みそ	食品	11.0×11.5	埼玉県
D-31	山車	酒(清酒)	φ13.1×26.0	埼玉県
D-32	越の磯 漁師徳利	酒(清酒)	φ14.5×14	福井県
D-33	博多小女郎 古代壺	酒(焼酎)	φ21.0×40.0	福岡県
D-34	東光	酒(清酒)	φ10.2×19.5	山形県
D-35	福寿天泉	酒(焼酎)	7.0×14.5×19.5	大分県
D-36	おでさん	酒(焼酎)	φ10.4×21.5	熊本県
D-37	弥右衛門酒	酒(原酒)	φ8.2×25.5	福島県
D-38	深山菊	酒(原酒)	φ8.9×16.3	岐阜県

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
D-39	桑酒	酒	10.0×19.0	京都府
D-40	八重桜の舟とくり	酒(焼酎)	φ11.0×13.5	宮崎県
D-41	やまん醬油	食品	9.0×21.0	静岡県
D-42	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	5.6×5.6×17.0	広島県
D-43	舞	酒(焼酎)	φ9.5×18.0	岩手県
D-44	天蓋	酒(焼酎)	φ15.0×29.0	福岡県
D-45	野田の醬油	食品	φ8.5×22.0	千葉県
D-46	西の関	酒(清酒)	φ12.4×22.0	大分県
D-47	福正宗かなざわ	酒(清酒)	φ8.0×18.5	石川県
D-48	八重桜ごろん徳利	酒(焼酎)	φ11.7×17.0	宮崎県
D-49	かまくら	酒(清酒)	10.0×12.5×15.0	秋田県
D-50	天岩戸神社	酒	φ11.0×18.0	
D-51	山の光	酒(原酒)	φ15.5×27.5	岐阜県
D-52	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	φ13.3×17.5	広島県
D-53	さつま小鶴	酒(焼酎)	φ10.5×18.5	鹿児島県
D-54	浜千鳥	酒(焼酎)	φ12.0×20.0	鹿児島県
D-55	ひむか寿	酒(焼酎)	φ13.0×18.0	宮崎県
D-56	桑酒	酒	φ10.9×19.5	京都府
D-57	さつま五代	酒(焼酎)	φ12.0×22.5	鹿児島県
D-58	黄桜	酒(清酒)	φ15.2×27.2	
D-59	松盛 慶	酒(清酒)	17.0×17.0×22.0	茨城県
D-60	ちりめんもろみ	食品	φ8.5×8.3	愛媛県
D-61	かつおみそ	食品	φ8.5×8.3	愛媛県
D-62	みがきみそ	食品	φ7.2×7.5	北海道
D-63	鮎のうるか	食品	φ9.0×9.5	大分県
D-64	鮎のうるか(子うるか)	食品	φ8.0×9.5	大分県
D-65	鮎のうるか(にがうるか)	食品	φ9.0×9.3	大分県
D-66	黒方	その他(香)	φ6.2×5.5	東京都
D-67	樽	食品	φ10.0×9.0	東京都
D-68	柚子味噌	食品	φ9.0×9.0	東京都
D-69	鯛のわた	食品	φ7.5×9.3	岡山県
D-70	鮎うるか	食品	7.8×9.5×7.5	岐阜県
D-71	晩菊	食品	φ9.0×6.0	山形県
D-72	茶漬鱒	食品	6.0×8.0	大阪府
D-73	大徳寺納豆	食品	φ7.5×7.0(C), 6.7×7.0(Y)	京都府
D-74	薬師糖	菓子	φ6.5×8.5	京都府
D-75	七いろの味(金雲)	食品	φ7.0×8.5	京都府
D-76	七いろの味(新イラボ)	食品	φ6.0×8.5	京都府
D-77	七いろの味(木ノ葉)	食品	8.0×4.0	京都府
D-78	七いろの味(たじ)	食品	8.6×8.5×16.4	京都府
D-79	きざみならづけ	食品	φ8.0×11.0	奈良県
D-80	あまさけ	飲料	φ13.0×12.0	東京都
D-81	あま酒	飲料	φ10.3×10.0	東京都
D-82	ひとはな	菓子	φ10.0×8.5	佐賀県
D-83	月知梅	その他	φ13.5×5.0	
D-84	小城の祭	菓子	φ18.5×7.0	佐賀県
D-85	うなぎ山椒煮	食品	φ21.0×6.5	
D-86	静(善光寺べんとう)	食品	φ17.0×18.0	長野県
D-87	花笠こけし	食品	φ12.0×17.0	山形県
D-88	釜めし	食品	φ13.8×9.0	群馬県
D-89	弁当入れ	その他	φ14.0×15.5	
D-90	土岐川羊羹	菓子	φ7.7×10.5	岐阜県

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
D-91	結の小鈴	菓子	φ6.0×8.5	滋賀県
D-92	紫香染	菓子	7.5×7.5×6.5	滋賀県
D-93	鬼面壺酒	酒(清酒)	9.5×13.0×20.0	佐賀県
D-94	鬼ヶ島	酒(焼酎)	9.0×12.0×22.5	長崎県
D-95	巖	酒(清酒)	11.0×14.0×22.5	群馬県
D-96	なまはげ	酒(清酒)	9.4×14.8×23.3	秋田県
D-97	大天狗	酒(清酒)	13.6×16.0×20.0	
D-98	からす天狗	酒(清酒)	14.5×15.5×18.0	
D-99	岩戸神楽(男)	酒(焼酎)	10.5×11.0×17.5	宮崎県
D-100	岩戸神楽(女)	酒(焼酎)	10.0×10.5×17.5	宮崎県
D-101	都錦	酒(清酒)	10.5×13.0×17.0	島根県
D-102	まねき猫	酒(清酒)	9.0×11.0×16.5	
D-103	李白	酒(清酒)	7.0×9.9×15.5	島根県
D-104	李白	酒(清酒)	8.8×9.0×18.5	島根県
D-105	都錦	酒(清酒)	10.8×11.5×24.0	島根県
D-106	都錦	酒(清酒)	10.8×11.3×18.7	島根県
D-107	石仏	酒(焼酎)	14.0×15.5×15.5	大分県
D-108	はにわのいも焼酎	酒(焼酎)	φ11.0×30.0	宮崎県
D-109	雪ン子白馬錦	酒(清酒)	φ8.5×14.0	長野県
D-110	ゆき	酒(清酒)	12.0×9.6×22.5	新潟県
D-111	鳳山	酒(清酒)	φ8.8×29.8(L), φ7.4×25.0(S)	宮城県
D-112	こけし	酒(原酒)	φ7.5×24.5	宮城県
D-113	福達磨	酒(清酒)	17.5×19.0×19.5	群馬県
D-114	福達磨	酒(清酒)	19.0×15.0×20.0	群馬県
D-115	岡山獅子	菓子	9.0×15.2×10.5	岡山県
D-116	開運夫婦獅子頭	酒(清酒)	13.5×16.3×12.3(R), 13.5×14.0×15.1(B)	愛知県
D-117	獅子	酒(泡盛)	12.0×16.0×17.0	沖縄県
D-118	多良川	酒(焼酎)	φ8.0×11.0	沖縄県
D-119	櫻正宗寅	酒(清酒)	23.0×13.0×14.0	兵庫県
D-120	寅	酒(清酒)	11.5×32.0×17.0	京都府
D-121	招福	酒(清酒)	9.5×12.0×18.0	滋賀県
D-122	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	φ9.0×18.0	広島県
D-123	和仁	酒(焼酎)	13.5×13.5×13.5	熊本県
D-124	額田王立像	酒(清酒)	7.5×13.5×32.5	
D-125	みえ名酒会原酒	酒(原酒)	11.0×15.0×21.5	三重県
D-126	飫肥路, 鯉の里	酒(焼酎)	7.0×14.5×23.3	宮崎県
D-127	むつごろう	酒(焼酎)	13.7×10.4×28.5	福岡県
D-128	すっぽん酒	酒(清酒)	13.6×19.6×9.0	大分県
D-129	くま川下り	酒(焼酎)	8.5×26.8×10.3	熊本県
D-130	おどり壺	酒(焼酎)	9.0×13.0×21.0	沖縄県
D-131	兼六 金沢城	酒(清酒)	10.5×9.5×17.5	石川県
D-132	肥後路	酒(焼酎)	9.0×28.0×10.0	熊本県
D-133	種子島	酒(焼酎)	φ13.2×15.0	鹿児島県
E: 菓				
E-1	卵つと	食品	5.3×5.0×41.5(縦型), 5.3×6.0×38.0(横型)	山形県
E-2	寒餅つと	食品	22.0×3.0×40.0	宮城県・岩手県
E-3	魚つと	食品	8.0×13.0×50.0	
E-4	高野豆腐つと	食品	10.0×6.0×45.0	新潟県
E-5	ハツ目うなぎ塩干	食品	φ3.0×60.0	新潟県

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
E-6	山芋	食品	5.5×9.5×69.5	群馬県
E-7	きのご箸置	その他	5.0×27.0×4.5	石川県
E-8	納豆つと	食品	φ4.0×24.0(両端型), φ5.0×24.0(一端型)	
E-9	献上野菜つと	食品	12.0×16.0×43.0	京都府
E-10	十津川ゆべし	食品	φ7.0×25.0	
E-11	鯛の漬焼	食品	8.0×15.0×50.5	香川県
E-12	巻鱈	食品	φ7.0×50.0	石川県
E-13	巻柿	菓子	8.0×22.5	大分県
E-14	つるし魚	食品		
E-15	蔵王 紅花かきもち	食品	7.0×47.0	山形県
E-16	かけもち	食品	5.0×50.0	石川県
E-17	西の関	酒(清酒)	φ9.0×24.0	大分県
E-18	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	φ11.0×40.0	広島県
E-19	甘露醤油	食品	φ8.3×38.0	山口県
E-20	自然郷	酒(清酒)	φ8.7×31.2	福島県
E-21	一人娘いなほ	酒		茨城県
E-22	十六味地黄保命酒	酒(薬用酒)	21.0×29.0×31.5	広島県
E-23	甘露醤油	食品	φ21.0×20.0	山口県
E-24	澤之鶴	酒(清酒)	φ60.0×60.0	兵庫県
E-25	惣與	酒(清酒)	φ60.0×60.0	栃木県
E-26	白鶴	酒(清酒)	19.2×17.2×19.0	兵庫県
E-27	澤之鶴	酒(清酒)	φ18.0×19.7	兵庫県
E-28	鳳鳴	酒(清酒)	φ11.0×11.5	
E-29	善光寺 秘蔵酒	酒(清酒)	φ11.0×11.5	長野県
E-30	恵美福	酒(清酒)	19.2×17.2×19.0	長崎県
E-31	日本盛	酒(清酒)	20.7×17.2×18.4	兵庫県
E-32	老緑	酒(清酒)	32.0×24.2×32.5	三重県
E-33	月桂冠	酒(清酒)	φ24.0×27.0	京都府
E-34	米俵	その他	φ45.0×80.0	
E-35	炭俵	その他	φ35.0×60.0	
E-36	炭俵	その他	32.0×32.0×60.0	
E-37	流し雛(さんだわら)	その他	φ18.0×3.0	鳥取県
E-38	猫ちぐら	その他	φ41.0×32.0	新潟県
E-39	いづめこ	その他	φ60.0×30.0	山形県
E-40	メシツグラ	その他	φ30.0×30.0	新潟県
E-41	塩つぼ	食品	φ12.0×33.0	新潟県
E-42	千歳くるみ	菓子	φ19.0×7.0	石川県
E-43	山牛蒡の味噌漬	食品	12.0×27.0	
F:紙				
F-1	おひねり			
F-2	お守り			
F-3	大ぬき	その他	21.0×14.0×4.0	東京都
F-4	一保堂包装紙	食品		京都府
F-5	塩芳軒包装紙	菓子	49.0×62.0	京都府
F-6	白外良	菓子	22.7×5.7×3.3	京都府
F-7	古都	菓子	8.2×24.5×3.5	京都府
F-8	落雁	菓子	8.0×25.0×4.0	石川県
F-9	どら焼	菓子	φ5.5×26.0	京都府
F-10	くぢら餅	菓子	φ21.0×7.5×3.5	山形県
F-11	文楽人形かしら集	菓子	9.0×8.0×1.0	大阪府
F-12	四君子	菓子	20.5×16.9×4.4	京都府

No.	作品名	種類	寸法(cm)	制作地
F-13	夕月	菓子	16.0×8.5×2.5	京都府
F-14	不老泉	菓子	18.3×10.4×3.9	京都府
F-15	鬼づら	菓子	15.0×7.0×3.5	
F-16	太鼓	菓子	φ6.0×28.0	
F-17	玉姫	菓子	14.5×9.0×4.0	滋賀県
F-18	ふみづかい	菓子	10.0×17.0×4.0	東京都
F-19	鯖姿すし	食品	22.0×7.0×5.0	
F-20	福神漬	食品	17.5×15.0×3.0	東京都
F-21	たとう	その他 (和服)		
F-22	結納目録	その他		
F-23	祝儀袋, 不祝儀袋	その他		
F-24	たんきりあめ	菓子	15.0×11.3	愛知県
F-25	たがね	菓子	18.0×14.0×12.0(L), 15.0×12.5(S)	三重県
F-26	いろり豆	菓子	19.0×18.5	新潟県
F-27	文楽人形焼	菓子	22.0×18.5(L), 17.5×14.0(S)	東京都
F-28	きざみならづけ	食品	φ14.0×21.5	奈良県
F-29	うみやまのつと	食品	16.5×11.0	東京都
F-30	ひじき袋	食品	26.0×14.0	神奈川県
F-31	鹿膠	その他	22.0×17.0×4.5	東京都
F-32	千歳飴	菓子	54.0×17.4	
F-33	香調合用詰合	その他		京都府
F-34	二人静	菓子	φ9.7×3.2	愛知県
F-35	吉運大福茶	食品	φ5.5×30.5	京都府
F-36	御干菓子	菓子	13.0×14.0×5.3	京都府
F-37	五色豆	菓子	8.3×8.3×16.5	京都府
F-38	江戸菓子 駒下駄	菓子	13.0×10.0×7.2	東京都
F-39	江戸菓子 羽子板	菓子	32.8×12.8×4.6	東京都
F-40	御干菓子	菓子	7.4×8.4×9.6	京都府
F-41	菓子	菓子	10.2×10.2×12.8	東京都
F-42	仙台駄菓子	菓子	φ25.0×5.0	宮城県
F-43	せんだいだがし	菓子	32.5×26.0×6.0	宮城県
F-44	會津駄菓子	菓子	27.0×21.0×55.0	福島県
F-45	宮まいり	その他	19.7×7.0×1.5, 男女一対	
F-46	初参扇	その他	2.5×21.0×27.5, 男女一対	
F-47	薩摩糸びな	その他	1.5×9.5×34.0, 一対	
F-48	折びな	その他		東京都
G:布				
G-1	はたおりむすめ	菓子	17.5×5.5×3.5	福岡県
G-2	小袖香	その他	16.8×9.0×1.5	大阪府
G-3	ねじり香合	その他	φ7.0×3.0	
G-4	誰が袖 おもい出	その他	5.0×8.0×10.5	京都府
G-5	匂い袋	その他		
G-6	菓子	菓子	8.5×8.3×9.6	東京都
G-7	菓子	菓子	11.5×7.8×3.8	東京都
G-8	やぶいり	菓子	10.0×9.0×14.0	滋賀県
G-9	にんべん鯉節	食品		東京都
H:その他				
H-1	香煎茶	飲料	φ3.7×13.0	滋賀県
H-2	よしなのもろみ粕漬	食品	8.7×8.7×4.8	富山県
H-3	みょうがのもろみ粕漬	食品	8.5×8.5×5.2	富山県
H-4	あだん	酒(泡盛)	φ10.0(球形)	沖縄県

レオナルド・フジタ 絵と言葉展

会期：1988年(昭和63)年11月19日－1989(平成元)年1月16日

会場：展示室A・B・C，展示ロビー，エントランスホール，ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：矢内みどり

レオナルド・フジタ(藤田嗣治)(1886-1968年)は、日本に生まれフランス人として没した。エコール・ド・パリの一員として国際的に評価の高いフジタの、東洋的な線描と繊細なマチエール、おさえたい色彩の織りなす独自の世界の根源を追究することは近代美術における西欧と日本を考察する上でも重要であろう。本展では、フジタが最初の渡仏後から晩年までにフランスで制作した挿画本53点を展示した。その内、綴じのないものについては、一枚ごとに額装して鑑賞を容易にした。これらは、代表作である油彩と異なり、水彩、版画などフジタの知られざる側面を見ることが可能で、特に線描の研究に欠くことができないものである。フジタの挿画本の全貌を明らかにする本格的な展覧会はこれが初めてであるため、カタログは別冊のレゾネを作り資料的にも整備した。また、目黒区美術館の所蔵作品にある挿絵入り書簡(フジタのコレクター、F.シャーマン宛)28点、絵入り葉書(フジタの友人澤鑿治宛)12点により、その筆の潤達な動きや空間表現の確実性、さらにフジタの人となり、ユーモアのセンスなどを明らかにした。その他所蔵作品から油彩、水彩、版画など39点、遺品のトランクなどを展示し、フジタの全体像を呈示した。

●カタログ

寸法：29.8×21.2cm

ページ数：分冊Ⅰ 78頁，分冊Ⅱ 160頁

デザイン：カタログカバー 矢萩喜徳郎

内容：分冊Ⅰ 目黒区美術館所蔵品より/図版/作品リスト
分冊Ⅱ ヨーロッパの挿画本の歴史とレオナルド・フジタ(ピノ・マラス)/レオナルド・フジタ絵と言葉(矢内みどり)/挿画本データと図版/挿画本年代順リスト/挿画本タイトル・アルファベット順リスト/挿画本出版社別リスト/挿画本著者別リスト

●ポスター サイズ：B2，B3/デザイン：矢萩喜徳郎

●チラシ サイズ：B5

●関連行事

11月19日 「ヨーロッパの挿画本の歴史とフジタ」 講演：ピノ・マラス(天理大学助教授)

12月11日 『フジタ「日本脱出」の手紙とシャーマン・コレクション』 講演：朝日晁(美術評論家)

●主要関連記事

『文化往来 フジタの挿画本や書簡を一堂に』 日本経済新聞 1988年10月29日

『レオナルド・フジタ展 異文化との葛藤』 新美術新聞 1988年11月11日

『仏人画家としてのレオナルド・フジタ』 無署名 読売新聞 1988年12月3日夕刊

『油彩・水彩から版画まで二つのフジタ展』 滝梯三 日本経済新聞 1988年12月15日

『レオナルド・フジタ 絵と言葉展 挿画家としての姿』 田中幸人 毎日新聞 1988年12月27日夕刊

『挿画本，絵入り書簡・葉書にみるもうひとつのフジタ像』 矢内みどり 三彩 1989年1月号

『フジタ展と日本の古典籍』 庄司浅水 版画藝術1989年4月号 No63

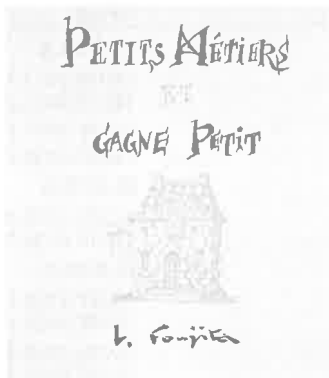
LÉONARD FOUJITA IMAGE ET PAROLE



レオナルド・フジタ 絵と言葉展



B2ポスター



作品

出品目録

I 所蔵作品より

No.	制作年	素材, 技法	寸法(cm)
葉書(澤鑿治宛)			
1	1905年3月23日	水彩, 紙	9.2×14.2
2	1905年6月4日	水彩, 紙	9.0×14.2
3	1905年6月11日	水彩, 紙	9.0×14.0
4	1905年6月15日	水彩, 紙	9.2×14.1
5	1905年6月18日	水彩, 紙	9.0×14.1
6	1905年6月26日 夜	水彩, 紙	9.1×14.2
7	1905年9月10日	水彩, 紙	9.1×14.2
8	1905年9月17日	水彩, 紙	9.1×14.1
9	1905年9月19日	水彩, 紙	9.2×14.2
10	1905年9月29日	水彩, 紙	9.0×14.1
11	1906年2月18日	水彩, 紙	9.0×14.4
12	日付不明	水彩, 紙	9.1×14.0
書簡(フランク・シャーマン宛)			
13	1949年3月5日 (フジタが日本を離れたのが3月10日なのでこの日付は誤記と思われる。)	インク, 紙	21.2×14.0
14	1949年3月22日	インク, 水彩, 紙	21.4×27.7
15	1949年3月24日	インク, 紙	10.5×27.5
16	1949年3月28日	インク, 紙	12.8×20.2
17	1949年3月28日 午後9時	インク, 紙	12.8×20.4
18	1949年3月30日	インク, 水彩, 紙	20.4×12.8
19	1949年3月31日	インク, 水彩, 紙	20.0×25.0
20	1949年4月2日	インク, 紙	21.3×27.5
21	1949年4月6日	インク, 紙	20.2×12.8
22	1939年4月3日(誤記)	インク, 水彩, 紙	21.2×27.5
23	1949年4月10日 日曜日	インク, 水彩, 紙	12.8×20.0
24	1949年4月11日 月曜日	インク, 水彩, 紙	12.8×20.2
25	1949年4月14日	インク, 水彩, 紙	21.2×27.5
26	1949年4月15日	インク, 水彩, 紙	23.7×22.2
27	1949年4月17日	インク, 水彩, 紙	19.8×22.2
28	1949年4月18日	インク, 水彩, 紙	22.8×23.5
29	(1949年4月18日)	インク, 水彩, 紙	12.5×22.2
30	1949年4月20日	インク, 水彩, 紙	10.2×25.0
31	1949年4月23日	インク, 木版, 紙	19.0×10.7

No.	制作年	素材,技法	寸法(cm)
32	1949年4月23日	インク,水彩,木版	19.0×20.8
33	1949年4月26日	インク,水彩,紙	(左)19.3×13.8 (右)12.0×13.0
34	1949年5月5日	インク,水彩,紙	(左)27.0×17.0 (右)27.0×18.0
35	1949年5月12日	インク,水彩,紙	25.0×20.0
36	1949年5月13日	インク,水彩,紙	(上)25.0×20.0 (下)14.0×16.2
37	1949年5月21日	インク,水彩,紙	25.0×20.0
38	日付不明	インク,水彩,紙	(左)27.0×16.5 (右)27.2×19.0
39	日付不明	インク,水彩,紙	(左)20.2×12.8 (右)18.6×13.3
40	日付不明	インク,紙	12.5×20.0

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
作品				
41	動物群	1924	油彩,カンバス	97.0×145.5
42	赤毛の女	1917	水彩,紙	26.5×20.0
43	鶴	c.1918	水彩,金箔,紙	20.0×17.0
44	レスリング	1927	鉛筆,紙	60.0×122.0
45	メキシコの少年	1933	水彩,紙	93.5×61.0
46	殉教者	1934	水彩,金箔,紙	51.0×32.0
47	房州白浜にて	1935	水彩,紙	34.5×28.5
48	君代のプロフィール	c.1938	水彩,紙	23.0×18.5
49	人形を持った少女	1951	水彩,紙	21.5×16.0
50	芸者と泥棒		水彩,紙	34.0×41.0
51	小鳥と少女		インク,紙	16.5×9.5
52	シェロン氏像	1917	コンテ,紙	30.5×23.5
53	裸婦(キキ・ド・モンパルナス)	1929	鉛筆,紙	71.5×128.5
54	少女		鉛筆,紙	42.5×23.0
55	カフェ・ドゥ・ラ・ロトンド	1925	銅版	19.0×14.5
56	静物(インク壺)	c.1926	銅版	27.0×34.5
57	静物(糸巻)	c.1926	銅版	27.0×34.5
58	少年像	c.1929	銅版	34.5×24.5
59	立っている裸婦	1920/29	銅版	56.0×37.0
60	横たわる裸婦	1920/29	銅版	37.0×56.0
61	猫のいる自画像	c.1926	ドライポイント	32.5×24.5
62	裸婦と猫	1920/29	エッチング	44.5×34.5
63	二匹の猫	1931	リトグラフ	27.0×37.5
64	裸婦	1925	リトグラフ	43.0×33.0
65	自画像	c.1934	木版	21.5×15.5
66	人形	1946	木版	23.0×17.0
67	グッバイ・ニューヨーク	1950	木版,コラージュ	21.5×22.0
68	顔(8枚組絵皿)	1947	陶器	各φ23.0
69	エッフェル塔(皿)	1947	陶器	φ30.5
70	アダムとイヴ(皿)	1947	陶器	φ30.5
71	燭台女(壺)	1947	陶器	φ15.5×(h)25.5
72	猫とネズミ(皿)	1947	陶器	20.0×33.0×6.0
73	キス・ミー(人形,頭)		彩色,木	8.5×19.0×4.5
74	キス・ミー(人形,全身)		彩色,木	24.5×16.0×4.5
75	円形テーブル		象がん,木	φ50.5×(h)60.0
76	マドレーヌ	1936	オフセット印刷,彩色	85.0×52.5
77	現代画家展(ギャラリー・ドゥ・ロテル・ドゥ・バルク)	1956	リトグラフ	61.5×44.0

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)
78	時代の証人・画家展(ガリエラ美術館)	1960	リトグラフ	72.5×47.5
79	フジタ展(ペトリデス画廊)	1964	リトグラフ	67.0×48.4
80	トランク(遺品)			40.5×65.5×22.5

II 挿画本

No.	挿画本名	筆者	出版元	出版年	寸法(cm)
1	ある詩	コマキ・オオミア	ラ・ベル出版	1919	14.0×21.0
2	アマルと王の手紙	ラビンドラナート・タゴール, 訳:アンドレ・ジード	出版:ルシアン・ヴォーゲル 版権:ガリマール	1922	27.0×21.8×1.1
3	日本昔話(世界で最も美しい伝説)	編・訳:フジタ 序文:クロード・ファレール	アペーユ・ドール出版	1923	27.4×18.4×1.5
4	ヴァニコロ(詩集)	ルシアン・ファール	ヌーヴェル・ルヴェ・フランセーズ出版	1923	18.5×13.5×0.5
5	大和魂への一瞥	ポール・クロード	ヌーヴェル・ルヴェ・フランセーズ出版	1923	18.5×13.5×0.7
6	愛の園	ギヨーム・アポリネール	モナコ	1924	19.5×14.8×0.5
7	東洋の知識	ポール・クロード	ジョルジュ・クレ社	1925	19.5×13.1×1.8
8	オリンピック競技	ゲオ・シャルル	ヌーヴェル・ルヴェ・フランセーズ出版	1925	18.5×13.5×0.5
9	ポーゾル王の冒険	ピエール・ルイス	アルテム・ファイアール出版	1925	23.5×18.0×1.2
10	お菊さん	ピエール・ロティ	エクセルシオール出版(1926)	1925	25.4×21.5×3.4
11	お前は私を好きになる(3幕の喜劇)	クロード・ダジル	ボーディニエール出版	1926	24.0×18.8×1.5 (テアトル・デュ・ジュールナルで初演)
12	芸者のうた	訳:ステニルベール・オベルラン ヒデタケ・イワムラ	G・クレ社	1926	16.7×11.8×1.6
13	嫉妬の詩	クレール&イワン・ゴール	ジャン・ビュトリ商会	1926	26.0×19.7×0.5
14	お梅さんの三度目の青春	ピエール・ロティ	ドゥヴァンペ美術出版	1926	27.5×22.5×2.4
15	エロスの愉しみ	ジャック・ブランドジョン=オッフエンバック	編集:ジャン・コラン出版:アンリ・バルヴィル	1927	24.0×19.0×3.0
16	平行棒	ミシェル・ヴォケール	フランソワ・ベルヌアール印刷		27.8×22.5×1.2
17	御遠足	トーマス・ローカ	ガリマール出版	1927	28.5×19.5×2.5
18	ムッシュ U	ポール・モラン	カイエ・リーブル出版	1927	19.0×14.5×0.7
19	パリ風景	エドモン・ジャルー(「パリのエトランジェ」)他19名	エミール=ポール・フレール	1927	33.0×24.7×6.0
20	日本八景(旅への誘い)	キク・ヤマタ	アンドレ・デル・ブーク出版	1927	(A)26.4×19.3×3.3 (B)19.2×14.5×1.8
21	日出る国の黒鳥	ポール・クロード	エクセルシオール出版	1927	24.5×20.0×2.0
22	ピブブラック(詩集)	ピエール・ルイス	シテール出版	1927	(外形)19.3×4.3×2.0 (画面)3.0×4.2
23	創作木版画協会	創作木版協会	創作木版協会,パリ	1927	33.0×25.0
24	スベードの犬(現代版画集より)	トリスタン・ベルナル	オー・サン・パレイユ	1927	(紙)50.5×35.5
25	アンドレ・ジード		キャピトル出版	1928	24.1×19.6×5.2
26	獣一党	アンリ・ジョーメ	クラ	1928	19.3×13.3×1.3
27	「フジタ」	ポール・モラン(著),フジタ(幼少の記憶) C.-A. サングリア(解説)	クロニック・ド・ジュール出版(パリ)	1928	28.5×23.0×1.5
28	中毒について	ジュール・ボワシエール	ジャヴアル&ブルドー	1928	28.6×22.5×3.7
29	静御前	キク・ヤマタ	M.P. トレモア出版	1929	19.0×14.3×1.5
30	キキ回想録	キキ,(序文:フジタ)	アンリ・プロカ編	1929	23.0×18.2×1.2
31	レ・エディシオン・ダール・ドゥヴァンペ	ドゥヴァンペ美術出版	ドゥヴァンペ美術出版	1929	31.4×25.4×2.7
32	マリア・ラニ	ジャン・コクトー, マック・ラモ ワルデュマー・ジョルジュ	カトル・シュマン出版	1929	28.5×23.0×1.7

No.	挿画本名	筆者	出版元	出版年	寸法(cm)
33	モンパルナスの芸術家たち	ミシェル・ジョルジュ=ミシエル	ファスケル出版	1929	20.3×14.0×1.8
34	モンパルナスの夜と憂愁	ルシアン・アレシー 序文:フジタ	ジュヴ出版	1929	19.0×12.0×2.7
35	菊の御紋章(千の黄金の花弁をもつ花)	ルシアン・グロー博士	アポロ美術出版	1930	33.0×26.0×1.5
36	世界平和(平和への寄せ書き)	序文:S.E. ポール・イマンス	パクスユニス協会	1932	(外箱)38.7×29.3×5.2 (紙)37.5×27.5
37	芭蕉とその弟子の俳諧	訳:K. マツオ, スティニルベール・オベルラン	(日本叢書)アンステイテュ・アンテルナシオナル・ドゥ・コオペラシオン・アンレクチュエル	1936	20.9×13.7×1.4
38	面影との闘い	ジャン・ジロドー	エミール=ポール・フレール出版	1941	25.1×18.5×0.4
39	魅せられたる河	ルネ・エロン・ドゥ・ヴィルフオス他9名	ベルナール・クライン出版	1951	40.0×30.0×6.5
40	(A)葡萄酒,花,炎	ジョルジュ・デュアメル他	ベルナール・クライン出版	1953	
40	(B)葡萄酒,花,炎	エロン・ドゥ・ヴィルフオス他11名	ベルナール・クライン出版	1953	38.5×29.0×3.5 (紙)32.8×25.0
41	海龍	ジャン・コクトー	ジョルジュ・ギョ出版	1955	(外箱)35.5×27.2×8.4 (紙)32.5×25.7
42	ユキの打ち明け話	ユキ・デスノス	アルテーム・ファイヤール出版		19.4×14.4×1.7
43	小さな職業人たち	モーリス・ジュヌヴォワ 序文:アルベール・フルニエ	ピエール・ドゥ・タルタス制作, ロンバルディ選		(外箱)37.5×29.0×4.5 (紙)37.2×28.0
44	ラ・フォンテーヌ 20の寓話	ラ・フォンテーヌ 序文:ジャン・コクトー	ジャスパール・ポリュス商会	1961	(外箱)42.7×33.0×8.3 (紙)37.8×27.8
45	蜂蜜のような甘さ,または東方に輝く月(小説)	ジョルジュ・ボノー	アルテーム・ファイヤール出版	1962	19.5×13.5×1.5
46	四十雀(しじゅうから)	ジャン・コクトー	ピエール・ドゥ・タルタス編, 出版	1963	(外箱)40.4×30.5×6.8 (紙)37.5×27.8
47	パリの時代に	レオン=ポール・ファルグ	パリ=ビエブル	1964	(外箱)40.3×30.4×7.3 フジタ作37.8×55.5
48	黙示録(アポカリプス)	エルンスト・ユンカー	ジョセフ・フィレ出版	1961	46.3×39.4×4.8
49	聖書	序文:ピエール・ブノア	ピエール・ドゥ・タルタス出版	1974	26.0×21.0×6.0
50	猫の本	マイケル・ジョセフ	コピチ・フリード出版	1930	33.0×25.0×1.3
51	レ・レトル・パリジェンヌ	ジャント・グロー他	レ・レトル・パリジェンヌ社	1919	25.7×22.1×0.5
52	和歌	ルネ・ド・ブリモン男爵夫人	エトワール出版	1925	16.8×11.8 (版画試刷年)未刊行

昭和63年度目黒区立幼小中連合展覧会

会期：1989(平成元)年1月21日－2月5日

会場：エントランスホール、ワークショップ、展示室A・B・C、展示ロビー

主催：目黒区立幼稚園長会、目黒区立小学校長会、目黒区立中学校長会

目黒区立心身障害学級設置校長会、目黒区教育会、

目黒区美術館、目黒区教育委員会

担当学芸員：塚本紀久子

区立幼稚園、小学校、中学校、心身障害学級の園児・児童・生徒の作品を一堂に集め目黒区の美術教育の成果を展覧し、児童・生徒の創作意欲にこたえとともに、豊かな人間性を育む情操教育の一助となることを目的に開催した。あわせて、保護者および広く区民の鑑賞に供し、目黒区の美術教育に対する理解に努めた。今年度からは幼稚園も参加し、発達・発想など幼稚園から中学校まで一貫した美術教育の成果を紹介した。

特別展示として、目黒区と友好交流を進めている中華人民共和国北京市崇文区の児童・生徒の書・画・立体作品を展示し日中親善も図った。

点数：幼稚園 約50点/小学校 約900点/中学校(美術) 約700点/中学校(書写) 約430点/心身障害学級 約160点/中国作品 約75点/合計2315点

●パンフレット

寸法：29.7×21.0cm

ページ数：6頁

内容：あいさつ(主催者)/幼稚園絵画創作、小学校図画工作科、中学校美術科、中学校国語書写、心身障害学級、各担当の先生(執筆)

●ポスター サイズ：B3

●チラシ サイズ：A5、B6しおり(案内)



B3ポスター

目黒区のアート展

会期：1989(平成元)年2月11日-26日

会場：エントランスホール、ワークショップ、展示室A・B・C、展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：塚本紀久子

前回の「目黒区の画家展」「目黒区の書道家展」につづき、区内在住作家の方々の作品をジャンルや流派団体を超えて一堂に集め、区内の美術活動の現況を展覧し、地域の美術活動の一層の振興発展に寄与することを目的として開催した。観覧者にとっては、区内作家の作品に直接触れる場に、また美術をより身近なものとして受け入れる機会となった。

●カタログ

寸法：27.7×21.0cm

ページ数：96頁

内容：図版 洋画等/日本画等/版画等/工芸/彫刻/立
体/書/出品目録

●ポスター サイズ：B3

●チラシ サイズ：B5

●ハガキ サイズ：15.0×10.6cm



B3ポスター

出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(号, cm)
1	相原吉夫	雨後	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F20(60.6×72.8)
2	青木邦子	山麓の宿	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(90.0×73.0)
3	赤穴桂子	白峯(雨月物語)	1988(昭和63)	油彩, アクリル, 板	45.0×60.0
4	赤穴 宏	雪の日の目黒太鼓橋	1985(昭和60)	油彩, キャンバス	F25(65.2×80.3)
5	天野政雄	裸婦立像	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(90.9×72.7)
6	井手宣通	熱海の虹	1983(昭和58)	油彩, キャンバス	P30(65.2×90.9)
7	一柳 幸	製材工場	1986(昭和61)	油彩, キャンバス	F40(80.3×100.0)
8	非田安治	暁の富士	1987(昭和62)	油彩, キャンバス	F10(45.5×53.0)
9	井上 慎	イに坐す	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F50(116.8×91.0)
10	板津陽子	夕涼み	1988(昭和63)	水彩, 紙	F10(54.0×45.5)
11	稲田ハル	モロッコの少女	1987(昭和62)	油彩, キャンバス	F30(72.7×90.9)
12	上間尚子	紅煙の人	1984(昭和59)	油彩, キャンバス	変形50(117.0×91.0)
13	越後瑠子	母と子	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F10(52.5×45.0)
14	今井俊満	桜園	1988(昭和63)	アクリル, 紙	64.0×103.0
15	川秀光城	秋 岳	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F10(45.5×53.0)
16	大淵繁樹	宵の港(佐世保)	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F20(60.6×72.7)

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(号,cm)
17	岡田征彦	バレリーナ	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F20(72.7×53.0)
18	小河美智子	静物	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F10(45.5×53.0)
19	荻野藤枝	光彩	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F30(72.7×90.9)
20	長部朝子	初秋	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F10(45.5×53.0)
21	小野はるみ	Little Red Riding Hood	1986(昭和61)	水彩,紙	103.0×72.4
22	小野のり子	松樹	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F10(53.0×45.5)
23	甲斐鉄男	大倉山梅林	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F50(90.9×116.7)
24	鎌田敬子	愁	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	M20(53.0×72.7)
25	河内 光	人	1988(昭和63)	銅版	F40(80.0×100.0)
26	糸川 清	埴輪と紅花	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F30(72.7×90.9)
27	川瀬スミ	ギターを弾く佐野夫人	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F30(90.8×72.3)
28	香取栄次郎	谷川岳南面	1961(昭和36)	油彩,キャンバス	F12(60.5×50.0)
29	木下巳貴彦	ぼら	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	P10(53.0×40.9)
30	黒沢哲郎	花(あじさい)	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	P12(60.6×50.0)
31	後藤岳楓	旧友懐古	1986(昭和61)	油彩,キャンバス	F30(90.9×72.7)
32	小林コウ	グリーン牧場	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F20(72.7×60.7)
33	小園ケイ子	バリの詩-L'HYMNE à LA VIE-	1985(昭和60)	油彩,キャンバス	F50(90.9×116.7)
34	古茂田美津子	三面鏡の自画像	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F10(45.5×53.0)
35	小山光男	伊豆の春	1981(昭和56)	油彩,キャンバス	F30(72.7×90.9)
36	斎藤勤也	弥生人V氏	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F60(130.3×97.0)
37	佐野美喜男	夕暮の生命体	1988(昭和63)	油彩,アクリル,キャンバス	P40(100.0×72.7)
38	佐野雪枝	カセレス郊外(スペイン)	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F40(100.0×80.0)
39	庄田常章	狼少年	1987(昭和62)	アクリル,キャンバス	変形40(101.0×71.0)
40	柴原 雪	お面の有る静物	1984(昭和59)	油彩,キャンバス	F60(130.3×97.0)
41	末國壽江	橋	1977(昭和52)	油彩,キャンバス	F50(116.8×91.0)
42	菅田いな	かたらい	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F50(90.9×116.7)
43	杉山栄吉	壊れた砦	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F30(74.0×92.0)
44	大工原武司	夏の雲	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F20(60.6×72.0)
45	芹澤恭子	コロンピース	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F30(91.0×73.0)
46	関戸伊三郎	スミュール・アン・オクソワ風景	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	P15(65.2×50.0)
47	大聖寺宏	9月の竜門峡	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F10(53.0×45.5)
48	タガン荔枝	エスパス	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F50(90.9×116.7)
49	高山和子	海のいろがかわる頃	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F30(72.7×90.9)
50	長はるこ	ア・チ・コ・チ・ケ・ツトNo.053	1988(昭和63)	マーカー,リキテックス,布	69.3×84.4
51	田口正子	青いギター	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F50(116.5×91.0)
52	竹中 純	ジャイブールのアンバー宮殿	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F30(90.0×72.7)
53	田村由利子	魔船	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F30(90.9×72.7)
54	都竹伸政	芳醇	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F20(72.7×60.6)
55	上肥 朗	蛙	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	M12(60.6×45.5)
56	角田 斌	家路	1978(昭和53)	油彩,キャンバス	F30(91.0×73.0)
57	寺島祥五郎	ジブラルタル島	1985(昭和60)	リキテックス,キャンバス	P10(41.0×53.0)
58	戸田芳江	潮	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F30(72.7×90.9)
59	鶴岡義雄	春	1986(昭和61)	油彩,キャンバス	116.7×116.7
60	中井幸一	ガリバー	1988(昭和63)	フォトモンタージュ,印刷紙	F25(52.0×44.0)
61	中沢毅太郎	卓上静物	1977(昭和52)	油彩,キャンバス	F50(116.7×90.9)
62	中岡ユリ	時は新生	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F50(90.9×116.7)
63	梶谷 昭	店先	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F20(60.6×72.7)
64	成井 弘	プロヴァンス地方	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	F50(90.9×116.7)
65	西村正次	カマレ	1987(昭和62)	油彩,キャンバス	F12(50.0×60.6)
66	西川加耶子	静物	1988(昭和63)	油彩,キャンバス	P20(53.0×72.7)
67	西 大記	弦影	1988(昭和63)	アクリル,キャンバス	F50(91.0×116.5)
68	芳賀 力	水辺の家	1986(昭和61)	油彩,キャンバス	F20(60.6×72.7)

No.	作家名	作品名	制作年	素材、技法	寸法(号, cm)
69	橋本百合子	ピエロ	1985(昭和60)	油彩, キャンバス	F20(72.7×60.6)
70	長谷川政子	モロッコの母子	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(90.9×72.7)
71	堀 八重子	ピエロの人形	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(89.0×71.5)
72	原 久子	午後のアトリエ	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(90.0×72.0)
73	藤沼幹雄	帰婦	1948(昭和23)	油彩, キャンバス	F50(116.7×90.9)
74	平松 譲	海の見える牧場	1983(昭和58)	油彩, キャンバス	F30(72.7×90.9)
75	星川しげ子	for you	1988(昭和63)	水彩, ガッシュ, 木炭, バステル, 紙	76.3×56.7
76	本日勇市	水に投影する構図	1962(昭和37)	油彩, キャンバス	F40(100.0×80.3)
77	穂刈弘子	野の花	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	84.0×121.0
78	前田美智子	路地裏の聖像(未完)	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F50(116.7×91.0)
79	前川佳子	季節	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	S50(117.0×117.0)
80	前田さなみ	見透せぬ窓	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F50(90.9×116.7)
81	松永茂樹	アンダルシア風景	1984(昭和59)	油彩, キャンバス	F50(91.0×117.0)
82	丸毛利久	窓辺のガラスたち	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F50(90.9×116.7)
83	水谷三美	彩草譜	1987(昭和62)	水彩, 紙	116.7×116.7
84	宮出 武	城壁の街—オビドス—	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(72.7×90.9)
85	茂木すみ子	ドライフラワーのある静物	1985(昭和60)	油彩, キャンバス	F60(97.0×130.0)
86	宮田武彦	昏れゆくトレド	1988(昭和63)	油彩, アクリル, 板	60.0×116.0
87	森田万樹	空と色のあいだ	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F50(116.7×90.9)
88	村上弥生	漢江の人	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F20(72.7×60.6)
89	村上友晴	東大寺修二会	1986(昭和61)	アクリル, 板	43.0×33.0
90	安田清一	想い出のアヴィニオン	1987(昭和62)	水彩, 紙	変形20(56.0×76.0)
91	柳瀬俊泰	住みなれた情景Ⅰ	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F30(77.0×95.0)
92	横山菊枝	海	1973(昭和48)	油彩, キャンバス	F10(46.0×53.0)
93	安田奈緒子	ちくわ	1988(昭和63)	ドローイング, 柿渋紙	97.0×64.0
94	山崎 正	わらへの躍動	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F15(65.2×53.0)
95	山根敦子	ローマの印象	1985(昭和60)	油彩, キャンバス	F50(116.7×90.9)
96	山本道子	黒いひまわり	1988(昭和63)	油彩, キャンバス	F20(72.7×60.6)
97	赤井春水	古都ブルージュ	1988(昭和63)	紙本着色	変形40(110.0×80.0)
98	岩壁富士夫	早春	1988(昭和63)	紙本着色	変形50(116.0×58.0)
99	市川登孟胡	哀讃	1983(昭和58)	紙本着色	P20(72.7×53.0)
100	岩本美代子	仮面	1988(昭和63)	紙本着色	F50(116.7×90.9)
101	岡田哲弥	秋夕映	1987(昭和62)	紙本着色	F40(80.0×100.0)
102	澤井白陽	食卓の人形	1985(昭和60)	紙本着色	73.5×91.5
103	橋 照子	映	1988(昭和63)	紙本着色	F40(80.3×100.0)
104	佐々木曜	不動	1988(昭和63)	紙本着色	25S(80.3×80.3)
105	菅田 渡	焼成(窓)	1988(昭和63)	紙本着色	F50(116.7×90.9)
106	増田俊雄	ひまわり	1988(昭和63)	紙本着色	F20(72.0×60.0)
107	田中玉紅	精華	1987(昭和62)	金箔刺本着色	M30(60.6×90.9)
108	山井梅代	舞妓	1987(昭和62)	紙本着色	F50(116.7×90.9)
109	加々路伸子	薨	1988(昭和63)	和紙, 和紙ボード	F20(72.7×60.6)
110	荒井華秋	鷹	1983(昭和58)	和紙, 紙本墨画	133.0×68.0
111	吉田慧香	谷間のみもじ	1988(昭和63)	和紙, 和紙ボード	P30(91.0×65.2)
112	岩田染華	路ばたの栗	1987(昭和62)	紙本墨画着色	F15(65.2×53.0)
113	飯田裕子	かぶの花	1988(昭和63)	紙本墨画	F10(45.5×53.0)
114	祖母井真佐江	しゃらの花	1987(昭和62)	紙本墨画着色	F15(65.0×53.0)
115	加藤敬彩	趣	1988(昭和63)	紙本墨画着色	F10(53.0×45.5)
116	永井晋光	制陀童子	1976(昭和51)	紙本墨画淡彩	P8(46.0×34.0)
117	西村岳芳	古寺への道	1987(昭和62)	紙本墨画着色	F30(90.9×72.7)
118	松重佳子	峠道	1988(昭和63)	紙本墨画	M12(62.0×42.0)
119	内藤八千代	茴香	1988(昭和63)	アクアチント, エッチング	35.4×25.0

No.	作家名	作品名	制作年	素材,技法	寸法(号, cm)	
120	上屋正男	流々変生—いずみ—	1985(昭和60)	型紙版, 糊置, 墨, 和紙	変形10(88.0×59.0)	
121	大江 繁	ノートルダム寺院(古寺連想シリーズ)	1985(昭和60)	シルクスクリーン	65.0×103.0	
122	坂本正治	六本木Landscape	1987(昭和62)	シルクスクリーン	65.0×103.0	
123	鳥居禎子	i[ai] a bottle or a bird. This is a cork.	1986(昭和61)	銅版, コルク版	78.0×56.0	
124	橋崎衣子	花	1984(昭和59)	木版	80.0×60.0	
125	船坂芳助	My Space and My Dimension	1988(昭和63)	シルクスクリーン, 和紙・コラージュ	96.0×65.0	
126	井高婦山	染付武蔵野の図	1987(昭和62)	磁器	34.7×32.0×32.0	
127	安原喜孝	印刻文灰袖	1985(昭和60)	陶器	54.0×50.0×28.0	
128	嗣谷純子	褶曲(A,B一曲)	1988(昭和63)	陶器	19.0×19.0×40.0 25.0×8.0×37.0	
129	小山弘治	染付流文大鉢	1988(昭和63)	白磁	14.0×50.0×50.0	
130	山本伸子	紅玉の舞	1988(昭和63)	省胎七宝 (銀線, 銅版, 釉茶)	9.0×18.5×18.5	
131	香取正彦(故人)	臙銀花器	1931(昭和6)	臙銀鑄製	22.5×24.0×24.0	
132	鴨 康子	夕映	1986(昭和61)	皮革	160.0×95.0	
133	梅沢妙子	乾漆蒔絵の器	1983(昭和58)	乾漆, 蒔絵	4.5×22.0×22.0	
134	小林永芳	沢蟹蒔絵, 乾漆銘々盆(6891和)	1986(昭和61)	漆, 金粉, 蒔貝, 蒔絵, 乾漆	0.8×15.6×15.6	
135	佐藤豊樵	美乱盛器	1985(昭和60)	木	20.0×25.0×25.0	
136	加藤 清	孔雀	1988(昭和63)	和紙	68.0×75.0	
137	竹村喜美子	潜む	1986(昭和61)	堅牢染	76.0×60.5	
138	渡部 弘	つた	1988(昭和63)	ステンドグラス	75.0×56.0×10.0	
139	上田るり子	Mioの夢	1988(昭和63)	シルクスクリーン	38.5×53.5	
140	上野茂郎	月光原午前三時	1988(昭和63)	紙	65.0×24.0×17.0	
141	小幡 満	鳥と遊ぶ少年	1986(昭和61)	ホリエステル原型	125.0×54.0×39.0	
142	二ノ宮裕子	胞衣	1988(昭和63)	石膏	72.0×65.0×70.0	
143	小林達也	風雲の門	1988(昭和63)	黒御影石	54.0×38.0×34.0	
144	磯田喜子	貴婦人	1988(昭和63)	桐粉, 粘土	19.0×27.0×7.0	
145	湯川 隆	立つ女	1987(昭和62)	ブロンズ	115.0×30.0×30.0	
146	平山隆也	キエフの鳥	1985(昭和60)	木	150.0×60.0×30.0	
147	安原喜武	つばさ	1988(昭和63)	木	60.0×100.0×40.0	
148	三沢憲司	石に石	1985(昭和60)	石	34.0×22.0×25.0	
149	高橋上郎	立体機構シリーズ「ゆれる四つの立方体」	1972(昭和47)	アルミニウム棒, モーター	160.0×50.0×50.0	
150	佐藤恵一	空象体系	1988(昭和63)	ガラス, ステンレス	50.0×100.0×5.6	
151	沼田元氣	TOKYO SOUVENIR	1988(昭和63)	ミックスメディア, コラージュ	180.0×360.0×50.0	
152	田中清隆	時間差	1987(昭和62)	カラーランプ, 糸, モーターetc	120.0×25.0×25.0	
153	三ッ橋渡郎	魚	1985(昭和60)	アッサンブラージュ	40.0×122.0×4.5	
No.	書家名	釈文	制作年	種類	形状	寸法(cm)
154	青柳敬政	悔いるころの曇珠沙華燃ゆる	1988(昭和63)	近代詩文書	額	135.0×70.0
155	浅香恵堂	日月輝光	1988(昭和63)	刻字	額	23.0×16.0
156	天野白陽	河の面は黒ずみにけり……	1987(昭和62)	かな	額	225.0×52.0
157	池田少雲	龍は白雨を將って山腰に起り……	1988(昭和63)	漢字	軸	175.0×52.0
158	宇田溪香	久方の三日月の海夕暮れて……	1987(昭和62)	かな	額	136.0×34.0
159	市村咸山	脩眉聯娟	1988(昭和63)	篆刻	額	6.0×6.0
160	上松一条	虚門	1988(昭和63)	漢字	額	46.0×70.0
161	大坪典子	おしなべてかぜこそかをれ……	1988(昭和63)	かな	軸	44.5×34.5
162	岡部初子	夕立の雲も晴れ行く……	1988(昭和63)	かな	軸	136.0×48.0
163	荻須耕陽	古松般若を談じ 幽鳥真如を弄す	1988(昭和63)	漢字	額	86.0×21.0
164	岡田玲舟	こにして家やも何処……	1986(昭和61)	かな	額	48.0×60.0
165	小野桂舟	王可庭乃梅乃……		かな	軸	136.0×34.0
166	影山房子	大黒天神経	1988(昭和63)	漢字	軸	128.0×30.0

No.	作家名	訳文	制作年	種類	形状	寸法 (cm)
167	笠川瑞舟	寒香咽得成詩句……	1988(昭和63)	漢字	軸	79.0×16.0
168	風間凌山	芳樽漬餘霞	1988(昭和63)	漢字	軸	227.0×53.0
169	加藤和香	雙藤翩然下竹扉……	1988(昭和63)	漢字	軸	27.0×55.0
170	神谷玉瑛	遊芸	1988(昭和63)	漢字	額	20.0×40.0
171	北島善丘	夕されば野への秋風身に沁みて	1988(昭和63)	かな	額	60.0×180.0
172	北村泰一	夙夜解るに匪ず	1988(昭和63)	篆刻	額	5.0×4.5
173	木下聖湖	荒磯の真日のさびしさ……	1985(昭和60)	かな	額	136.0×35.0
174	工藤小波	老い去って悲秋強ひて……	1988(昭和63)	漢字	軸	160.0×40.0
175	栗山鳳雪	春晩は花を取りて去り……	1987(昭和62)	漢字	額	230.0×52.0
176	栗林松雅	さ夜中と夜は更けぬらし……	1988(昭和63)	かな	額	38.0×45.0
177	左治木紫翠	黄梁一炊の夢	1988(昭和63)	漢字	軸	13.0×55.0
178	佐々川昌首	月落ち鳥啼ひて霜天に満つ	1988(昭和63)	漢字	額	137.0×51.5
179	首藤佳泉	道法自然	1988(昭和63)	漢字	額	134.0×34.0
180	佐藤久雅	悠久なれ飛天の微笑	1988(昭和63)	近代詩文書	額	68.0×68.0
181	三宮濃李	豈有乘軒寵……	1988(昭和63)	漢字	軸	90.0×81.5
182	相良憲泉	暗窓花(華)氣薫ず	1988(昭和63)	漢字	額	35.0×54.0
183	鈴木楓山	興雲祁々	1988(昭和63)	漢字	軸	136.0×35.0
184	鈴木皷山	陸績覆橋	1988(昭和63)	篆刻	額	6.0×6.0
185	関 墨水	拈華微笑	1988(昭和63)	漢字	額	136.0×35.0
186	田中赤城	土牛耕石田	1988(昭和63)	漢字	軸	196.0×53.0
187	田淵觀齋	道築乾坤	1988(昭和63)	漢字	軸	137.0×37.0
188	高橋照弘	止戈	1988(昭和63)	漢字	額	35.0×68.0
189	田中華愁	涅槃寂靜	1988(昭和63)	漢字	軸	16.5×53.0
190	塚本劉堂	桜の心	1988(昭和63)	漢字	額	68.0×63.0
191	丹治思郷	國華	1988(昭和63)	漢字	額	136.0×35.0
192	続木湖山	扶桑稱第一独立……	1987(昭和62)	漢字	軸	137.0×52.0
193	徳野恵美子	古寺の木立のはなれやにすみて……	1988(昭和63)	かな	額	136.0×35.0
194	戸塚嶺月	孤鶯齋飛	1988(昭和63)	漢字	額	46.0×50.0
195	津守祥玉	負薪下青岑	1988(昭和63)	漢字	軸	136.0×37.0
196	中野大雅	舍光	1988(昭和63)	漢字	軸	18.0×25.0
197	中村旭坡	瑞慶	1985(昭和60)	漢字	額	27.0×24.0
198	西川 寧	夕に蓬廬に假す	1985(昭和60)頃	漢字	額	67.0×68.0
199	野田春華	月形白盤の如し	1985(昭和60)	篆刻	額	6.0×6.0
200	橋本秋畦	関中少に信せて花留住し……	1988(昭和63)	漢字	軸	135.0×35.0
201	服部虚舟	三釜心楽	1988(昭和63)	篆刻	額	5.0×5.0
202	高中英愁	噉として將に東方より……	1988(昭和63)	漢字	軸	135.0×35.0
203	原嶋竹堂	最も幸福な人は……	1988(昭和63)	近代詩文書	軸	136.0×52.0
204	廣戸明芳	山林の受用は琴書鶴……	1988(昭和63)	漢字	軸	20.0×45.0
205	福井玉華	蘭、聲を飛ばす	1988(昭和63)	漢字	軸	25.0×49.0
206	深澤芝仙	神を賜ふ	1988(昭和63)	漢字	軸	27.0×39.5
207	藤田紫香	遠山無限碧層層	1988(昭和63)	漢字	軸	138.0×36.0
208	堀田小葉	山のはに月傾けばいざりする……	1987(昭和62)	かな	軸	135.0×35.0
209	堀 桂琴	門を出れば我も行人秋のくれ	1988(昭和63)	かな	軸	48.0×22.0
210	道脇瑞艸	塵遠竹松清	1988(昭和63)	漢字	軸	100.0×75.0
211	保浦玉英	たごの浦の浪もひとつに……	1988(昭和63)	かな	額	37.0×59.0
212	松井恵美子	春雨やものがたりゆく巖と傘	1988(昭和63)	かな	額	182.0×61.0
213	持田春翠	萩の花がゆれた……	1988(昭和63)	近代詩文書	額	35.0×85.0
214	山崎方石	石澗洗耳	1988(昭和63)	篆刻	額	6.0×6.0
215	山田春華	體中玄	1988(昭和63)	漢字	軸	102.5×33.0
216	吉田蘭舟	臨水一枝春早古……	1988(昭和63)	漢字	額	70.0×70.0
217	渡邊三代子	紅ハ多く都乃れて……	1988(昭和63)	かな	額	135.0×35.0

風刺のころ・写実のまなざし— 須山計一展

会期：1989(平成元)年3月7日—4月2日

会場：展示室A・B, 展示ロビー

主催：目黒区美術館

担当学芸員：重田 誠

須山計一(すやま・けいいち 1905~1975)は、長野県下伊那郡(現飯田市)生まれ、1930年、東京美術学校西洋画科を卒業、在学中から漫画家として活躍する一方、プロレタリア美術運動に参加。その後、1936年目黒区自由が丘にアトリエを設け、長野に疎開した一時期を除いて、この地を基盤として活動した。1941年、第5回一水会展に初入選、戦後は一水会会員、日本美術会会員となり、洋画家としての仕事を続けた。また、日本漫画家協会に属し、漫画評論家・研究者としても広く知られ、先駆的な業績を残し、著作も多数である。

本展は、須山計一の広範囲で多彩な活動の足跡を振り返ることを意図した。全体を2部構成とし、Ⅰ部は須山が主に漫画家として活動した1940年までを対象に、油彩・水彩等に加え、新聞・雑誌など当時の印刷媒体に発表された漫画の切抜きやパネル等を展示。また、Ⅱ部では一水会展初入選の1941年から没年に至る、写実的な油彩画を制作の基盤とした時期を対象に、洋画家としての歩みを振り返った。

●カタログ

寸法：25.5×19.0cm

ページ数：116頁

内容：須山計一の昭和(加藤貞雄)／須山計一の戦前の仕事—スケッチブックを中心に(重田 誠)／年譜(重田 誠)／文献(須山和彦・重田 誠)

●ポスター：B2, B3

●チラシ：B5

●関連行事

会期中、3台のVTRで須山計一の仕事を紹介

●主要関連記事

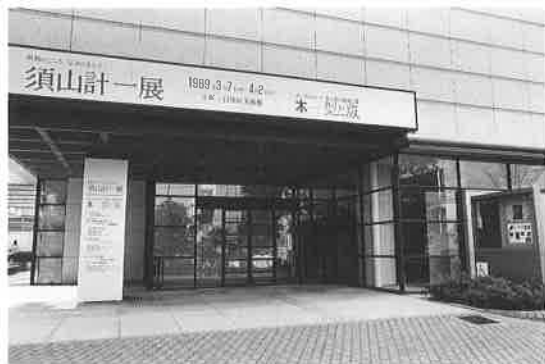
『図式化されるエゴ・図式化されないエゴ』尾崎真人 月刊美術162号、1989年3月

『風刺に輝いた漫画家』宮下森 赤旗、1989年3月26日

『東京だより—反骨の洋画家須山計一遺作展』中日新聞長野総合版、1989年4月6日

『宝石と社会—現代芸術野外帖』海野弘 アトリエ748号、1989年6月

『美術におけるエンドレスの闘い—須山計一展・思い出』飯島俊一 美術運動121号、1989年8月



会場入口風景



B2ポスター

出品目録

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
1	自画像	1926	油彩,キャンバス	53×41	目黒区美術館
2	労働者	1930	油彩,キャンバス	116.7×91	長野県信濃美術館
3	風景	1927頃	油彩,キャンバス	60×50	長野県信濃美術館
4	風景	1927頃	油彩,キャンバス	41×32	長野県信濃美術館
5	裸婦習作	1927頃	油彩,キャンバス	65×50	長野県信濃美術館
6	雑司ヶ谷の風景	1923	鉛筆,インク,水彩,紙	18.1×13.7	目黒区美術館
7	我が霊の苦悶は極まれり	1923	インク,紙	22.5×16.3	目黒区美術館
8	都会の晴れし夜空に現はるるもの	1923	インク,パステル,紙	22.5×16.3	目黒区美術館
9	或る日の夕陽	1923	インク,紙	22.5×16.3	目黒区美術館
10	夢の中をすぎゆく妖怪の中	1923	インク,水彩,紙	22.5×16.3	目黒区美術館
11	根津松翠山房に於て	1925	墨,淡彩,紙	20.1×28.2	目黒区美術館
12	殴られる「彼」衣裳 築地小劇場	1925	インク,水彩,紙	14.5×22.5	目黒区美術館
13	殴られる「彼」 築地小劇場	1925	インク,水彩,紙	14.5×22.5	目黒区美術館
14	自画像	1925頃	鉛筆,水彩,紙	14.8×10.2	目黒区美術館
15	AUTUMN	1925	墨,クレパス,紙	18.5×13.9	目黒区美術館
16	ハルビン	1937	油彩,キャンバス	45.5×53.3	
17	石井漢舞踊研究所	1939	油彩,キャンバス	50.2×60.7	
18	赤石頂上(スケッチブックS-1)	1925	鉛筆,紙	14.5×22.6	
19	藤森成吉氏(スケッチブックS-2)	1923	インク,紙	20.3×14.1	
20	北沢新二郎氏(スケッチブックS-2)	1923	インク,紙	14.1×20.3	
21	(スケッチブックS-2)	1923	インク,色鉛筆,紙	14.1×20.3	
22	かへりみち(スケッチブックS-2)	1923	インク,色鉛筆,紙	14.1×20.3	
23	(スケッチブックS-4)	1923	インク,紙	14.2×19.9	
24	岡本一平漫画模写(スケッチブックS-4)	1923	インク,紙	14.2×19.9	
25	代田取一漫画模写(スケッチブックS-4)	1923	インク,紙	14.2×19.9	
26	池辺鈞漫画模写(スケッチブックS-4)	1923	インク,紙	14.2×19.9	
27	海外漫画模写(スケッチブックS-12)	1924	インク,紙	16.3×20.4	
28	近藤浩一路漫画模写(スケッチブックS-4)	1923	インク,紙	14.2×19.9	
29	目白より原宿に至る電車にて	1923	インク,水彩,紙	18.1×13.7	目黒区美術館
30	暖かい日のスケッチ	1923	インク,パステル,紙	18.1×13.7	目黒区美術館
31	MAI 26	1923	インク,パステル,紙	18.1×13.7	目黒区美術館
32	電車にて新聞をよんでいる人	1923	インク,パステル,紙	18.1×13.7	目黒区美術館
33	巣鴨監獄附近	1923	インク,パステル,紙	16.4×22.5	目黒区美術館
34	雑司ヶ谷スケッチ	1923	インク,パステル,紙	22.7×16.4	目黒区美術館
35	静物(果物)	1923	水彩,紙	23.3×30.8	目黒区美術館
36	静物(花)	1923	水彩,紙	23.2×30.9	目黒区美術館
37	雑司ヶ谷スケッチ	1924	インク,紙	25.7×18.2	目黒区美術館
38	雑司ヶ谷墓地風景	1924頃	インク,紙	25.8×17.3	目黒区美術館
39	池袋 板橋方面	1924頃	インク,紙	18.2×28.7	目黒区美術館
40	MOSCOW KANDINSKY	1923頃	インク,紙	10.8×18.1	目黒区美術館
41	鳩のお家(スケッチブックS-7)	1924	インク,紙	18.2×29	
42	上渋谷風景(スケッチブックS-7)	1924	インク,紙	29×18.2	
43	巣鴨監獄付近ニテ(スケッチブックS-7)	1924	インク,紙	29×18.2	
44	(スケッチブックS-8)	1924	鉛筆,紙	23.2×15.5	
45	岩清水氏(スケッチブックS-18)	1926頃	鉛筆,紙	22.3×15	
46	SHIMOTOTSUKA(スケッチブックS-9)	1924	鉛筆,紙	15.4×23.2	
47	大森風景(スケッチブックS-34)		鉛筆,紙	13.9×18.6	
48	早春郊外之景	1924頃	鉛筆,水彩,紙	18.8×24.4	目黒区美術館
49	RESTR. . .	1924	鉛筆,水彩,紙	21.2×25.5	目黒区美術館

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
50	渋谷悠蔵氏宅へゆく道	1928	インク,水彩,紙	14.9×21.4	目黒区美術館
51	伊那 萱垣山願王寺図	1925頃	墨,淡彩,紙	20.1×27.3	目黒区美術館
52	信州清内路村風景	1925頃	墨,淡彩,紙	19.7×27.2	目黒区美術館
53	大島岡田村	1925頃	墨,淡彩,紙	19.8×27.3	目黒区美術館
54	清内路村 村童(スケッチブックS-27)	1926	墨,紙	13.9×21.5	
55	童心帖	1928	墨,淡彩,画冊(14面)	24×35.8	飯田市鼎文化センター内須山計一記念室
56	尻尾を出したドルの王国(東京パック原画)	1933	墨,色鉛筆,紙	26.3×25.5	目黒区美術館
57	あへぐ植民地(東京パック原画)	1933	墨,水彩,紙	28.9×20.8	目黒区美術館
58	暴力団・軍資金	1928	インク,水彩,紙	36.2×46.4	目黒区美術館
59	御用学者・御用芸術家・反動学生	1928	インク,水彩,紙	35.2×45.2	目黒区美術館
60	ねてる松山(スケッチブックS-32)	1928	鉛筆,水彩,紙	15×21.4	
61	(スケッチブックS-39)	1929	鉛筆,水彩,紙	11.2×18.7	
62	須山と大月源二(スケッチブックS-32)	1928	鉛筆,紙	15×21.4	
63	弁士退場(スケッチブックS-35)	1930頃	鉛筆,紙	18.4×13.4	
64	自画像	1929	コンテ,紙	35.7×26.5	目黒区美術館
65	自画像	1936	インク,水彩,紙	37.7×28.8	目黒区美術館
66	アメリカ丸船中(スケッチブックS-49)	1937	鉛筆,色鉛筆,紙	12.9×18.9	
67	チチハル(スケッチブックS-52)	1937	鉛筆,紙	18.8×24.2	
68	平壤(スケッチブックS-55)	1937	鉛筆,紙	18.9×29	
69	錦州の子供(スケッチブックS-50)	1937	鉛筆,紙	24.2×18.7	
70	中国風景	1937	油彩,キャンバス	35×45.6	
71	コロソバイル・アルシヤン廟	1937	油彩,板	23.7×32.8	
72	蒙古平原	1937	油彩,板	23.9×32.9	
73	宿駅	1941	油彩,キャンバス	91.0×65.2	長野県信濃美術館
74	旧道(木曾路)	1952	油彩,キャンバス	90.9×65.1	長野県信濃美術館
75	伊那の山村	1955	油彩,キャンバス	90.9×116.7	須山計一記念室
76	大平街道	1956	油彩,キャンバス	90.9×72.7	須山計一記念室
77	諏訪大社田植祭	1964	油彩,キャンバス	73×91.5	長野県信濃美術館
78	奥信濃の火祭り	1967	油彩,キャンバス	91.5×73	長野県信濃美術館
79	墓地風景		水彩,紙	32×41	
80	木曾開田秋景	1974	水彩,紙	24.6×33.3	
81	国鉄の青年	1950	油彩,キャンバス	65.3×50	
82	夏帽子	1964	油彩,キャンバス	40.7×32	
83	裸婦素描	1942	コンテ,紙	53.4×43.6	目黒区美術館
84	老婦人素描	1942頃	木炭,紙	60.4×44	目黒区美術館
85	ドーミエ「版画好事家達」模写	1941	油彩,キャンバス	72.5×52.2	
86	自画像	1943	油彩,キャンバス	41×32	目黒区美術館
87	読書する妻	1939	油彩,キャンバス	90.9×65.2	須山計一記念室
88	信彦像(於川中島村)	1947	油彩,キャンバス	53.5×45.6	
89	和彦像	1941頃	油彩,キャンバス	32×41	
90	婦人像	1941	油彩,キャンバス	45.5×33.7	
91	(スケッチブックS-58)	1939	鉛筆,紙	24.2×18.4	
92	(スケッチブックS-109)		鉛筆,紙	28×24.1	
93	子供タチ(スケッチブックS-60)	1939	鉛筆,紙	20.8×27.5	
94	仕上げの女たち	1943	油彩,キャンバス	65.2×80.3	須山計一記念室
95	仕上げの女たち下絵	1943頃	鉛筆,紙	56×62.5	目黒区美術館
96	風景	1945頃	油彩,キャンバス	24.5×33	
97	(スケッチブックS-73)	1944	鉛筆,紙	21.2×29.9	
98	(スケッチブックS-75)	1944-45頃	鉛筆,紙	25.7×19	
99-1	信濃の祭原画 表紙	1946夏	水彩,紙	27.7×37.7	長野県農業協同組合中央会

No.	作品名	制作年	素材,技法	寸法(cm)	所蔵先
99-2	信濃の祭原画 野沢の火祭り	1946・1・15	水彩,紙	28.3×41.3	長野県農業協同組合中央会
99-3	信濃の祭原画 神明宮の御作始祭	1945・3・9	水彩,紙	28.3×41.3	長野県農業協同組合中央会
99-4	信濃の祭原画 初午祭	1945・3・26	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-5	信濃の祭原画 山寺の焼餅踊り	1945・4・15	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-6	信濃の祭原画 八十八夜祭	1945・5・2	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-7	信濃の祭原画 八十八夜祭 部分図	1945・5・2	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-8	信濃の祭原画 端午のお節句	1945・6・5	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-9	信濃の祭原画 お田植祭	1945・6・15	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-10	信濃の祭原画 六月の大祓祭	1945・6・29	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-11	信濃の祭原画 天伯社の七夕祭り	1945・7・7	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-12	信濃の祭原画 南山の萱木祭	1945・7・22	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-13	信濃の祭原画 深身の水祭り	1945・7・24	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-14	信濃の祭原画 仲秋の月祭り	1945・9・19	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-15	信濃の祭原画 お天狗と獅子	1945・10・16	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-16	信濃の祭原画 十日夜の薬鉄砲	1945・11・10	水彩,紙	30.5×43	長野県農業協同組合中央会
99-17	信濃の祭原画 遠山の湯立祭	1945・12・10	水彩,紙	29.5×41.5	長野県農業協同組合中央会
99-18	信濃の祭原画 八幡の大頭祭	1945・12・14		30.5×43	長野県農業協同組合中央会
100	焼跡風景		木炭,コンテ,パステル,紙	56.9×75.5	目黒区美術館
101	港風景		木炭,コンテ,パステル,紙	56.7×75.7	目黒区美術館
102	工場風景	1954	木炭,パステル,水彩,紙	75.8×56.5	目黒区美術館
103	集会	1952頃	油彩,キャンバス	72.7×10	須山計一記念室
104	酒場の七福神(酒場の常連)	1953	油彩,キャンバス	60.5×72.8	金田
105	漁港	1968	油彩,キャンバス	90.9×72.7	須山計一記念室
106	もれ日の漁港	1969	油彩,キャンバス	53.1×64.9	
107	造船所		水彩,紙	43.8×51.5	
108	伊那谷の生家	1952	油彩,キャンバス	72.7×90.9	須山計一記念室
109	五月の伊那谷	1957	油彩,キャンバス	72.7×90.9	須山計一記念室
110	南アルプスと遠山谷	1972	油彩,キャンバス	90.9×116.7	須山計一記念室
111	伊豆の蜜柑畑(網代)	1972	水彩,紙	24.9×33.8	
112	奈良		水彩,紙	31.5×40.8	
113	(スケッチブックS-107)		鉛筆,紙	18.7×25.8	
114	(スケッチブックS-86)	1957	鉛筆,紙	19.1×27	
115	延安	1965	水彩,紙	31.5×40.5	
116	西安近郊	1965	水彩,紙	28×37.5	
117	ベルセポリス	1970	油彩,キャンバス	73×91.1	
118	ベルセポリス(スケッチブックK-57)	1970	鉛筆,紙	33.8×24.6	須山計一記念室
119	イラン・テヘラン風景	1970	水彩,紙	28.4×38	
120	船ランプなど	1959	油彩,キャンバス	100×80.3	須山計一記念室
121	静物	1963	油彩,キャンバス	65.2×53.1	

No.	作品名	制作年	素材, 技法	寸法(cm)	所蔵先
122	少女像	1970	油彩, キャンバス	65.2×53	
123	少女像		水彩, 紙	51.5×43.2	
124	萩咲く庭(伊豆網代)	1974	油彩, キャンバス	31.5×40.8	
125	秋の志賀山荘より	1974	油彩, キャンバス	37.9×45.5	
126	カーネーション	1975	油彩, キャンバス	33.1×24.2	
127-1	桑畑	1975	水彩, 紙	32×40.4	
127-2	田圃	1975	水彩, 紙	32×40.4	
127-3	天竜河畔(伊那谷早春)	1975	水彩, 紙	32.2×40	
127-4	早春の西駒ヶ岳	1975	水彩, 紙	33×40.2	
127-5	早春の南アルプス-1	1975	水彩, 紙	32×40.4	
127-6	早春の南アルプス-2	1975	水彩, 紙	32×40.4	

☆他に、須山が新聞・雑誌等に発表した漫画作品の切り抜き、パネル約80点と、雑誌「東京バック」等約20点を展示

Ⅱ. ワークショップ

ワークショップ活動

当館では、基本構想段階より教育普及事業の一環として、体験的行為を通して美術に親しむワークショップ活動の検討を進めてきた。区立という性格を持つ公立美術館が、展覧会のみではなく多彩な美術館活動を広げていくことは、社会教育施設として市民と至近距離に位置するうえでも重要な役割の一つといえるであろう。これまでの美術館における教育普及活動は、展覧会活動に比べその位置付けも内容も定まってはおらず、社会における美術館そのものの認識が、ある一面で固定化されている現実からみても、積極的な教育普及活動の意識を根付かせていくことは一朝一夕にはできるものではない。しかし、昨今よくいわれているように、今日の美術館が精神的な潤いと豊かさを提供する場でもあるならば、人々が潜在的にもっている創造への好奇心・探求心を刺激し、積極的に美術と向きあえる条件・状況を、美術館が主体となって整えていかなければならないだろう。別の立場から言えば、美術に対して素直に心をひらき、意識を解放していくことが、今の現代社会では必要なのではないだろうか。これは、大人だけでなく、枠にはめられがちな子どもにもいえることであろう。

このような現状を踏まえ、当館のワークショップは、情報の洪水によって見失いがちな「ものの本質」を自分自身で発見し、意識の解放を促すため、ものへの興味を自己内部から湧きあがらせる活動としておこなっている。単に技術習得的な講座を行うのではなく、五感を通して「つくること・みること・さわること」、つまり展示と造形講座を組み合わせ、作品と作家と参加者、そして来館者の間に、目に見えない関係を生み出していくことが、基本的な考え方になっている。

この基本構想を具現するため、美術館建築にもその構想を反映させ、ワークショップスペース内に小階段を設置し、2階の展示室と有機的に連動させ、また、外からも眺められるようにガラス面を多くした開放的な空間を設定した。

その他、ワークショップ活動の充実を図るため、引き出し型の各種見本箱や作家に制作を依頼した教材など、オリジナル教材(ティーチングコレクション)の企画制作と収集をおこなっている。

■プレビュー・目黒区美術館 2 こどものためのワークショップ “森の中のふしぎな動物園”

会期：1986(昭和61)年：9月13日 1：30p.m.－4：00p.m.
9月14日 10：00a.m.－3：30p.m.
9月15日 10：00a.m.－3：30p.m.

講師：熊谷優子(造形作家)、斎藤啓子(武蔵野美術大学非常勤講師)

会場：目黒区民センター1階展示場

主催：目黒区教育委員会

担当学芸員：降旗千賀子

第2回目となる収蔵作品の一般公開プレビュー・目黒区美術館2では、ワークショップ活動のデモンストレーションとして“こどものためのワークショップ―森の中のふしぎな動物園”を開催した。教育普及事業の一環として展開していくこの活動では、「つくる」体験を通して、美術に対する積極的なアプローチを促すことを、その活動目的の一つにおいている。特に、創造的な活動を中心とした“こどものためのワークショップ”は、未来の美術館利用者を育てていくと同時に、明日を担う子どもたちに表現する喜びを与え、美術に対する意識を広げていくためにも重要な活動である。講師に、新進の若い作家を起用し、制作に集中できるよう長時間のプログラムを組むなど、様々な冒険を試みた。開館後のワークショップ活動を構想するうえでも、確かな手応えを受けた貴重な実験であった。

内容は、展示作品観賞の後、布やダンボールなどの材料と、釘やカッターなどの道具を使って、空想の動物をつくり、公園の緑の中に展示し、一時的な動物園を開園するという設定でおこなった。

参加者：小学生 30名
幼稚園児 1名
計 31名



こどものためのワークショップ

■ワークショップ・手と目の冒険広場「素材との触れあい一木」

会期：1988(昭和63)年1月23日－2月21日

同時開催：所蔵作品展Ⅰ 一意味のたし算

会場：ワークショップ、エントランスホール、展示室C

主催：目黒区美術館

協力：林野庁、(株)日光園

担当学芸員：降旗千賀子

衣・食・住と深く関わりのある木の暖かい感触と柔軟性は、我々の生活に優しさとうるおいを与えてきた。自然の立木から生活の中のモノへと姿を変えた後も、なお呼吸し続ける木の特性。その特性を生かしながら永遠なる機能美を追求した先人達によって、わが国には世界に誇るべき“木の文化”が形成された。だが、消費経済中心の生活が進むにつれ、高度成長の波は貴重な“木の文化”を必要以上に侵蝕してきた。そのため現代の暮らしの中では、本当の木の良さを肌で感じ、木と素直に対話することが困難になってきている。近年、木のモノとしての復権を呼び掛ける機運がいろいろなところで高まってきてはいるものの、木が持つ豊富な表情について知る機会はあまりない。この企画では木の素朴な美しさを手がかりとして、木に対する見方、感じ方を自分自身で発見するため「木の色・木の音・木の感触」という観点からの作品展示、木の幅広い特性を楽しく学ぶための教材展示、自然の丸太や流木を使った造形講座をおこない、五感による体験を通して木のさまざまな表情や特性を考察した。

●教材展示

触れる木：木の重さ、色、肌合いの違いを確認するため、約20種類の皮つきの木を触って楽しめるように展示した。BOX「素材見本一木」：木のもつ豊かな表情についての視覚的な興味を与える補助資料として、木のさまざまな特性をパッケージした引き出しを展示した。

●ワークショップ(造形講座)

木の多彩な表情を知り、ものの見方を広げていくために、身体全体で取り組めるこどもとおとなのためのワークショップ(造形講座)を行った。材料には、林野庁の協力を得て日本全国9ヵ所から集めた約60種類の丸太と、流木など、製材されていない生木を使用した。

○こどもきつつきのワークショップ

・丸太と木っばからつくるいろいろな木の音のかたち

さまざまな樹種の丸太に触れ、木との対話を通して自分だけの音を探し、創造性豊かな楽木を制作した。

講師：横尾哲生(造形作家)

日時：1988年1月23, 30日 1:30p.m. - 4:30p.m.
24, 31日 10:30a.m. - 4:00p.m.

参加者：小学生 23名

・自然がつくった木のかたち一流木の不思議な造形
流木のユニークな形からの連想をもとに、繋げることで形の構成を考えていく自由な造形を行った。

講師：長谷宗悦(造形作家)

日時：1988年2月11, 14日 10:30a.m. - 4:00p.m.
13日 1:30p.m. - 4:30p.m.

参加者：小学生 29名

○おとなきつつきのワークショップ

・自然の木のかたち一丸太から器をつくる
皮つきの丸太を彫ることで木にたいする固定観念を捨て、自然の表情や木肌の美しさを楽しみながら器を制作した。

講師：堀川弘(木工塾塾生)

日時：1988年1月27, 28日, 2月2, 3日
10:30a.m. - 4:00p.m.

協力：秋岡芳夫・木工塾

参加者：18歳以上 22名

・自然の木のかたち一丸太から彫る
出来るだけ工具を使わずに丸太を丸彫りし、木の形からうけるイメージを自由に形に表した。

講師：中川久嗣(造形作家)

日時：1988年2月5日 1:30p.m. - 4:30p.m.
2月6, 7, 9日 10:30a.m. - 4:00p.m.

参加者：18歳以上 10名

完成した作品はエントランスホールとワークショップ内に会期中展示了。

●関連記事等

『木の感触をたのしみながら』 降旗千賀子 デザインの現場 1988年4月号 デザイントピックス

『東京だより』(日本テレビ) 1988年1月31日

『ラジオカーでこんにちは』(NHK第一放送)生中継 1988年2月9日

●記録

ビデオ「素材との触れあい一木」各講座 10~15分

編集：岡川純子

ワークショップ・手と目の冒険広場 素材との触れあい——



木、無数の樹種が作り出した多様な形、その中でも自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。

このワークショップでは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。

このワークショップでは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。

このワークショップでは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。その中でも最も美しいのは、自然の造形が最も美しい。



B35チラス



会場風景



ワークショップ完成作品



こどものためのワークショップ

● 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(mm)	所蔵先
1	菅沼 緑	作品	1985	775×863×420	
2		作品(39点)	1982	—	
3		フラワーズ	1986	385×240×445	
4	中川久嗣	自由の種類	1988	420×526×320	目黒区美術館
5		自由への目論見	1988	750×165×333	目黒区美術館
6		引き出し自動車	1985	182×373×188	目黒区美術館
7		デコイ	1985	172×310×172	目黒区美術館
8		ひなとたまご	1985	145×220×173	目黒区美術館
9	古渡 章	トレーラーと組み立て家屋	1985	180×796×160	目黒区美術館
10		ミュゼット	1985	1100×900×1600	目黒区美術館
11		静物「チューリップ」	1988	1050×750×800	目黒区美術館
12		静物「花」	1985	1263×370×250	
13	横尾哲生	静物「花」	1985	1170×275×475	
14		こん・かん・きん	1986	770×1940×350	
15		作品	1987	450×420×450	
16		作品	1988	190×40×200	
17		熊谷健一	木遣い辞典(108点)	1985～	

■ ワークショップ・遊びの広場「積むかたち+組むかたち」

会期：1988(昭和63)年4月2日ー5月5日

同時開催：ドイツ70年代グラフィック展

会場：ワークショップ，エントランスホール

主催：目黒区美術館

協力：アトリエニキティキ

担当学芸員：降旗千賀子

当館のワークショップでは、「視覚的な要素」と「触覚的な要素」を組み合わせることによって、美術へ親しむ導入を図るため、ティーチングコレクションと称したワークショップ専用の教材を収集、制作している。形の構成と変化について遊びを通して考えるため、これまで収集した教材を中心に、積むことと組むことによって展開する、優れた造形作品や玩具を展示し、実際に来館者が手にとり遊びながら学習できるように構成した。そして、2作家(出品作家)の公開制作も展示と同じワークショップスペースで行なった。

● 公開制作

飛山裕幸の公開制作：4月15日ー17日

1：30p.m.ー5：00p.m.

新進の造形玩具デザイナーとして活躍中の飛山氏による、創作パズルの公開制作を行った。最終日には、構成玩具で有名なスイスネフ社探訪記のスライドレクチャーもあわせて行った。

遠藤裕の公開制作 5月3日ー5日

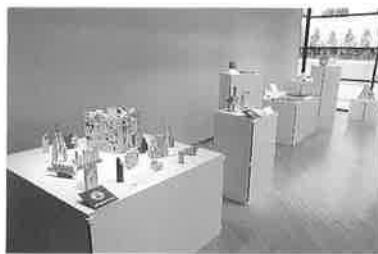
1：30p.m.ー5：00p.m.

一つのユニットをひもで繋げて組み立てる、独特な造形作品を制作しているクラフト作家遠藤氏による作品“snow”の公開制作を行った。

ワークショップ
遊びの広場
目黒区美術館・ホール2010年

積みかたち+組むかたち
10月14日(日)~15日(木)

展出展の公開制作 4月15日(金)~17日(日)
15:30~18:00
観覧 毎日の公開制作 6月3日(火)~8日(木)
15:30~18:00



会場風景



会場風景

B5チラシ

● 出品目録

No.	作者名	作品名	制作年	寸法(mm)	素材	所蔵先
1		Anker-Steinbaukasten	C.1900	225×305×47	石	アトリエニキティ
2	飛山裕幸	Zig World	1986	300×310×310	木	目黒区美術館
3		ぶらぐ(大)	1981	250×60×φ40	木	
4		ぶらぐ(小)	1981	250×60×φ30	木	
5		たつまき	1987	110×140×110	木	
6	遠藤 裕	雪の結晶	1984	φ160	木	目黒区美術館
7		K30(大)	1984	φ210	木	目黒区美術館
8		K30(小)	1984	φ200	木	目黒区美術館
9		ランビックアニマル	1983	60×135×250	木	目黒区美術館
10		ピラニア	1987	75×65×φ24	木	
11	梅田素博	Bear(くま)	1983	200×100×100	木	目黒区美術館
12		Ostrich(だちょう)	1983	255×100×100	木	目黒区美術館
13	有岡 進	陶器のパズル(円錐)	1983	100×φ110	焼成土	目黒区美術館
14		陶器のパズル(立方体)	1983	70×70×70	焼成土	目黒区美術館

No.	デザイナー名	作品名	寸法(mm)	素材	所蔵先
組むかたち(構成)					
15	Alma Siedhoff-Buscher Naef	Bauhaus Bauspiel	55×263×41	木	目黒区美術館
16	Ulrich Namislow	Kaskad	420×225×35	木	目黒区美術館
17	Jo Niemeyer	Modulon	110×110×110	木	目黒区美術館
18	Peer Clahsen	Diamont	180×125×125	木	目黒区美術館
19		Rhombus	235×203×25	木	目黒区美術館
20		Cella	100×100×100	木	目黒区美術館
21		Cubicus	100×100×100	木	目黒区美術館
22		Angula	225×225×25	木	目黒区美術館
23	Johannes Scharfenstein	Multi-tree	240×120×30	木	目黒区美術館
24	吉本直貴	吉木キューブ	50×50×50	塩ビ板	目黒区美術館
25	ブルーノ・ムナーリ	ABCを組み立てよう			目黒区美術館
積みかたち					
26	Kurt Naef	Naef-Spiel	200×200×50	木	目黒区美術館
27	Peter Schmid	Ligno	200×200×50	木	目黒区美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(mm)	素材, 技法	所蔵先
28	—	箱入り積み木		500×400×105	木	アトリエニキティ キ
29	—	tree-plan		—	木	アトリエニキティ キ
30	—	家作り		—	木	アトリエニキティ キ
31	—	Spiel-foum		—	木	目黒区美術館
32	Hocco	樹々の積み木		262×262×70	木	目黒区美術館
組むかたち(パズル)						
33	山中成夫	51本		250×250×250	木	目黒区美術館
34		19本		140×140×140	木	目黒区美術館
35		6本		108×108×108	木	目黒区美術館
36		赤玉		223×223×223	木	目黒区美術館
37	小黒三郎	4つの箱のキューブ		170×170×170	木	目黒区美術館
38		ネコの家族		125×165×25	木	目黒区美術館
39		5匹のふた		95×185×25	木	目黒区美術館
40		3頭のライオン		165×125×25	木	目黒区美術館
41		30の動物		245×380×23	木	目黒区美術館
42		動物パズル 汽車		395×595×25	木	目黒区美術館
43		動物パズル 船		395×595×25	木	目黒区美術館
44	加藤裕三	ダイスボックス		95×95×95	木	目黒区美術館
45	福田繁雄	バードツリー		267×213×25	木	目黒区美術館
46		たまご		220×158×25	木	目黒区美術館
47		ハウス		237×200×25	木	目黒区美術館
48	エンゾ・マリ	16の魚		243×350×30	プラスチック	目黒区美術館
49		16の動物		247×337×30	プラスチック	目黒区美術館
50	—	いたやきつね(角館)		115×φ88	木	目黒区美術館
51	Henry Adams	Oneway-puzzle		142×63×30	木	目黒区美術館
52	Ottorino Monastir	Knick-Klein		143×13×13	木	目黒区美術館
53	別宮としあき	Gemini		87×70×70	木	目黒区美術館
55	Jost Hännny	Managon		74×74×74	木	目黒区美術館
55	Peer Clahsen	Oktason		200×100	木	目黒区美術館
56	Manfred Zipfel und Cordula von Tettau	Kniff		140×140×20	木	目黒区美術館
57	Peer Clahsen	Pan tao		140×140×35	木	目黒区美術館
58	Manfred Zipfel und Cordula von Tettau	Campanile		210×54×54	木	目黒区美術館
59	Peer Clahsen	Ordino		145×φ60	木	目黒区美術館
60		Turris		155×φ65	木	目黒区美術館
61	Christel und Christer Holmgren	Isola		100×150×150	木	目黒区美術館
62	Christel und Christer Holmgren	Punktum		240×210×20	木	目黒区美術館
63	Manfred Ziptel und Cordula von Tettau	Contura		55×φ125	木	目黒区美術館
64	Jost Hanny	Discon		105×φ60	木	目黒区美術館
65	Peer Clahsen	Ixs		137×137×35	木	目黒区美術館
66	Hanspeter Lüthi	Louis		400×250×10	木	目黒区美術館
67	Albert Gubeli	Pentalbi		225×217	木	目黒区美術館
68	Aoi Huber	Animal-puzzle		77×77×36	木	目黒区美術館
69	Hubert Zimmermann	Ornabo		75×75×35	木	目黒区美術館
70	Aoi Huber	Motivo		70×70×70	木	目黒区美術館

■ワークショップ・手と目の冒険広場「素材との触れあい—金属」

会期：1988(昭和63)年9月1日—25日

同時開催：所蔵作品展II一住所について

会場：展示室B, C, ワークショップ, エントランスホール

主催：目黒区美術館

協力：新日本製鉄釜石製鉄所・史料館, 工業技術院地質調査所・地質標本館

担当学芸員：降旗千賀子

金属は、“人と人” “人と社会” の関係に激動のドラマをもたらし、人類の発展におおきく関わってきた素材である。現代では、科学技術の発達のもとに多種多様な金属が開発され、身の回りのいたるところに存在し、我々の知的好奇心を掻き立てている。

一方、自然と金属の関係を考えた時、地球の歴史45億年に重なる“金属の誕生”や“金属の発見”をひもとけば、素材のロマンを知ることができる。そうした観点から改めてみると、原料となる鉱石がもつ独特な輝き、時間と空気の微妙な関係で生まれるサビ、外的な要因を加えることにより軟らかくなる展延性など、金属がもつ豊かな表情が親しみがもてる素材として、積極的に語り掛けてくれる。今回のワークショップでは、金属に対する親しみをより深めるために、「冷・硬・重」という固定的なイメージとは別の面から、「色」「音」の美しさ、優しさ、「熱」「空気」による変化など、自然と金属と人の関わりからみたいろいろな特性と表情を考察した。

●教材展示

Box「素材見本—金属」：金属のさまざまな表情にしたしむため、金属のさまざまな表情を表した、引き出しパレット15枚を展示した。

いろいろな金属(鉱石と金属1, 2) / 金属の表情(表面処理1, 2) / 金属の特性(展延性1, 2) / 金属の特性(熱, 電気良導体) / 金工技法(接合と切断, 彫金, 鋳金, 鍛金, 鍛造) / 金属のモノ(音, 玩具, 工業的製品)

金属のキューブ：比重や色の違いを体験するために3種類の大きさのムクのキューブを展示した。鉄, アルミニウム, 真鍮, 銅

鉱石：自然における金属の状態を知るために、鉱石を展示した。鉄鉱石, 餅鉄(べいてつ), 砂鉄, magnetite, beauxite, sphalerilite, argentite, galena, chalcopyrite, cassiterite, ボーキサイト, 銀鉱石, 黄鉄鉱

●ワークショップ(造形講座)

金属の多彩な表情を知り、ものの見方を広げていくために、身体全体で取り組めるこどもとおとなのためのワークショップ(造形講座)を行った。

○こどもかじやのワークショップ

・陽気なビルマン都市をつくる

金属の中でも、比較的軟らかく、美しい色が好まれる真鍮板を、はんだづけによって自由に組み合わせ、空想の未来

都市を制作した。

講師：藤掛正邦(造形作家)

日時：1988年9月3日 1:30p.m.—5:00p.m.
4, 11日 10:30a.m.—4:30p.m.

参加者：小学生 22名

・キンキンカラカラ音のなる木

身のまわりにある音探しから始まって、金属の廃品の中から自由に形をひろいだし、解体・構成に音の要素を組み合わせ、音階にとらわれない音具作りを行った。

講師：松本秋則(造形作家)

日時：1988年9月10日 1:30p.m.—5:00p.m.
15, 18日 10:30a.m.—4:30p.m.

参加者：小学生 20名

材料協力：エトー株式会社

○おとなかじやのワークショップ

・熱と空気と金属の関係をさぐる

金属を素材として表現活動を行っている現代作家とその作品の關係に触れながら一般的な金属の固定観念をくずし、固体から液体へと変化するアルミニウムの鋳造の体験を通して熱と空気と金属の關係を考察した。

講師：西雅秋(彫刻家)

日時：1988年9月17日 1:30p.m.—5:00p.m.
23, 25日 10:30a.m.—4:30p.m.

参加者：18歳以上 26名

・金属の歴史—初心者への金属入門(レクチャーと実習)
自然の中での金属の劇的な誕生とそのロマンある歴史についてのレクチャーを中心に、銅、真鍮、アルミの3種類の金属を組み合わせ、ペーパーナイフの制作を通して、金属の展延性と色の調和について考察した。

上映：「和鋼風土記」岩波映画(16mmフィルム)

講師：川口勝利(武蔵野美術大学非常勤講師)

日時：1988年9月24日 10:30a.m.—4:30p.m.

参加者：18歳以上 24名

● 関連記事

『ワークショップ・手と目の冒険広場「素材との触れあい—金属」』河西恵美子 イベント・レポート

『金属の造形展(タウン)』東京新聞 1988年9月2日

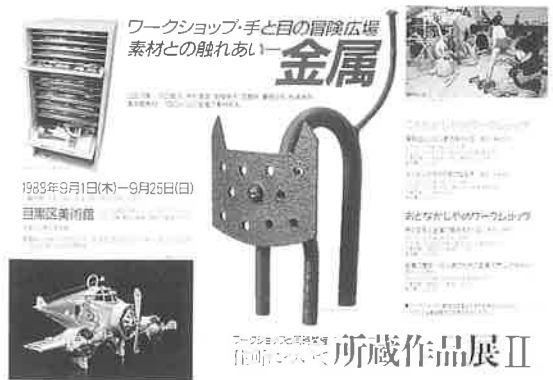
『「素材との触れあい—金属」展(あの街この街)』毎日新聞 1988年9月2日

『「素材との触れあい—金属」目黒区美でワークショップ開催』新美術新聞 1988年8月11日

● 記録

ビデオ「素材との触れあい—金属」各講座 10-15分

撮影・編集：岡川純子



I33ポスター



おとなのためのワークショップ



会場風景



こどものためのワークショップ

● 出品目録

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(mm)	所蔵先
1	河川龍夫	関係一質(青84-12)	1984	1300×1000	
2		関係一質(青84-11)	1984	1300×1000	
3		関係一質(青84-14)	1984	1000×700	
4		関係一質(青84-13)	1984	1000×700	
5		関係一質(青84-18)	1984	605×455	
6		関係一質(青84-22)	1984	605×455	
7	木村直道	ライオン	1965—67	167	埼玉県立近代美術館
8		十字軍	1965—67	378	埼玉県立近代美術館
9		龍	1965—67	182	埼玉県立近代美術館

No.	作家名	作品名	制作年	寸法(mm)	所蔵先
10		さかりのついた猫	1965—67	233	埼玉県立近代美術館
11		ズイズズッコロバシ	1965—67	76×335×55	埼玉県立近代美術館
12		魔女	1965—68	1600×515×94	埼玉県立近代美術館
13		西部の男	1965—68	280×109×135	埼玉県立近代美術館
14		サーカスにて・重量あげ	1965—68	294	埼玉県立近代美術館
15		サーカスにて・オットセイ	1965—67	442	埼玉県立近代美術館
16		音のコレクション			
17	高橋英子	金属の虫シリーズ48点			
18	西 雅秋	IRON	1986	420×420×300	
19		IRON-on paper	1986	350×1570	
20		COPPER	1986	420×420×300	
21		COPPER-on paper	1986	350×1570	
22	藤掛正邦	RS-1/SOLOMON	1985	47×140×100	
23		RS-6/SKY-ESCAPE	1985	400×150×150	
24		RS-11/PLAY-THEATER	1986	200×150×100	
25		RS-7/CINEMA-HOUSE	1986	200×150×100	
26		RS-17/TRAIN-VICTORIA	1986	110×200×90	
27		RS-18/TRAIN-ELIZABETH	1986	110×250×100	
28		RS-29/TRAIN-CHAROTT	1987	100×150×100	
29		RS-19/TRANS-CONTINENTAL	1986	200×150×150	
30		RS-23/AIRPLANE	1986	150×200×200	
31		RS-25/RETRO-CAR	1987	100×150×50	
32		RS-24/FACE TO FACE	1987	100×150×50	
33		RS-28/NAUTILUS	1987	100×200×90	
34		RS-10/ARAVESK	1986	160×230×50	
35		RS-27/PIANISSIMO	1987	100×100×150	
36		RS-31/CHARLIS'BAR	1987	150×150×150	
37	松本秋則	浮遊する音楽	1988	2400×φ2000	
38		ミュージックピンポンパン	1983	—	
39		ローリングススチール	1983	—	
40		スネークエレベーター	1983	—	
41		ボールベル(4木)	1983	約600	
42		筒状のざわめき	1983	約1200	
43		抽象的音楽	1984	430×340×80	
44		レコードプレーヤー	1984	480×410×70	
45		ミュージックシャンデリア	1984	500×φ100	
46		双頭の音楽	1987	1080	

参考展示(ワークショップ内)

47	藤掛正邦	RS-2/SABOTEN	1985	80×110×60	
48		RS-5/PEKIN-DUCK	1985	90×50×50	
49		RS-8/DIVA	1986	300×100×100	
50		RS-9/RO-SE	1986	200×110×110	
51		RS-30/DANCE	1987	250×150×150	
52		RS-15/PITIN	1986	10×200×40	
53		RS-21/AIRPORT	1986	200×200×100	
54		RS-12/M&M	1986	300×200×200	
55		RS-16/TODEN	1986	70×130×60	
56		RS-13/SMALL CAR-A	1986	40×80×50	
57		RS-14/SMALL CAR-B	1986	40×80×50	

■ワークショップ・手と目の冒険広場「木一型と版」

会期：1989(平成元)年3月7日－4月2日

同時開催：須山計一展

会場：展示室C, エントランスホール, ワークショップ

主催：目黒区美術館

担当学芸員：降旗千賀子

前年1月に開催したワークショップ「素材との触れあい—木」シリーズの第2回目として美術と生活の中にある木の型と版の魅力について考察した。型と版は、写す・抜く・摺る(刷る)ことで複数のものを生産するものであるが、一般的にはあまり目に触れる機会がない。伝統的な木の型と版には、自然素材としての木と人間の技が微妙に絡み合った美しい造型性をみることが出来る。そして、東西の菓子型の比較によってあきらかなように、それぞれの型と版にはその国の気候風土や国民性が色濃く反映されている。

日本の伝統的な技法を現代に蘇らせた現代板目木版、そして、西洋の木口木版の技法を日本的な資質の中で高めた現代木口木版、それらの版には作家の制作に対する緊張感や厳しきなど、作品とは別の意味での魅力を感じることが出来る。生活の中の型と版、そして美術の中の型と版、これらの展示と造形講座を通して、普段あまり知ることのない陰の美しさ、人間の手の確かな痕跡をとどめる木の型と版の魅力を探った。

●ワークショップ(造形講座・公開制作)

型と版の連続するおもしろさを実制作を通して考察するため、染色技法としてのブロックプリントを取り上げて、こどもとおとなのワークショップを行った。そして、現代版画家によるレクチャーと公開制作を行った。

○こどものためのワークショップ

・ベタベタ・木によるブロックプリント—空飛ぶ魚の水族館

魚をテーマに、木を自由にくりぬいたり、彫ったりして布にプリントし、空想のさかなを作った。完成作品は、空の水族館として美術館外壁に1週間、空高く吊り展示した。

講師：榎本寿紀・中川裕孝・半谷学(造形作家)

日時：1989年3月11日 1：30p.m.—5：00p.m.

12, 19日 10：30a.m.—4：30p.m.

参加者：小学生 29名

○おとなのためのワークショップ

・木の版で染める—ブロックプリント

染色における型と版の歴史と生活における型と版の役割について展示を見ながら話し合い、実際に版を彫り布にプリントし、連続するかたちの偶然性やおもしろさを体験した。

講師：大澤美樹子(染色作家)

日時：1989年3月21, 25, 26日 10：30a.m.—4：30p.m.

参加者：高校生以上 18名

●公開制作

木口木版画と板目木版の歴史と、版画家の制作をめぐり、出品作家によるレクチャーと公開制作を行った。

・木口木版画—ミクロの世界

講師：柄澤齋(出品作家)

日時：3月18日 10：30a.m.—4：30p.m.

参加者：高校生以上 18名

・現代木版画—色彩の深淵

講師：黒崎彰(出品作家)

日時：4月2日 10：30a.m.—4：30p.m.

参加者：高校生以上 20名

●関連記事

『「木」の素材感を見直してしまう「手と目の冒険広場・木一型と版」展』福田京子 織研新聞 1989年3月28日

『「型」と「版」の魅力探る』東京新聞 都内版 1989年3月11日

『版木にスポット』産経新聞 都内版 1989年3月11日

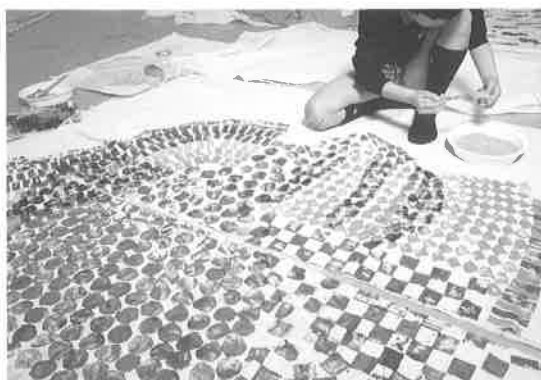
『「木一型と版」展』毎日新聞 都内版 1989年3月11日

『菓子などの版木展 目黒で国際色豊かに』読売新聞 都内版 1989年3月11日

●記録

ビデオ「木一型と版」各講座 10—15分

撮影・編集：岡川純子



こどものためのワークショップ



B3ポスター



公開制作・柄澤齋

● 出品目録

現代木版画

No.	作家名	作品名	寸法(mm)	所蔵先
1	柄澤 齋	肖像III ウォルフガング・アマデウス・モーツァルト	67×115	目黒区美術館
2		肖像IV アルチュール・ランボー	195×146	目黒区美術館
3		肖像VI マルセル・ブルースト	100×151	目黒区美術館
4		肖像XIII エドガー・アラン・ポー	220×62	目黒区美術館
5		肖像VII シャルル・ボードレール	175×160	目黒区美術館
6		肖像XI ジェームス・アンソール	166×113	目黒区美術館
7		肖像XVI マティアス・グリユネヴァルト	99×169	目黒区美術館
8		肖像VIII ルカス・クラナッハ(版本共)	199×131	目黒区美術館

版画集「中国」より

9	黒崎 彰	中国長城	455×330	目黒区美術館
10		十三陵石彫群	455×330	目黒区美術館
11		毛さん 今日わ	330×455	目黒区美術館
12		中国印章	330×455	目黒区美術館
13		上海算盤(版本共)	455×330	目黒区美術館
14		故宫星明	455×330	目黒区美術館
15		圓丘雷鳴	455×330	目黒区美術館
16		京劇	330×455	目黒区美術館
17		冷たいビールをください	455×330	目黒区美術館
18		漓江風光	455×330	目黒区美術館

No.	作家名	作品名	寸法 (cm)	所蔵先
版画集「卵」より				
19	日和崎尊夫	1	415×340	目黒区美術館
20		2	415×340	目黒区美術館
21		3	415×340	目黒区美術館
22		4(版木共)	415×340	目黒区美術館

版木・木型

No.	作品名	所蔵先
23	インドサラサ版木 24点	岩立広子
24	インドサラサ版木(絞り用) 2点	岩立広子
25	インドサラサ染め布 10点	岩立広子
26	チャパティ押し木型(インド)	岩立広子
27	インドサラサ版木 6点	西岡由利子
28	インドサラサ工程見本(アズラック模様)	西岡由利子
29	菓子木型(日本) 角牡丹(1763宝暦13年)/友鏡(牡丹両面丸型)(1830—1844天保年間)/鯛型(1848—1854嘉永年間)/鶏形(1848—1854嘉永年間)/松 の下水/松風の里/竹屋の里/小梅型/梅津の里/桜型/むつきの契(寿・牡丹型)/牡丹型/菊型/菊型/宝珠型/扇型	虎屋
30	菓子木型(角型) 鶴形(薄形)/香(におい)ばら/好文花(こうぶんか)/鶴形(極小形)/ひな鶴形(中形)/月ヶ瀬(中形)/春の光(中形)/梅ヶ枝(大形)/吹上 の浜(小形)/祇園坊(小形)/帆立貝/小つづみ/寿/手折(たおり)桜(小形)/手毬桜(大形)/花筏(大形)/桜川(小形)/花蓮(大形)/池 木草(小形)/奈良の都(中形) 羽子板/花菖蒲(中形)/岩根の錦(小形)/宝珠/蛤形(中形)	虎屋
31	菓子木型(羽子板) 紅葉形/紅葉・桔梗/菊形/桐/柿のへた/残月/八重錦(抜型)/八重桜(小形)/談草/萩の門/名取草(中形)	虎屋
32	クッキー木型(ドイツ) 9点	ユーハイム
33	バター型(ヨーロッパ)	日本民芸館
34	バター型(ヨーロッパ)	日本民芸館
35	菓子木型(ドイツ)	日本民芸館
36	チーズ型(スウェーデン)	
37	チーズ型(スウェーデン)	
38	菓子木型(ネパール)	
39	木活字 291点	紙舗 直

参考表示

40	千代紙版木 10点	目黒区美術館
41	東海道五十三次・吉田 歌川広重 版木・工程見本(複製) 10点	黒崎 彰

●ワークショップ活動に関する主要記事

『素材との触れあいを求める目黒区美術館のワークショップ
ブ「親子でアートしよう!」』 Do 情報'88 家庭画報
1988年10月

『ルポ・気ままに美術館 触って遊べるワークショップ 特
集/美術館パフォーマンス』 アートマガジン 1988年7
月no.5

『絵が下手だから…なんて無関係 ワークショップはこんな
に楽しい』 座談会 高橋直裕(世田谷美術館)/今井志
介(町田市立国際版画美術館)/降旗千賀子(目黒区美術館)
東京・美術館への散歩道3 1988年11月25日発行

Ⅲ. 入館状況

昭和60・61年度

展覧会名	会期	延日数	入場者数		会場	備考
			総数	1日平均		
プレビュー 目黒区美術館	自60.11.12 至60.11.17	6	—	—	目黒区民センター 2F 第1・2 集会室	無料
プレビュー 目黒区美術館 2	自61.9.9 至61.9.15	6	—	—	目黒区民センター 1F 展示場, 2F 第1・2 集会室	無料

昭和62年度

展覧会名	会期	延日数	入場者数		会場	備考
			総数	1日平均		
目黒区美術館開館記念 スイス現代美術家滞日90日展	自62.11.15 至63.1.17	49	3,814	77	A・B・C・ L W・G・E	有料
所蔵作品展 I—意味のたし算	自63.1.23 至63.2.21	26	4,153	159	A・B・L	〃
ワークショップ・手と目の冒険広場 「素材との触れあい—木」					C・W・E	
目黒区立小中学校連合展覧会	自63.1.23 至63.2.7	14	5,142	367	G	無料
目黒区の書道家展	自63.2.13 至63.2.28	14	1,398	99	G	〃
美術史探索学入門 —美術館時代が掘り起こした作家達展—	自63.2.27 至63.3.27	26	2,701	103	A・B・C・ L W・E	有料
目黒区の画家展	自63.3.5 至63.3.29	21	2,201	104	G	無料
計		150	19,409	129		

昭和63年度

展 覧 会 名	会 期	延日数	入場者数		会 場	備 考
			総 数	1日平均		
ドイツ70年代グラフィック展	自63.4.2 至63.5.5	29	2,994 *1 (263)	100	A・B・C・L	有料
ワークショップ・遊びの広場 「積む形+組む形」					W・E	
飯田善國展	自63.5.10 至63.6.5	24	2,206	92	A・B・C・L W・E	〃
インド現代美術展	自63.6.11 至63.7.17	32	3,287	103	A・B・C・L W・E	〃
高島野十郎展	自63.7.28 至63.8.28	28	13,295	475	A・B・C・L W・E	〃
所蔵作品展2	自63.9.1 至63.9.25	22	1,269	58	A	〃
ワークショップ・手と目の冒険広場 「素材との触れあいー金属」					B・C・L W・E	
「日本の伝統パッケージ展」 5つの卵はいかにして包まれたか	自63.10.9 至63.11.6	25	4,725	189	A・B・C・L W	〃
レオナルド・フジタ 絵と言葉展	自63.11.19 至元.1.16	44	6,314	144	A・B・C・L W	〃
目黒区立幼小中連合展覧会	自元.1.21 至元.2.5	14	9,117	651	A・B・C・L W・E	無料
目黒区の美術家展	自元.2.11 至元.2.26	14	2,567	184	A・B・C・L W・G・E	〃
須山計一展	自元.3.7 至元.4.2	24	2,086	87	A・B・L	有料
ワークショップ・手と目の冒険広場 「木型と版」					C W・E	
計		256	47,860	187		

*1()はワークショップのみの入場数

A=展示室A, B=展示室B, C=展示室C, W=ワークショップ, E=エントランスホール, G=区民ギャラリー, L=展示ロビー

IV. 作品収集

収集方針

目黒区美術館の作品収集は、おおむね次の基本方針に基づいて計画的に収集をすすめている。

- 1) 近代から現代にいたる我が国の美術の流れを体系的に理解する上で有益な作品
- 2) 作品の成立する過程、素材および技術と表現の関係を理解するうえで有益な作品および補助資料
- 3) その他、目黒区美術館の所蔵作品としてふさわしい作品および補助資料

収集対象

- 1) 作品
 - 平面（洋画、日本画、素描、版画、書など）
 - 立体（彫刻、工芸など）
 - 映像（写真、映画、ビデオなど）
- 2) 補助資料
 - 素材、工程、技法などに関わる補助資料
 - 作品制作に関わる書簡、日記など
 - 上記収集に関わる文献

この方針に基づき、わが国の近代から現代に至る美術史の形成と発展を理解する上で有益な、明治以降第二次世界大戦までに日本作家が海外で制作した優れた作品および補助資料、ならびに戦後国際的に活躍あるいは活躍中の日本作家による優れた作品および補助資料を中心に収集してきた。今後もこれを継続し、充実を図るとともに、各展覧会において、特に優れていると認められる作品および補助資料、ならびに目黒区と関係の深い作家の優れた作品および補助資料にも留意して計画的に収集していく。

昭和62年度までの収蔵作品

	平 面			立 体		映 像	計
	油彩・アクリル等	水彩・素描等	版画等	立体・彫刻等	工芸等	映像・写真等	
購 入	120件(120点)	28件(175点)	8件(8点)	5件(5点)	—(—)	—(—)	161件(308点)
寄 贈	75件(134点)	28件(657点)	—(—)	4件(4点)	—(—)	—(—)	107件(795点)
所 管 換	—(—)	1件(1点)	—(—)	—(—)	—(—)	—(—)	1件(1点)
寄 託	—(—)	—(—)	—(—)	1件(1点)	—(—)	—(—)	1件(1点)
計	195件(254点)	57件(833点)	8件(8点)	10件(10点)	—(—)	—(—)	270件(1,108点)

☆他に、一柄購入したシャーマン・コレクション(1件94点)がある。

昭和63年度収蔵作品

	平 面			立 体		映 像	計
	油彩・アクリル等	水彩・素描等	版画等	立体・彫刻等	工芸等	映像・写真等	
購 入	9件(9点)	4件(15点)	1件(1点)	—(—)	6件(6点)	1件(16点)	21件(47点)
寄 贈	5件(8点)	1件(1点)	—(—)	1件(1点)	5件(9点)	—(—)	12件(19点)
所 管 換	—(—)	—(—)	—(—)	—(—)	—(—)	—(—)	—(—)
寄 託	—(—)	—(—)	—(—)	1件(1点)	—(—)	—(—)	1件(1点)
計	14件(17点)	5件(16点)	1件(1点)	2件(2点)	11件(15点)	1件(16点)	34件(67点)

昭和63年度新収蔵作品

開館後初の作品収集となった昭和63年度には、購入21件(47点)、寄贈12件(19点)、計33件(66点)の作品を収集した。また、新たに寄託を受けた作品が1件(1点)ある。

当館がコレクションの柱のひとつとして継続して進めてきた、いわゆる滞欧米作収集の方針に沿ったものとして、今回は石垣栄太郎、小川千穂、国吉康雄、中川紀元、矢崎千代二らの作品を収集した。また戦後の作品では、白髪一雄、田中敦子、飯田善國らの作品を収集した。この内白髪、田中らの作品は、国際的に高く評価を受けている具体美術協会時代の作品である。飯田の《戦争A・B》は作者が彫刻家としての出発をする前のもので、制作者懇談会時代の代表作として貴重である。

岡田謙三の《幕合》は、戦前に二科展に出品された作品で、すでに所蔵している1950年代以降の滞米期作品に加え、作家の仕事の軌跡を窺わせるものである。山中信夫の作品は、当館開催の「美術史探索学入門」展が契機となって収集に至った。また、開館記念展「スイス現代美術家滞日90日展」で5人のスイス美術家が日本で制作した作品が、作家による再構成を経て寄贈された。

今回から、目黒区に關係の深い作家の作品という収集方針が柱のひとつに加わり、その一回目として、香取正彦はじめ5作家の工芸作品が収蔵の運びとなった。

なお、昭和62年度以前の収集作品については、『目黒区美術館所蔵作品目録』をご覧ください。

・各作品のデータは下記の順に記載した。

分類番号、作家名、生没年、作品名、技法材質／寸法、制作年／画面及び裏面書込、展覧会／文献、受入年度及び経緯

・1件が複数の作品からなるものの図版は、その中から1点を選択して掲載した



あ011-001

足立源一郎／ADACHI, Genichiro

1889-1973

婦人

油彩・キャンバス／60.5×50.0cm

／「Guen」(画面右下)

昭和63年度 購入



い001-005

飯田善國／IIDA, Yoshikuni

1923-

戦争A-鎮魂歌-思い出す人々

油彩・キャンバス、コラージュ／162.7×130.0cm

1955年／「1955 YOSHIKUNI」(画面左下)

展覧会：第2回8人の会絵画展(1955;村松ギャラリー)、再構成-日本のアヴァンギャルド1945-1965展(1985;オックスフォード近代美術館)、戦後美術の原像展(1988;いわき市立美術館)

昭和63年度 購入



い001-006

飯田善國/IIDA, Yoshikuni

1923-

戦争B-文明の没落

油彩・キャンバス, コラージュ/162.7×130.0cm

1955年/「1955 YOSHIKUNI」(画面左下)

展覧会: 第2回8人の会絵画展(1955; 村松ギャラリー), 現代美術の動向I-1950年代-その暗黒と光芒(1981; 東京都美術館), 再構成-日本のアヴァンギャルド1945-1965展(1985; オックスフォード近代美術館), 戦後美術の原像展(1988; いわき市立美術館)

昭和63年度 購入



い001-007

飯田善國/IIDA, Yoshikuni

1923-

目黒川夜景(1~4)

油彩・キャンバス/45.5~50.2×60.5~65.3cm

1953-55年

展覧会: (1)(2)飯田善國第3回作品展(1955; サエグサ画廊)

昭和63年度 作者寄贈



い013-001

石垣栄太郎/ISHIGAKI, Eitaro

1893-1958

裸婦素描(10点)

コンテ・紙/35.1~48.0×42.0~60.5cm

1920-50年頃

昭和63年度 購入



お007-007

岡田謙三/OKADA, Kenzo

1902-1982

幕合

油彩・キャンバス/130.8×97.3cm

1938年/「KENZO.38」(画面左下)

展覧会: 第25回二科展(1938; 東京府美術館), 岡田謙三展(1989; 富山県立近代美術館・目黒区美術館他)/文献: 美術新論13-9(1938.9)

昭和63年度 購入



お015-001

小川千麿／OGAWA, Senyo

1882-1971

風景(3点)

水彩・紙／(1)23.8×32.0cm, (2)19.5×17.4cm, (3)23.7×18.5cm

1913年頃／(1)「Frankfurt A/M T. Ogawa」(画面左下), (2)「Frankfurt A/M Juli 1913」, (3)「T. OGAWA」(画面左下), (3)「T. OGAWA 1913 SÈVRES」(画面右下)

昭和63年度 購入



き004-002

木下孝則／KINOSHITA, Takanori

1894-1973

川瀬夫人像

油彩・キャンバス／100.2×80.3cm

1938年／「T. Kinoshita」(画面右下)

展覧会:第2回一水会展(1938;東京府美術館)／文献:一水会史第1巻(1983;一水会)

昭和63年度 川瀬スミ氏寄贈



く005-008

国吉康雄／KUNIYOSHI, Yasuo

1889-1953

人物素描(両面)

木炭・紙／62.4×47.4cm

1912年／(表)「KUNIYOSHI」(画面右)

昭和63年度 購入



し008-001

白髪一雄／SHIRAGA, Kazuo

1924-

天機星智多星

油彩・キャンバス／134.0×274.5cm

1964年／「白髪」(画面左下)／裏面書込:「天機星 智多星[Tenkisei Chitasei] Kazuo Shiraga 1964」

昭和63年度 購入



し008-002

白髪一雄 / SHIRAGA, Kazuo

1924-

赤帝

油彩・キャンバス / 182.0×257.5cm

1967年 / 「白髪」(画面右下) / 裏面書込: 「赤帝」「Kazuo Shiraga 1967 白髪一雄」

昭和63年度 購入



た008-001

田崎廣助 / TASAKI, Hirotsugu

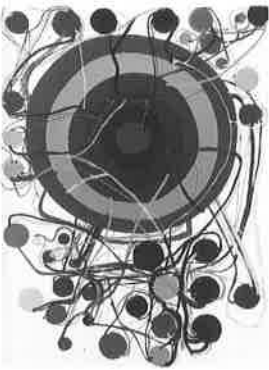
1898-1984

パリの初夏

油彩・板 / 23.7×32.9cm

1932-35年頃 / 「H. Tasaki」(画面右下)

昭和63年度 購入



た009-001

田中敦子 / TANAKA, Atsuko

1932-

62T

アクリル・キャンバス / 146.0×108.0cm

1962年 / 裏面書込: 「1962 Atsuko Tanaka」「62 ターゲット」

昭和63年度 購入



な007-001

中川紀元 / NAKAGAWA, Kigen

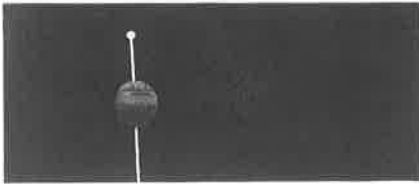
1892-1972

婦人

油彩・キャンバス / 143.8×59.2cm

1920年 / 「一九二〇, 巴里, 紀元」「NaKaGaWa」(画面左下)

昭和63年度 購入



は002-002

浜口陽三／HAMAGUCHI, Yozo

1909-

編み棒

メゾチント・紙／24.3×54.6cm(紙寸;51.8×76.2cm)

1985年／「71/150」(画面左下)「Hamaguchi」(画面右下)

文献:浜口陽三全版画(1985;Mギャラリー)

昭和63年度 購入



や001-002

矢崎千代二／YAZAKI, Chiyoji

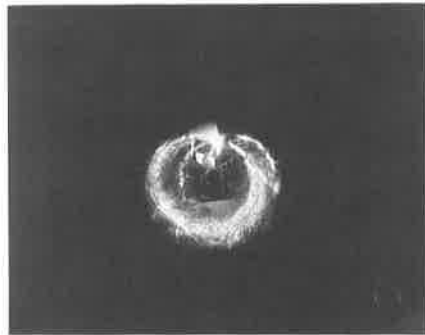
1872-1947

ロンドン橋

パステル・紙／60.3×45.3cm

1924年／「C. YAZAKI 1924」(画面右上)

昭和63年度 購入



や013-001

山中信夫／YAMANAKA, Nobuo

1948-1982

マンハッタンの太陽(9点)

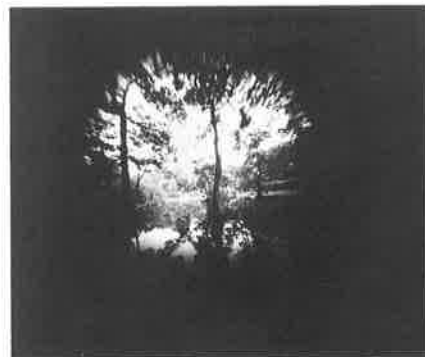
ピンホール写真・紙／20.4×25.4cm

1980年

文献:現代美術になった写真(1987;栃木県立美術館/N.Y.No.;42-6, 11, 13, 16, 17, 18, 19, 22, 32)

*作家によるオリジナルプリントのうち第5セット

昭和63年度 購入



や013-002

山中信夫／YAMANAKA, Nobuo

1948-1982

東京の太陽(7点)

ピンホール写真・紙／25.4~30.5cm×25.3~30.5cm

1980年-81年

文献:現代美術になった写真(1987;栃木県立美術館/N.Y.No.;43-3, 4, 8, 12, 15, 57, 65)

*作家によるオリジナルプリントのうち第5セット

昭和63年度 購入



い014-001

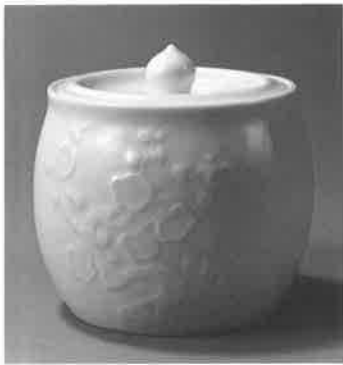
井高帰山(初代) / IDAKA, Kisan
1881-1967

観音経筒水指

径12.3cm, 高21.5cm

1953年

昭和63年度 購入



い015-001

井高帰山(二代) / IDAKA, Kisan
1927-

白高麗陽刻梅文壺

径14.0cm, 高13.5cm

1988年

昭和63年度 購入



か008-001

香取正彦 / KATORI, Masahiko
1899-1988

臙銀蝶文花器

径22.5cm, 高24.0cm

昭和63年度 購入



や011-001

安原喜孝 / YASUHARA, Yoshitaka
1936-

花挿「印刻文」

径82.0cm, 高47.0cm

1986年

展覧会: 第18回日展(1986; 東京都美術館他)

文献: 芸術研究報・作品集I(1989; 筑波大学芸術学系)

昭和63年度 購入



や012-001

安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

炆器花挿・種子の旅

径36.0cm, 高30.0cm

1967年

展覧会: 第10回日展・芸術院賞(1967; 東京都美術館他)

昭和63年度 購入



や012-002

安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

炆器線彫文花生

径31.0cm, 高27.0cm

1980年

展覧会: 第12回日展(1980; 東京都美術館他)

昭和63年度 購入



や012-003

安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

窯変青釉花生

径28.0cm, 高37.0cm

1935年頃

昭和63年度 安原春氏寄贈



や012-004

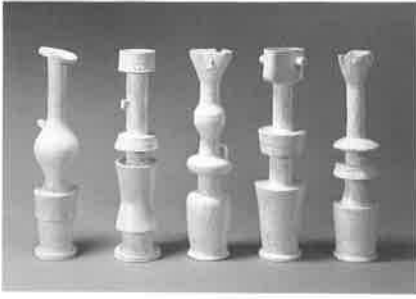
安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

窯変木葉文透彫盛器

径28.0cm, 高20.0cm

昭和63年度 安原春氏寄贈



や012-005

安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

五人の少女(5点1組)

径11.0~14.0cm, 高50.0~51.0cm

1962年

展覧会:第5回日展(1962;東京都美術館他)

昭和63年度 安原春氏寄贈



や012-006

安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

花器灰かむり焼

径33.0cm, 高40.0cm

昭和63年度 安原春氏寄贈



や012-007

安原喜明／YASUHARA, Yoshiaki

1906-1980

炝器多口瓶花挿

径20.0cm, 高41.5cm

昭和63年度 安原春氏寄贈



B001-001

ブルカルト, バルタザール／BURKHARD, Balthasar

1944-

無題／Untitled

写真, 鉄フレーム／165.5×80.8cm(1点), 165.5×131.0cm(2点)

1987年

*スイス現代美術家滞日90日展(1987-88;目黒区美術館)出品作の再構成

昭和63年度 作者寄贈



C001-001

カメージ, ジャンフレド / CAMESI, Gianfredo

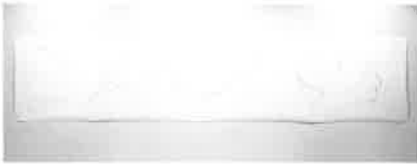
1940-

ラムダ, 精神—生命力学の空間 / LAMBDA, Espace Psycho-Biodynamique

ミックスメディア / 1944.0×320.0×162.0cm, 243.0×326.0cm

1987年

*スイス現代美術家滞日90日展(1987-88; 目黒区美術館) 出品作の再構成
昭和63年度 作者寄贈



E001-001

アイゲンヘル, マリアンヌ / EIGENHEER, Marianne

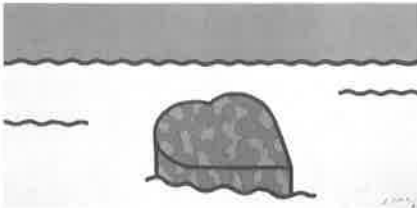
1945-

ドン・ジョバンニの微笑み / Il Sorriso di Don Giovanni

グアッシュ・紙 / 152.0×539.0cm, 152.0×492.0cm, 152.0×702.0cm

1987年

*スイス現代美術家滞日90日展(1987-88; 目黒区美術館) 出品作の再構成
昭和63年度 作者寄贈



S001-001

シュビゲール, レオン / SCHUBIGER, Léon

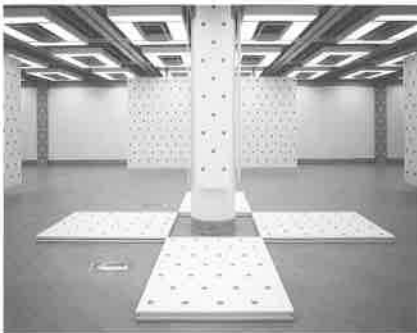
1936-

船酔い / Mal de mer

アクリル・綿キャンバス / 150.0×300.0cm(2点), 100.0×100.0cm(11点)

1987年

*スイス現代美術家滞日90日展(1987-88; 目黒区美術館) 出品作の再構成
昭和63年度 作者寄贈



T001-001

トローニ, ニエーレ / TORONI, Niele

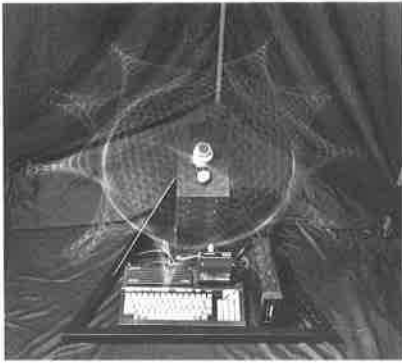
1937-

絵画の庭, 目黒区美術館, 東京, 1987 / Un jardin de peinture,
Meguro Museum of Art, Tokyo 1987

水性塗料, アクリル / 180.0×130.0cm(4点), 384.4×44.0cm(4点)

1987年

*スイス現代美術家滞日90日展(1987-88; 目黒区美術館) 出品作の再構成
昭和63年度 作者寄贈



ま002-001

松村泰三/MATSUMURA, Taizo

1964-

Space Cycloid

鉄, アルミニウム, モーター, LED, コンピュータ/80.0×110.0×110.0cm

1987年

展覧会: 第18回現代日本美術展(1987; 東京都美術館他) 大賞

寄託

その他の資料

1. フィルム、ビデオ等映像資料

(1) フィルム(昭和63年度までの収集資料)

No.	作品名	製作・企画	製作年	サイズ(mm)	種別	時間
1	包む	押切隆世 岡秀行	1980	16	カラー	28分
2	帝国ホテルにおけるシェルタープラン-ハイレッド・センター	城之内元晴	1969	16	モノクロ	18分
3	工藤哲巳-脱皮の記念碑	吉岡康弘	1970	16	モノクロ	20分
4	彫る 棟方志功の世界	美術映画協会	1975	16	カラー	38分
5	ガウディー	粟津潔	1978	16	カラー	45分
6	火の国	小野卓郎	1982	16	カラー	62分
7	くずれる沼-画家山下菊二	野田真吉	1972	16	モノクロ	45分
8	ハウス	チャールズ&レイ・イームズ	1955	16	カラー	10分40秒
9	パワーズ・オブ・テン	チャールズ&レイ・イームズ	1978	16	カラー	9分
10	トップス	チャールズ&レイ・イームズ	1969	16	カラー	7分15秒
11	トッカータ・フォー・トイ・トレイン	チャールズ&レイ・イームズ	1957	16	カラー	14分
12	パレード	チャールズ&レイ・イームズ	1952	16	カラー	6分
13	コミュニケーションズ・プライマー	チャールズ&レイ・イームズ	1953	16	カラー	23分30秒
14	2つのパロック協会	チャールズ&レイ・イームズ	1955	16	カラー	10分30秒
15	ラウンジ・チェアー	チャールズ&レイ・イームズ	1956	16	モノクロ	2分15秒
16	死者の日	チャールズ&レイ・イームズ	1957	16	カラー	15分
17	拡張する空港	チャールズ&レイ・イームズ	1958	16	カラー	9分30秒
18	2つの人形劇(IBM)	チャールズ&レイ・イームズ	1965	16	カラー	9分
19	アルファベット順のウエスティングハウス	チャールズ&レイ・イームズ	1965	16	カラー	12分
20	博覧会でのIBM	チャールズ&レイ・イームズ	1965	16	カラー	7分30秒
21	国立水族館	チャールズ&レイ・イームズ	1967	16	カラー	10分30秒
22	黒船	チャールズ&レイ・イームズ	1970	16	カラー	7分40秒
23	ファイバーグラス・チェアー	チャールズ&レイ・イームズ	1970	16	カラー	8分39秒
24	クラウンの顔	チャールズ&レイ・イームズ	1971	16	カラー	16分
25	アルファ	チャールズ&レイ・イームズ	1972	16	カラー	1分16秒
26	コンピューター・パースペクティブ	チャールズ&レイ・イームズ	1972	16	カラー	8分
27	SX-70	チャールズ&レイ・イームズ	1972	16	カラー	11分
28	デザイン	チャールズ&レイ・イームズ	1972	16	カラー	5分
29	コペルニクス	チャールズ&レイ・イームズ	1973	16	カラー	9分30秒
30	累乗の指数	チャールズ&レイ・イームズ	1973	16	カラー	3分6秒
31	代数の2つの法則	チャールズ&レイ・イームズ	1973	16	カラー	4分
32	ニュートンの法則	チャールズ&レイ・イームズ	1974	16	カラー	3分25秒
33	写真について	チャールズ&レイ・イームズ	1976	16	カラー	8分32秒
34	アメリカ1750-1800	チャールズ&レイ・イームズ	1976	16	カラー	26分25秒
35	フランクリンとジェファーソンの世界	チャールズ&レイ・イームズ	1976	16	カラー	28分30秒
36	ドーム	チャールズ&レイ・イームズ	1977	16	カラー	18分
37	メトロポリタン美術館のドガ	チャールズ&レイ・イームズ	1978	16	カラー	10分
38	セントルイス	チャールズ&レイ・イームズ	不明	16	モノクロ	2分
39	ミュージック・シークエンス	チャールズ&レイ・イームズ	不明	16	モノクロ	10分
40	アトラス	チャールズ&レイ・イームズ	不明	16	カラー	6分
41	デッド・シークエンス	チャールズ&レイ・イームズ	不明	16	モノクロ	5分
42	高山	高山登	1973	8	カラー サイレント	10分30秒 (オリジナル版) (16mm70-77版)
43	遊殺	高山登	1973	8	カラー サイレント	14分30秒 (オリジナル版)
44	遊殺イメージ	高山登	1973	8	モノクロ サイレント	36分 (オリジナル版)
45	水	高山登	1973	8	カラー サイレント	3分30秒 (オリジナル版)

No.	作品名	製作・企画	製作年	サイズ(mm)	種別	時間
46	川+イメージ	高山登		8	モノクロ&カラー サイレント	32分 (オリジナル版)
47	団地+水(遊殺)点展	高山登		8	モノクロ サイレント	不明 (オリジナル版)
48	戸塚スペース ドラマ・地下動物園	高山登		16	モノクロ サイレント	3分 (オリジナル版)
49	墓の歌(1)(2)	彦坂尚嘉	1967	8	モノクロ サイレント	7分 (8mm)プリント版 (16mm)70-77版
50	原野 I	長重之	1972	8	カラー サイレント	13分 (オリジナル版)
51	原野 II	長重之	1973	8	モノクロ サイレント	27分 (オリジナル版)
52	点展	長重之	1973	8	カラー サイレント	13分 (オリジナル版)
53	イヴェント'77	長重之	1977	8	カラー サイレント	30分 (オリジナル版)
54	Sumi no Hen	菅木志雄	1975	8	カラー サイレント	18分 (8mm)プリント版
55	There!(are)	菅木志雄	1974	8	カラー サイレント	7分
56	予兆<光>	榎倉康二	1976		スライド 100枚	エンドレス (オリジナル版)
57	肉・街・路(作業中)	藤井博	1972	8	カラー サイレント	14分 (オリジナル版)
58	肉・街・路(作業後)	藤井博	1972	8	カラー サイレント	5分30秒 (オリジナル版)
59	FRAGMENTS 1972-73	藤井博	1972-73	8	モノクロ サイレント	16分 (オリジナル版)
60	断片1972-73	藤井博	1972-73	8	モノクロ サイレント	11分30秒 (オリジナル版)
61	何処へ I, II	藤井博	1972-75	8	カラー サイレント	11分30秒 (オリジナル版)
62	1973・8 団地・無題A	藤井博	1973	8	モノクロ サイレント	7分 (オリジナル版)
63	KOSA-BUTUTEKINA	藤井博	1975	8	カラー サイレント	7分 (オリジナル版)
64	Graphilm	野村仁	1970	16	モノクロ サイレント	17分 (16mm)プリント版
65	Shoot 出来なかった時間は No Shooting のフィルムをはさむことによってカバー出来る	野村仁	1971	16	モノクロ サイレント	17分 (16mm)プリント版
66	腕を回す	野村仁	1971	16	モノクロ サイレント	17分 (16mm)プリント版
67	白の間 百科事典	羽生真	1973	16	カラー サイレント	20分 (オリジナル版)
68	陸と海	河口龍夫	1970	8	モノクロ サイレント	4分20秒 (16mm)70-77版
69	ある映画のプランの映画	河口龍夫	1971	8	モノクロ サイレント	10分 (16mm)70-77版
70	作品“5分”	八田淳	1970	8mm&スライド	モノクロ サイレント	5分 (オリジナル版)
71	No.720-No.727	八田淳	1972	8	モノクロ&カラー サウンド(テープ)	27分 (オリジナル版)

No.	作品名	製作・企画	製作年	サイズ(mm)	種別	時間
72	No.728-No.7214	八田淳	1972	8	モノクロ サウンド(テープ)	25分 (オリジナル版)
73	No.731-No.734	八田淳	1973	8	モノクロ サイレント	15分 (オリジナル版)
74	ターン・ザ・レフト	八田淳	1981	8	カラー サイレント	10分30秒 (オリジナル版)

(2)ビデオ(昭和63年度までの収集資料)

No.	作品名	製作・企画	製作年	サイズ(mm)	種別	時間
1	モノクロームの画家 イヴ・クライン	野田真吉		3/4		40分
2	YAYOI KUSAMA Performance '83.2.19 & Her Works	草間弥生		3/4		26分30秒
3	YAYOI KUSAMA Performance 1984	草間弥生		3/4		11分45秒
4	ART/New york No.1~24	Inner Tube Video		3/4		30分
5	国際紙会議 '83	国際「紙」会議 '83実行委員会		VHS		59分

2. ワークショップ教材(ティーチング・コレクション)

「なぜだろう」という疑問をもって、ものの成り立ちを知ることや、興味あるものを手にとって確認したいと思うのは潜在的な人間の心理であるが、情報と物の氾濫する現代社会においては、モノの本質へ目を向け、実物を自分の手で確認しながら、感覚を養う機会が少なくなっている。

美術館は実物や本物に出会える場であるが、単に観賞するだけでなく実際に手に触れて確認できる資料を揃えることも、触覚から美術へ導入する方法として効果的である。

当館のワークショップでは、楽しみながら学ぶことを基本として、ワークショップ活動の充実を図るために、ワークショップ専用の教材(ティーチングコレクション)の収集と企画制作を行っている。

見て触って遊べる作品、およびキットとして市販されているものの中で、特に造形性の高い内外のすぐれた構成玩具、作家に制作を依頼したオリジナル作品を対象とした収集。そして、ものとももの関係、ものと人間の関係についての理解を深め、優しさを知り、見方を広げるために、現代の生活のなかで見失われがちな素材の素朴な美しさに視点を置いた「素材見本」など4種のBOXの企画制作を行った。将来は、学校などの教育機関への貸し出しも検討していきたい。

昭和63年度までに収集した主な教材

(1)作品(ワークショップ開催意図にあわせて作家に制作を依頼した作品等)

作品名	作家名	制作年	素材	寸法(cm)
引き出し自動車	中川久嗣	1985	木	18.2×37.3×18.8
トレーラーと組み立て家屋	中川久嗣	1985	木	18.2×79.6×16.0
ミュゼット	中川久嗣	1985	木	11.0×16.0×9.0
デコイ	中川久嗣	1985	木	17.2×31.0×17.3
ひなとたまご	中川久嗣	1985	木	14.5×22.0×17.3
雪の結晶	遠藤裕	1984	木・ひも	16.0×16.0×16.0
K30(大)	遠藤裕	1984	木・ひも	21.0×21.0×21.0
K30(小)	遠藤裕	1984	木・ひも	20.0×20.0×20.0
ランビック・アニマル	遠藤裕	1983	木・ひも	6.0×25.0×13.5
キュービック・アニマル くま	梅田素博	1983	木	20.0×10.0×10.0
キュービック・アニマル だちょう	梅田素博	1983	木	25.5×10.0×10.0
TAMAGO-Protoceratopsidae	平野友一	1986	合成紙	10.2×22.3×11.0
TAMAGO-Teranosaurus	平野友一	1985	合成紙	22.0×21.0×14.5
ZIG WORLD	飛山裕幸	1986	木	30.0×31.0×31.0
自由への目論見	菅沼緑	1988	木	75.0×16.5×33.3
自由の種類	菅沼緑	1988	木	42.0×52.6×32.0

(2)構成玩具(限定市場的な内外のすぐれた構成玩具)

作品名	作家・デザイナー名	素材	寸法(cm)
触察ボードA～C	小黒三郎	木	23.5×26.7×28.0
30の動物	小黒三郎	木	23.0×24.5×38.0
バード・ツリー	福田繁雄	木	26.7×21.3×2.5
ハウス	福田繁雄	木	23.7×20.0×2.5
たまご	福田繁雄	木	22.0×15.8×2.5
51本の組木	山中成夫	木	25.0×25.0×25.0
19本の組木	山中成夫	木	14.0×14.0×14.0
赤玉	山中成夫	木	22.3×22.3×22.3
陶器のパズル(大)	有岡進	焼成土	10.0×11.0×11.0
陶器のパズル(小)	有岡進	焼成土	7.0×7.0×7.0

作品名	作家・デザイナー名	素材	寸法(cm)
吉本キューブ1〜3	吉本直貴	塩ビ板	5.0×5.0×5.0
いろいろな木の積み木	HOCCO	木	7.0×26.2×26.2
ネフ社 構成玩具 44種	クルト・ネフほか		
ダネーゼ社 構成玩具 13種	ブルーノ・ムナーリほか		

(3)BOX(各種見本箱)

ワークショップの展示をより深くほりさげていくために、美術への導入の一助となる見本箱を企画制作した。主に、表現の媒体となる素材や材料をとりあげ、それらと人間がいかに向き合ってきたかを考察するための補助資料として活用している。これは、素材や材料をならべて解説するという単なる見本ではなく、それぞれの表情や特質について、人々の興味と関心を促すため、デザイン性を重視した教材として開発した。

- ①絵画材料見本 制作：野村春光
- ②素材見本―木 制作：野村春光，横尾哲生
- ③素材見本―紙 制作：P-Work，友岡秀秋
- ④素材見本―金属 制作：川口勝利

外箱寸法 110.0×58.0×56.0cm

引き出し寸法 50.0×53.0×6.0cm

3. その他

「日本の伝統パッケージ」コレクション
(岡コレクション)

昭和63年に、岡秀行氏の企画協力により開催した、「5つの卵はいかにして包まれたか―日本の伝統パッケージ展」で集めた資料を収蔵した。資料リストは展覧会出品リストに準じる。



中川久嗣「デコイ」(ワークショップ教材)



素材見本―木 (ワークショップ教材)

V. 作品貸出

昭和58年度

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
クラマールの寺院	鈴木 良三	58.9.3-9.28	茨城県立美術博物館	昭和前期洋画の展開展	
ポンスフ	矢橋 六郎	58.11.19-11.27	大垣市教育委員会 大垣市文化会館	矢橋六郎展	
マルティック					
裸婦					
アルルカン					

昭和59年度

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
自画像	須山 計一	59.6.30-7.22	長野県信濃美術館	須山計一遺作展	
静物(素描)					
〃(〃)					
風刺画(素描)					
〃(〃)					
池袋板橋方面(素描)					
雑司ヶ谷墓地(素描)					
自画像(素描)					
裸婦(素描)					
石膏像(素描)					

昭和60年度

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
浴室の二人の女	坂田 一男	60.9.9-9.30	財団法人 東京都文化振興会 (東京都庭園美術館)	庭園美術館への誘い展	
風景	菅井 汲				
黒い手帖					
山	菅井 汲	60.9.27-11.26	国立国際美術館	絵画の嵐・1950年代アンフォルメル/具体美術/コブラ	
車中の少女	野田 英夫	60.10.7-11.5	信濃デッサン館	憂愁の日系画家 野田英夫展	
パリの公園	安井曾太郎	60.11.5- 61.5.15	神奈川県立近代美術館 三重県立美術館 朝日新聞社	パリを描いた日本人画家展 { 60.12.3-61.2.2 パリ市カルナバレ美術館 61.2.22-3.23 神奈川県立近代美術館 61.3.29-5.5 三重県立美術館 }	

昭和61年度

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
食卓	高島 達四郎	61.4.17-10.15	総合美術研究所	魅惑のパリ・巴里展 { 61.4.24-5.27 ブランタン銀座 61.5.30-6.22 長野県信濃美術館 61.7.23-8.10 ナビオ美術館 61.9.6-10.10 新潟市美術館 }	

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
車中の少女	野田 英夫	61.4.25-5.7	西武美術館 (西武百貨店)	埼玉の画人田中保をめぐって パリ=ニューヨーク	
蹄	海老原喜之助	61.5.1-8.15	熊本県立美術館 神奈川県立近代美術館 読売新聞社	海老原喜之助展 61.5.10-6.8 熊本県立美術館 61.6.13-6.25 小田急グランドギャラリー 61.7.5-8.3 神奈川県立近代美術館	
雪 景	里見 勝蔵	61.8.15-9.26	静岡県立美術館	開館記念展第3部 近代日本の洋画と西洋 -模倣と創造の一世紀	
浴室の二人の女	坂田 一男				
パリの公園	安井曾太郎				
狂暴な労働踊り	在田 綱	61.9.13-10.12	板橋区立美術館	東京の肖像 1920s	
悪化せる労働者	池田 永治				
不景気曰く「サア当分此処 へおちつこうかな」					
自画像	須山 計一				
素描“暴力団軍資金”	下川 四天				
銀座はうつる					
さえない亭主	岡本 唐貴				
都会	大月 源二				
先端にたつ女三態					
支那の民衆こそ災難だ	国吉 康雄	61.11.20-12.21	財団法人 東京都文化振興会 (東京都庭園美術館)	庭園美術館への誘い展III	
風景	田中 保				
金髪の裸婦	福沢 一郎				
大砲のある静物	高島達四郎				
少年青銅	岡 鹿之助	62.1.18-4.5	北九州市立美術館	草間彌生展	
信号台	草間 彌生				
無限の網B NO.1 鏡の部屋					

昭和62年度

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
新緑	今井 俊満	62.4.5-5.15	今井俊満展実行委員会 (大分県立芸術会館)	今井俊満展	
黒い太陽					
コンポジション					
時間層II	岩井 俊雄	62.6.1-8.12	埼玉県立近代美術館	現代のアイコン	寄託作品
羊飼いの	斎藤 豊作	62.7.28-10.10	埼玉県立近代美術館	斎藤豊作と日本の点描	
マルセユ	矢崎千代二	62.9.1-9.30	横須賀市	矢崎千代二回顧展	
浴室の二人の女	坂田 一男	62.9.22-10.29	岐阜県美術館	閉館5周年記念展 日本洋 画の青春-大正の光と影-	
雪景	里見 勝蔵				
フランス風景	児島善三郎	62.10.22-12.10	大分県立芸術会館	閉館10周年記念 日本近代洋画の歩み	
風景	国吉 康雄				
肉屋	清水 登之				
アグニューオッシュ	鹿子木孟郎				
ひなとたまご	中川 久嗣	62.7.12-8.30	栃木県立美術館	彫刻動物園	ワークシ ョップ教材
デコイ	〃	〃	〃	〃	

昭和63年度

作 品	作 者	期 間	貸 出 先	展 覧 会 名	備 考
先端にたつ女三態	岡本 唐貴	63.3.24-11.30	東京都美術館 愛知県美術館 山口県立美術館 兵庫県立近代美術館 朝日新聞	1920年代・日本展 63.4.9-6.5 東京都美術館 63.6.19-6.29 愛知県美術館 63.7.15-8.21 山口県立美術館 63.10.15-11.23 兵庫県立近代美術館	
時間層II	岩井 俊雄	63.4.29-5.25	〇美術館	アニメ進化論 日本の実験アニメの現在	寄託作品
金髪の裸婦	田中 保	63.7.25-10.15	埼玉県立近代美術館	1920-30年代 ラブソディ・イン・パリ -田中保をめぐる画家たち-	
眼鏡の婦人	中村 義夫				
黒いカーディガンの女					
緑衣の女					
時間層II	岩井 俊雄	63.8.17-2.10	グループ・アールジュ ニ (台湾省立美術館)	日本国尖端科技芸術展	寄託作品
浴室の二人の女	坂田 一男	63.10.15-12.11	倉敷市立美術館	第2回郷土作家展 坂田一男展	
あやす	中村 義夫	63.11.9-11.22	財団法人 赤穂市文化振興財団 (赤穂市民会館)	中村義夫 洋画遺作展	
取入れ					
少憩					
村の教会					
ブルターニュの女					
眼鏡の婦人					
土塀					
遺品(パレット・絵筆)					
クラマールの寺院	鈴木 良三	元2.17-6.25	茨城県立近代美術館	生誕100年記念 中村彝・中 原悌二郎と友人たち展	
モレーの寺院					
素描10点	南 政善	元2.16-9.10	石川県立美術館	南政善回顧展	

VI. 調査研究

アトリエ撮影

※(例) 件名
撮影年月日
所在地
撮影者
フィルム等種別
内容の順で記載。

高島達四郎——赤坂アトリエとゆかりの神田周辺

1984(昭和59)年5月19日 赤坂アトリエ

1984(昭和59)年6月 神田周辺

赤坂アトリエ及住居

(東京都港区赤坂8-10-36)

松原 濠

35mm カラーポジ

赤坂 19枚 } 計30枚
神田 11枚 }

高島達四郎(1895-1976)は、神田に生まれた。1921年から28年まで滞仏、その後も渡欧を重ねた。独立美術協会の創立に参加。毎日美術賞を受賞。日本では熱海のアトリエでの制作が多かったが、没後は原形をとどめないものとなり撮影は不可能であった。赤坂は自宅の一室をアトリエにあてたものであるが、都心とは思えないような静かな住宅街にあり、広い庭には作家がフランスで拾った種から育ったというマロニエの大木や草花が植えられている。作家はこの庭でよくスケッチをした。アトリエや居間には、自ら焼いた器や、ヨーロッパの思い出のこもった品々が並び、作品に見られる素朴で温かな雰囲気のある場である。また、生まれ故郷、神田の古いたたずまいを残す街並も作家を知る手掛かりとなるだろう。

菅井 汲——パリのアトリエと制作風景

1987(昭和62)年2月15日

菅井汲のパリのアトリエ及住居

91, rue de l'Amiral Mouchez 75013, Paris

田原 桂一

ブローニー判カラーポジ 15枚

菅井汲(1919-)は、神戸市に生まれる。1952年にパリにわたってから殆どの時をこの地で過ごしてきた。アミラル・ムーシェにあるこのアトリエ兼住居は、小さな庭のある光のある空間で、菅井の制作の基本的な姿勢を感じられるようなつくりになっている。また、制作中の緊張感あふれた作家の表情をとらえたフィルムは、貴重な資料となるだろう。

清野 恒

1985(昭和60)年10月18日, 19日

川崎市多摩区東生田3-9-21

小野百合

35mm カラーポジ 75枚

ぐるくるビル

1985(昭和60)年12月28日(土)

中央区新川1-3

森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚

35mm カラーポジ 34枚

キャビネ モノクロプリント 4枚

ビデオアーティストの江本祐一郎、川口真央らが中心となって、川口育代、吉沢美香、橋本曜子、高木きっこ、柳沢美子、菊地浩之、篠あゆみら現代美術の作家がアトリエとして、音楽のFANTI、ビデオのSCANNING GROUPがスタジオとして使用。美術以外のジャンルの表現者が参加していたことがこのアトリエの特徴のひとつ。大正時代の石造りの銀行跡で、借用時は投資関係の業界新聞社が所有。1983年7月に賃貸契約、1985年12月に再契約ができず閉鎖。家賃は25万円(閉鎖時には28万円)で、家賃諸雑費納入者計14名でひとり2~3万円を負担。場所は地下鉄茅場町から徒歩で数分。

0938 Co.

1986(昭和61)年1月9日(木)

練馬区早宮2-26-25

森岡 純

4×5 カラーポジ 2枚

35mm カラーポジ 28枚

キャビネ モノクロプリント 2枚

岡崎乾二郎、伊藤誠、菊地敏直、門脇昭弘がアトリエとして、京都在住の佐川晃司が作品倉庫として使用。元は大阪にある電気会社の工場。1983年9月から11万円で賃貸。家賃は居住メンバーとアトリエ使用のみのメンバーとにわけて頭割り。地下鉄有楽町線で池袋から10分、徒歩で5分ほどの住宅地のなかに所在。1989年に取り壊しのため閉鎖。

石彫工房 STUDIO 306

1986(昭和61)年1月21日(火)

町田市三輪2036

森岡 純

4×5 カラーポジ 2枚
35mm カラーポジ 11枚
キャビネ モノクロプリント 2枚

高橋朗, 小林達也, 武田守弘, 柿崎博孝, 丸山武男らの玉川大学出身者のほか人首康二, 小松恒敬が石彫のアトリエとして使用。1981年から1年毎の契約更改。家賃5万5千円, ひとり約1万円負担, 月々7万円で全体を運営。元は養鶏場。小田急線鶴川駅から徒歩で10分余りに位置し, 周辺は住宅造成地。

アトリエ TORIGOYA

1986(昭和61)年1月21日(火)

町田市三輪2036

森岡 純

4×5 カラーポジ 2枚

35mm カラーポジ 29枚

キャビネ モノクロプリント 2枚

池ヶ谷肇, 大村益三, 桜井智章, 吉川陽一郎, 花井重信, 栗原勉, 石黒和夫, 佐佐部潮。主に多摩美術大学出身の現代美術の作家たちが1982年頃から使用。石彫工房と同じ元養鶏場内に所在。家賃7万5千円。ひとり約1万円の負担で全体運営。

ワークショップ モノレール大船駅

1986(昭和61)年2月6日(木)

神奈川県横浜市戸塚区笠間町1080

森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚

35mm カラーポジ 35枚

キャビネ モノクロプリント 4枚

藤原吉志子, 塩田明仁, 波田紘子, 藤山貴司の4名がアトリエとして, また「オルタナティブ・アート・スペース・モノレール大船駅」の名前で作品公開の場として使用。横浜ドリームランドと大船駅とを結ぶモノレールが運行中止になり廃墟となっていた駅の管理を肩代わりし, 1984年から無料で使用。老朽建築物のため改修などで, 一人あたさま月約4万円の負担。トイレ, 待合室, 駅事務室をアトリエに, 改札口から階段, プラットホームを展示場として使用。その他映画, パフォーマンスなどのさまざまなイベント, 近隣の子供向けのワークショップなどを活発に行う。大船駅周辺の再開発で近く閉鎖予定。

CONCEPT SPACE

1986(昭和61)年2月9日(日)

群馬県渋川市石原301

森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚

35mm カラーポジ 31枚

キャビネ モノクロプリント 2枚

福田篤夫, 田中律子, ヨシオウ・マエジマが運営。共同アトリエというよりも居住空間をギャラリー化した空間。都会では制作の場を確保することに困難が伴うのに対して, 地方では作品を発表する場ないしは現代美術に触れる場が極めて少ないために設置。福田の居住空間である長屋の6畳, 4畳半と前庭を発表の場とし, 彼自身を含め, ロジャー・アックリング, カール・アンドレといった海外作家から, 原口典之, 剣持和夫, 若林奮らの現代美術の作家の企画展を組み合わせる。最近, 高崎美術学院が新たに「CONCEPT SPACE R2」を高崎市内に開廊し, 連携しての活動を行っている。また渋川野外彫刻展をトリエンナーレとして開催する主体でもある。

アトリエ 53

1986(昭和61)年2月22日(土)

八王子市下恩方町2176

森岡 純

4×5 カラーポジ 5枚

35mm カラーポジ 33枚

キャビネ モノクロプリント 5枚

大塩博美, 柚木浩一, 大塩のぶこ, 菅原孝之, 片桐俊文, 佐藤久一, 野村俊幸, 古川仁史, 大木道夫, 日下正彦のほか画家松本陽子加わり, 共同アトリエとして使用。以前は紡績工場であった。月の負担は家賃・電気代などでひとり1万1千円。高尾駅から車で10分。場所柄, 多摩美術大学と東京造形大学出身者が中心。

SQUATTER'S HOUSE GALLERY

1986(昭和61)年7月17日(木)

千葉県我孫子市白山1-23-21

森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚

35mm カラーポジ 50枚(内, 千崎千恵夫アトリエ 24枚)

キャビネ モノクロプリント 4枚

島久幸, 沼尻昭子, 轡孝之, 小林康志が使用, アトリエに近い千崎千恵夫も関係するなど芸大関係者が中心。庭をはさんで島・沼尻夫妻が住む家, ギャラリーとふたつのアトリエにわかれる。前者が家賃3万円, 後者が6万5千円。アトリエで開く美術教室の月謝で運営。場所は常磐線我孫子駅から徒歩5分ほどの閑静な住宅街のなか。現在, ギャラリー活動は休止している。

アトリエ O

1986(昭和61)年7月25日(金)
埼玉県川越市石原町2-69-1
森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚
35mm カラーポジ 40枚
キャビネ モノクロプリント 4枚

川島清,長谷宗悦,エサントモコの芸大出身者が使用。
1986年1月から,月15万円,4年間の契約。以前はベニヤ
会社の倉庫付出張所,80坪。アトリエとしてばかりでなく,
川島,長谷の作品保管倉庫の色合いが濃い。その後,メン
バーに入れかわりがあったが1990年で契約切れとともに
閉鎖。

工房 北

1986(昭和61)年11月27日(木)
埼玉県飯能市下畑18
森岡 純

4×5 カラーポジ 3枚(内,西雅秋アトリエ 1)
35mm カラーポジ 50枚(内,西雅秋アトリエ 18枚,遠
藤利克アトリエ 4枚)
キャビネ モノクロプリント 2枚

青木野枝,加茂哲,安達裕,野田久美子。いずれも鉄筋な
どの金属を中心に制作する作家。元は養鶏場。場所は東
京都青梅市と埼玉県飯能市の県境。あわせて近くの西雅
秋のアトリエと所沢の遠藤利真のアトリエも撮影した。

松戸造形工房

1987(昭和62)年2月8日(日)
千葉県松戸市大橋876
森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚
35mm カラーポジ 37枚
キャビネ モノクロプリント 4枚

八百板力,永登基紀,平戸貢見,加藤宇章,遠藤晃
子,蜂谷和郎,小田部黄太,藤岡孝充,村田栄一郎,
村田明宏,梅原加弥乃の11名。芸大出身者が中心。
家賃6万円,ひとり月7千円の負担。83年9月頃から借り,
翌年10月,正式に共同アトリエとしてオープン。

山岸鋳金工房

1987(昭和62)年2月11日(木)
武蔵村山市岸110-10
森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚

35mm カラーポジ 37枚
キャビネ モノクロプリント 4枚

高橋祐二,黒川弘毅,山崎豊三ら東京造形大学出身者が
中心。彫刻家の山岸伸一を社長とする作家7~8人の会社
組織である。撮影時には,堀内正和や遠藤利克の作品が
铸造中であった。

IAF 藝術研究室

1987(昭和62)年3月4日(水)
福岡県福岡市中央区薬院3-7-19
森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚
35mm カラーポジ 51枚
キャビネ モノクロプリント 4枚

山野慎悟,江上計太,宮本初音,山中理恵,キンタロ,
渡辺宏を中心とする「第2の九州派」IAFの共同アトリエ。
家賃5万円,ひとり5千円負担。経費不足分は版画と絵画の
教室,広告デザインなどをあてて運営。制作のみならず福
岡の若手作家,学芸員,評論家らの研究会の場になって
いる。福岡市内でさまざまな展覧会を企画し,全国の作家
を招待,あるいは全国の展覧会に参加するなど,美術関係
者との広範かつ多様なネットワークを有している。

スタジオ バンクハウス

1987(昭和62)年8月30日(日)
埼玉県坂戸市青木77の2
森岡 純

4×5 カラーポジ 4枚
35mm カラーポジ 33枚
キャビネ モノクロプリント 4枚

松本雅之,渡辺紳二,新谷一郎,坂野弘政,土屋穰,鶴谷
恵三,三木勝,大島彰,宇野女公平,西村茂夫,尾関まゆ
みがメンバー。芸大,多摩美,造形大,日大芸,愛知芸大
などの卒業生が,元農業倉庫を83年頃から共同アトリエと
して使用。家賃12万円,ひとり1万2千円の負担。東武東上
線若葉駅から車で約10分の田畑に囲まれて所在。

アトリエ ジャンクハウス

1987(昭和62)年9月7日(月)
川崎市多摩区中の島779
森岡 純

4×5 カラーポジ 3枚
35mm カラーポジ 20枚
キャビネ モノクロプリント 3枚

アトリエ撮影時には井口大介,内倉ひとみ,米満泰彦,下向

恵子、海撥準一が使用。開設は1980年で当時のメンバーは、芝章文、森田匡彦、井上正昭、嶋正悟ら。元は運送会社の倉庫。南武線中野島駅から徒歩5分。家賃は8万円で、ひとり1万6千円負担で運営。

アトリエ 柿の里

1987(昭和62)年9月3日(木)
神奈川県横浜市緑区寺家町504
森岡 純
4×5 カラーポジ 4枚
35mm カラーポジ 63枚
キャビネ モノクロプリント 4枚

諸泉茂、内田みどり、青木恵子、武田由宇、泉久美子の多摩美術大学出身者を中心に、久保田信一、山崎哲哉、相田朋子らで運営。家賃10万円、一人の負担1万4千円。以前は「焼肉 柿の里」という野外バーベキューレストランとして使われていたところ。石彫、現代美術、陶芸の共同アトリエとして機能。

星崎孝之助

1986(昭和61)年11月7日(金)
神奈川県中郡大磯町西小磯287
森岡 純
4×5 カラーポジ 4枚(内、作品2枚)
ブローニー判 カラーポジ 22枚(全点作品)
35mm カラーポジ 62枚(内、作品20枚)
キャビネ モノクロプリント 4枚

星崎孝之助は1928年に渡仏。オステルリン、ブラックに師事した作家。1931年からアンデパンダン展に出品。戦中もフランスにとどまった7人の日本人のひとりであったという珍しい滞仏体験を有している。戦後シュールレアリスムに転じ、1965年に帰国。今回写真記録として撮影したのは、フランスでの居住体験に基づいて、星崎自らが設計したアトリエ兼自宅である。現在も二紀会委員として活躍中。

川端弥之助

1984(昭和59)年5月23日
京都市左京区聖護院中町5
中村 泰
35mm カラーポジ 74枚

川端弥之助(1893—1981)は京都生まれ。慶応大学卒業後、関西美術院に学び渡仏。春陽会を舞台に長く活躍し、京都市立芸術大学で後進の指導にあたった。アトリエは聖護院うらの閑静な住宅街の中、1925年にフランスから帰国直後の作家自身のプランによる南仏ふうのもの。すみずみ

まで神経の行き届いた美しい建物である。撮影にあたっては往時の写真を参考に、作家の身の回りの品々を数多く写しこんだ。

矢橋六郎

①1985(昭和60年)7月11日、②1985(昭和60年)7月30日
①大垣市赤坂町1956、②(山中湖周辺)
大橋治三
①35mm カラーポジ 58枚
②35mm カラーポジ 13枚

矢橋六郎(1905—1988)はモダンアート協会の創立以来のメンバーとして長く活躍した。撮影は作家の自宅、山中湖の別荘とその周辺でおこなった。家業である石材業に自身も携わっていた関係もあり、矢橋は多くの建築物にすぐれたモザイクを残しているが、本撮影ではその制作場をまじえて、晩年近い作家の穏やかな風貌をとらえることとなった。

岡田謙三

①-A1983(昭和58)年6月24日 ①-B1984(昭和59)年8月1日
②1985(昭和60)年2月8日
①目黒区自由が丘3-17-11、②伊東市浮山
①松原 濠 ②大辻清司
①-A35mm カラーポジ 44枚
①-B35mm カラーポジ 34枚
②35mm カラーポジ 56枚

岡田謙三(1902—1982)は、戦後のニューヨークを舞台に活躍、独特の情感あふれる抽象でアメリカを代表する作家のひとりとなった。岡田と目黒区のゆかりは深く、戦前から自由が丘に住み、後年もアメリカと日本を往復しながら、自宅と伊豆のアトリエで制作が続けられた。ここではこの作家独特のエスキースや身の回りの品々を数多くまじえて、生前の作家をとりまく雰囲気伝えることを意図した。

森川 昭

①1984(昭和59)年9月11日、②1985(昭和60)年2月8日
目黒区南1-7-11
①松原 濠 ②大橋治三
①②計35mm カラーポジ 96枚

森川昭(1927—1979)は目黒区生まれ。52歳の若さでなくなるまで、目黒区内に住み制作を続けた。ここでは、今なお多くの作品が残るアトリエを細部まで撮影して、この作家の地味だが着実な仕事の足跡を記録した。

中村義夫

1985(昭和60)年2月20日

奈良市高畑大道町1247

中村 泰

35mm カラーポジ 108枚

中村義夫(1889—1957)は兵庫県赤穂市生まれ。東京美術学校をへて、1921年渡仏。アマン・ジャンに師事し、5年間をフランスで過ごしたが、帰国後はほとんど画壇と没交渉のうちに制作を続けた。アトリエのある中村邸は1928年に足立源一郎から譲り受けたもので、フランス風のたたずまいが魅力的。東隣は有名な志賀直哉邸で、作家もよく出入りしていたという。撮影にあたっては、家具等を移動して当時の雰囲気を極力復元した。

佐伯祐三

1985(昭和60)年12月4日—5日

新宿区中落合2-4-21(区立佐伯公園)

山崎一郎

6×6 カラーポジ 36枚

4×5 カラーポジ 10枚

佐伯祐三(1898—1928)といえばフランスでの激しい制作と死が思い浮かぶが、1921年から1927年にかけては下落合で制作を続け、周辺の風景など多くの秀作を残している。アトリエは現在、区立の「佐伯公園」として保存されているが、この撮影は保存が本格的に行われる前の貴重なもの。現在は取り壊された米子夫人の住んだ日本家屋の姿を含み、そのすべてを住宅写真のスペシャリストの手によって、自然光のみの長時間露出でとらえた。

VII. 刊行

1. 刊行物

目黒区美術館は美術館活動の周知、広報を目的とした美術館ニュース「ピリエ」を発行した。ピリエ(Piliers)はフランス語のPilier(「柱、支柱」また「支柱となる人、物」)の意味で、当館のエントランスホール正面にある4本柱、そして美術館のマークとも関連を持つ。

美術館ニュース「ピリエ」

第1号 1987年3月25日発行

サイズ：A4

ページ数：4p

第2号 1987年11月15日発行

サイズ：A4

ページ数：4p

目黒区美術館所蔵作品目録

1988年3月31日発行

サイズ：B5

ページ数：108p

目黒区美術館所蔵作品選

(「所蔵作品展 I —— 意味のたし算」を参照)



ピリエNO.1



ピリエNO.2



所蔵作品目録

2. マーク

目黒区美術館は、次のような趣旨のもとに昭和60年8月マークを制定し、ヴィジュアルイメージの統一をはかることとした。デザインは矢萩喜従郎氏に依頼し、その寄贈を受けた。

1) 目的

美術館のヴィジュアルイメージを統一するためにマークを制定する。

2) マークの使用

- (1)美術館が制作するポスター、パンフレット、年報、図録をはじめ封筒、案内状、通知状、入場券など外部向けのすべての印刷物。
- (2)館内のサイン計画、展示デザイン(看板など)。
- (3)作品カード、作家調書、作品シールなど内部的書類。

3) 期待される効果

- (1)区民に身近な美術館をめざす当館のヴィジュアルイメージを明確にすることで「生活の中の美の領域であるデザイン」に係る教育普及的な効果が期待できる。
- (2)館のイメージを明確なものとし、事業展開に対する関心を高める。
- (3)品位ある優れたデザインにより美術館の国際的評価および目黒区の芸術文化行政に対する評価を高める。
- (4)内部書類をファイリングシステムとも兼ねあいをもたせ整理し、職員のモラルの向上をうながす。

4) デザインの意図

- (1)目黒区(Meguro-ku)のMとMuseumのMをデザインする。
- (2)建物の象徴的な部分である1階の4本の柱をデザインに取り入れる。
- (3)近代美術や現代美術を新鮮な見方で見つめ直し、未来を見通せる美術館をあらわす。
- (4)いろいろなどころで使用できるように(色をつけたり縮小、拡大が容易なように)シンプルで品格のあるデザインとする。



Meguro Museum of Art, Tokyo
目黒区美術館

VIII. 区民ギャラリー

昭和63年度

名 称	期 間	延 日 数	主 催 者	入 場 者 数
NINiN TEN 88-二人展-	4.1-4.5	4	南順子・岩田希美	100
晴れときどき嵐	4.2-4.10	8	東京芸術大・多摩美術大 有志	530
ワシントン州女流画家展	4.6-4.10	5	芸術海外交流会	145
現代いけばな展-それいけいけばな花の11人-	4.13-4.17	5	代表 伊藤和彦	400
静安学舎書法作品展	4.20-4.24	5	静安学舎	451
目黒区・貴州省友好書法家展	4.27-4.29	3	目黒区	500
日本の美展	5.3-5.8	6	目黒国際交流協会	272
メヒコ・イマジュネーション	5.10-5.15	6	神作文夫	428
神作文夫+忍TOBITA+メヒコの現代画家展	5.17-5.22	6	萌画会・木洋会	395
彫刻5人展	5.24-5.29	6	代表 小宮山結花	193
HANGAISHOW IN MEGURO	5.24-5.29	6	半谷 学	200
半谷 学展	5.24-5.29	6	半谷 学	200
池坊緑葉式花展	6.3-6.5	3	篠塚春月	456
第7回テキスタイル作品展	6.8-6.12	5	東京テキスタイル研究所	400
第3回サロン・ド・フィナル展	6.18-6.26	8	サロン・ド・フィナル	300
13オーム武蔵野美術大学	6.28-7.3	6	武蔵野美術大学	248
視覚伝達デザイン科13人展	6.28-7.3	6	視覚伝達デザイン科	248
東京造形大学有志展	7.6-7.17	11	東京造形大学	786
したい見たい聞きたい	7.19-7.24	6	TSA	147
田山健司 徳久圭展	7.20-7.31	11	田山健司, 徳久圭	180
電解質	7.26-7.31	6	多摩美術大学	100
第22回日本書学館共栄書道展	8.2-8.7	6	日本書学館	580
立山正一展	8.9-8.21	12	立山正一	701
第2回「9期の会」展	8.23-8.28	6	9期の会	210
多摩美術大学学生三人展<種の機嫌>	8.23-8.28	6	多摩美術大学有志	200
アメリカ盲人芸術家の造形展	9.3-9.25	20	目黒区	1,530
駒画会展	10.7-10.16	9	駒画会	232
ステップ I IN TEXTILE	10.8-10.16	8	武蔵野美術大学 卒業生・在校生	250
数あるカジュアル展 VOL.V	10.18-10.23	6	数あるカジュアル会	213
六人衆	10.25-10.30	6	当間裕子外5名	210
ヘヴィ・ビューティ・クリニカル	10.25-10.30	6	兵頭浩章外5名	200
第4回墨洋書展	11.1-11.3	3	橋本忠四郎	387
華道山月いけばなグループ展	11.2-11.3	2	MOA	250
第4回全日本高等学校書道公募展	11.4-11.6	3	日本書道専門学校	155
菊池尚武 水	11.8-11.19	11	菊池尚武	220
IN VISIBLY AHEAD	11.8-11.13	6	小林潔史外2名	230
βの彩展	11.15-11.19	5	國学院大学2部美術研究 会	160
ユネスコ美術展	11.22-11.27	6	目黒区	418
バングラディッシュ現代美術展	12.2-12.10	8	目黒区	1,500
MODO~9のかたち~	12.13-12.18	6	武蔵野美術大学 工芸工業デザイン科	166

名 称	期 間	延 日 数	主 催 者	入場者数
GOTH-美術・音-	12.20-12.25	6	高瀬伸也・竹原健志	180
ウルフェノメーン	1.6-1.11	5	久保田正巳外4名	100
第1回コンテンポラリーアート研究展	1.6-1.21	14	コンテンポラリーアート エキスポ協会	250
コンテンポラリーアート協会USA報告展	1.24-1.29	6	小原由嗣外4名	350
視覚への領域	1.24-1.29	6	佳徳会	149
佳徳展	1.24-1.29	6	佳徳会	149
東京造形大学卒業制作展	3.1-3.12	11	東京造形大学 造形学部美術学科1類	393
東京造形大学テキスタイルデザイン卒業制作展	3.14-3.19	6	東京造形大学染・織専攻 有志	300
めぐろ秀景55写真展	3.22-3.26	5	目黒区	350
第10回フィナール詩展	3.28-4.2	6	青木慎平	627
計 47回		316		16,742

IX. ボランティア

社会経済情勢の変化に伴う余暇時間の増大や価値観の多様化などにより、芸術文化活動に対して住民の寄せる期待は大きい。このような状況の中で、美術館を通じた社会的奉仕活動を希望する人々が多く存在してきている。特に、地域に密着した区レベルの美術館においては、生涯学習・社会教育的意味におけるボランティア活動には、住民ニーズの把握や美術文化の地域への波及効果などが期待できる。地域における美術活動の活性化やレベルアップに対し、美術館として積極的な関わり合いを推し進めるためにも、ボランティア活動を強力に援助していかねばならない。

- | | |
|---------------------------------|-----------------------------|
| (1) 募集 | 昭和63年度 |
| 「広報めぐろ」62年10月15日号に募集記事を掲載。 | 「飯田善國展」ワークショップ聴講 |
| (2) 応募者数 | 5月21日 「円盤の5月ー肉体ピン」 |
| 男性2名、女性84名。全員について受け入れた。 | 5月29日 「フリートーキングーひとー存在ーコスモス」 |
| (3) 活動内容 | 6月5日 「飯田善國による飯田善國ー独行者の自画像」 |
| 1. 会場監視(昭和62年度のみ) | 「高島野十郎展」フリートーク聴講 |
| 2. ラウンジの運営(昭和62・63年度は準備段階) | 7月31日 川崎浹、西本匡伸 |
| 3. 展覧会の広報活動 | 8月7日 窪島誠一郎、米倉守 |
| 4. 郵送作業等の補助 | 14日 中沢新一、松枝到 |
| 5. 研修講座の受講および自己研修 | 28日 大島清次、田中日佐夫 |
| 6. その他 | 学芸員によるおしゃべり美術館 1・2 |
| (4) 年間活動記録 | 12月24日 「絵画を読むー描かれた月」 |
| 昭和62年度 | 25日 「美術館論入門ー今年の美術館界を振り返って」 |
| 昭和62年11月6日 応募者に対する説明会 | (学芸員)正木基 |
| 11月14日 開館記念式典場内整理補助 | |
| 11月15日ー30日 会場監視 | |
| 昭和63年度 | |
| 昭和63年 5月9日 「飯田善國展」 | |
| 内覧会会場係補助 | |
| 6月10日 「インド現代美術展」 | |
| 内覧会会場係補助 | |
| 6月25日 ラウンジ開業に対するアンケート実施 | |
| 10月8日 「日本の伝統パッケージ展」 | |
| 内覧会会場係補助 | |
| 11月18日 「レオナルド・フジター絵と言葉展」 | |
| 内覧会会場係補助 | |
| 平成元年度 | |
| 2月10日 「目黒区の美術家展」 | |
| 内覧会会場係補助 | |
| 3月9日 ラウンジ開業準備会 | |
| 3月5日 「須山計一展」 | |
| 内覧会会場係補助 | |
| (5) 研修会等 | |
| 昭和62年度 | |
| 展覧会鑑賞会 | |
| 1月29日 「所蔵作品展 Iー意味のたし算」 | |
| (学芸員)山田敦雄 | |
| 3月11日 「美術史探索学入門美術館時代が掘り起こした作家達」 | |
| (学芸員)正木基 | |

I. 沿革

- 昭和45年 長期計画基本構想で「芸術文化の振興の拠点として総合文化施設の設置」を決定
- 昭和54年 長期計画実施計画で「美術館の設置」を決定
- 昭和54年12月 美術館開設準備室設置
- 昭和55年 3月 目黒区美術博物館建設検討委員会設置(名簿別記)
- 4月 「東京都目黒区博物館資料取得基金条例」施行
- 昭和56年 1月 目黒区美術博物館建設検討委員会答申
「目黒区が建設する美術博物館の基本構想のあり方について」
- 3月 目黒区美術館博物館建設専門委員設置(名簿別記)
- 4月 目黒区美術博物館(仮称)設置の方針策定
- 11月 目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱を制定
- 昭和57年 2月 博物館併設構想から美術館単独構想へ変更
- 3月 第一回資料収集委員会開催—資料収集を開始
- 10月 区制施行50周年記念事業に位置づけ
- 昭和59年 2月 目黒区美術館(仮称)基本構想策定(58年6月策定開始)
- 10月 目黒区美術館(仮称)基本設計策定
- 昭和60年 3月 目黒区美術館(仮称)実施設計策定
- 6月 目黒区美術館開設準備委員・臨時委員設置(名簿別記)
- 8月 目黒区美術館開設準備顧問就任
目黒区美術館マーク制作
- 11月 「プレビュー・目黒区美術館」展開催(11/12—11/17)
- 12月 目黒区美術館(仮称)新築工事起工式(12/12)
- 昭和61年 7月 美術館管理運営の財団委託方針決定
- 9月 「プレビュー・目黒区美術館2」展開催(9/9—9/15)
- 12月 目黒区美術館(仮称)新築工事定礎式(12/5)
- 昭和62年 3月 「目黒区美術館条例」公布
- 4月 目黒区美術館新築工事落成式(4/14)
- 10月 財団法人目黒区芸術文化振興財団設立(10/1)
- 11月 目黒区美術館開館(11/15)

目黒区美術博物館建設検討委員名簿

(順不同、役職は在任当初のもの)

朝日 晃	東京都美術館事業課長
渥美 澄子	目黒区成人学校自主グループ会員
井高 宏 (帰山)	陶芸家 目黒ユネスコ協会副会長
大野 弘	日本書道専門学校事務局長
北村 泰一	目黒区成人学校自主グループ連合会長
谷口 汎邦	東京工業大学助教授 目黒区長期計画推進懇話会委員
富岡 惣一郎	画家
橋本 敏一	目黒区立第七中学校校長
半沢 重信	文化庁文化財調査官
樋口 清之	國學院大学名誉教授 目黒区文化財保護審議会会長
三木 多聞	東京国立近代美術館企画資料課長

目黒区美術博物館建設専門委員名簿

(順不同、役職は在任当初のもの)

朝日 晃	東京都美術館事業課長
三木 多聞	文化庁文化財保護部企画官
谷口 汎邦	東京工業大学助教授
半沢 重信	文化庁文化財調査官
松原 濠	写真家

目黒区美術館開設準備委員名簿

(順不同、役職は在任当初のもの)

朝日 晃	広島市教育委員会 美術館開設準備事務局長
三木 多聞	国立国際美術館長
半沢 重信	文化庁文化財調査官
桑原 住雄	武蔵野美術大学教授

目黒区美術館開設準備臨時委員

(順不同、役職は在任当初のもの)

矢萩喜従郎	デザイナー
島崎 信	武蔵野美術大学教授
出口 眞臣	公認会計士

Ⅱ. 施設

● 工事概要

建築

所在地：東京都目黒区目黒二丁目4番36号
地域・地区：住居地域・準防火地域・第3種
高度地区

敷地面積：2033.53m²

建ぺい率：66.45%

容積率：199.61%

構造・規模：鉄骨鉄筋コンクリート造
地上3階・地下1階

建物高さ：17.89m

延床面積：4059.21m²

構造

主体構造：鉄骨鉄筋コンクリート造

その他：外壁花崗岩貼りジェットバーナー仕
上げ(乾式工法)

工期：着工昭和60年12月2日

竣工昭和62年3月31日

設計・監理：株式会社日本設計事務所

建築：株式会社竹中工務店東京本店

空調設備：株式会社朝日工業社本店

衛生設備：足立工業株式会社東京支店

電気設備：中国電気工事株式会社東京支店

昇降機設備：横浜エレベータ株式会社

● 面積表

展示・教育普及

展示室A：319.10m²

展示室B：170.46m²

展示室C：65.80m²

展示ロビー：44.80m²

ワークショップ：148.47m²

廊下・階段・その他：203.17m²

小計：951.8m²

区民ギャラリー

区民ギャラリー：379.53m²

控室：14.5m²

区民ギャラリーエントランス・階段・その他
198.82m²

小計：592.85m²

研究調査

資料室：102.79m²

修復室：46.09m²

小計：148.88m²

収蔵

収蔵庫A：408.36m²

収蔵庫B：53.85m²

前室：48.53m²

荷解室：62.58m²

搬出入口：56.57m²

展示用具室：73.40m²

エレベーター・倉庫・その他：229.63m²

小計：932.92m²

管理

事務室：58.05m²

館長室：32.47m²

理事長室：24.58m²

中央管理室：20.64m²

休養室：24.29m²

ワークショップ準備室：31.36m²

映像準備室：14.40m²

廊下・階段その他：178.18m²

小計：383.97m²

ホール等

エントランス：169.85m²

ラウンジ：55.84m²

ベビーコーナー：5.27m²

廊下・その他：343.58m²

小計：574.54m²

機械室等

機械室：277.14m²

電気室：67.59m²

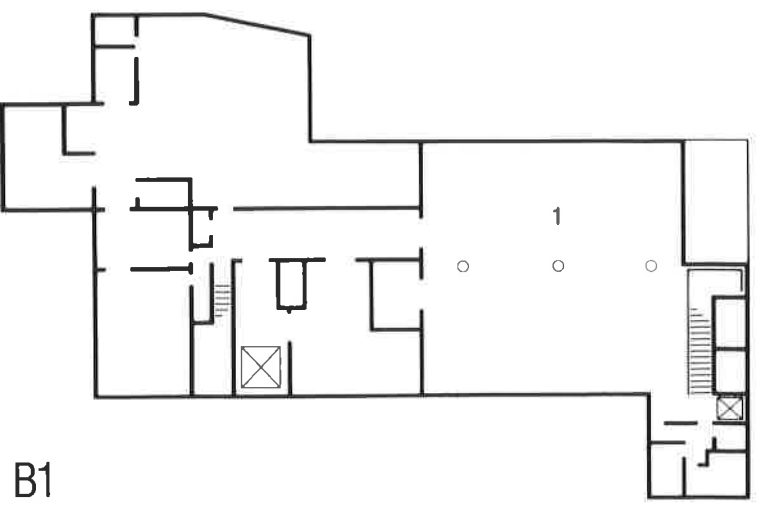
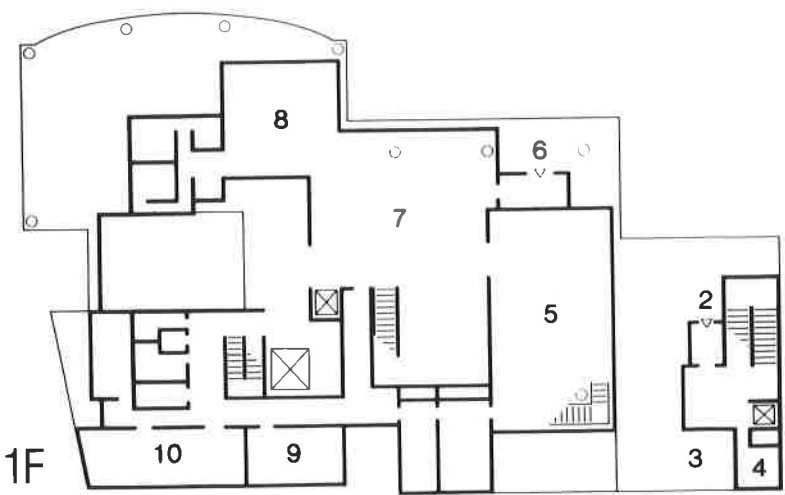
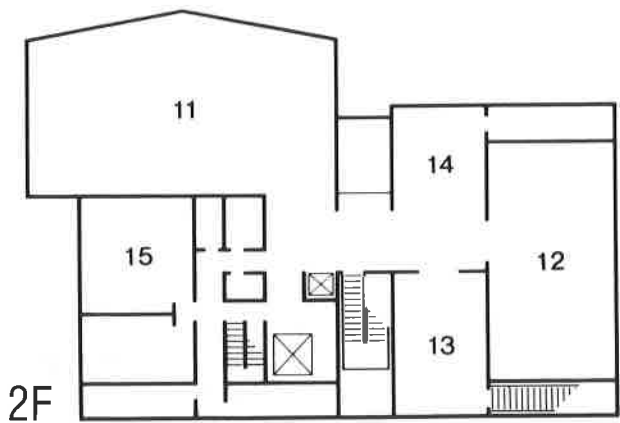
エレベーター機械室・自家発電電気室・その他
129.52m²

小計：474.25m²

合計：4059.21m²

●美術館平面図

- 1 区民ギャラリー
- 2 区民ギャラリー入口
- 3 区民ギャラリー搬出入口
- 4 区民ギャラリー 控室
- 5 ワークショップ
- 6 入口
- 7 エントランスホール
- 8 ラウンジ
- 9 館長室
- 10 事務室
- 11 展示室A
- 12 展示室B
- 13 展示室C
- 14 展示ロビー
- 15 資料室



Ⅲ. 規程

(1) 東京都目黒区美術館条例

(昭和62年3月13日目黒区条例第13号)(別表省略)

(設置)

第1条 目黒区における美術の振興を図り、教育および文化の向上に資するため、東京都目黒区美術館(以下「美術館」という。)を設置する。

(名称および位置)

第2条 美術館の名称および位置は、つぎのとおりとする。

名 称	位 置
-----	-----

東京都目黒区美術館	東京都目黒区目黒2丁目4番36号
-----------	------------------

(事業)

第3条 美術館は、第1条に定める目的を達成するため、つぎの事業を行う。

- 一 美術作品および美術に関する資料(以下「美術作品等」という。)を収集すること。
- 二 美術作品等を保管し、展示し、および利用に供すること。
- 三 美術に関する調査研究を行うこと。
- 四 美術に関する展覧会・講演会・映画会および造形講座等を主催すること。
- 五 美術館の施設を利用に供すること。
- 六 前各号に掲げるもののほか、東京都目黒区教育委員会(以下「委員会」という。)が必要であると認める事業

(休館日)

第4条 美術館の休館日は、つぎのとおりとする。ただし、委員会は、必要があると認めるときは、臨時に休館することができる。

- 一 月曜日。ただし、月曜日が国民の祝日に関する法律(昭和23年法律第178号)に定める休日にあたるときは、その翌日
- 二 1月1日から同月4日までおよび12月28日から同月31日まで

2 前項の規定にかかわらず、委員会は、必要があると認めるときは、臨時に開館することができる。

(観覧)

第5条 美術館が展示する美術作品等を観覧しようとする者は、委員会の承認を受けなければならない。

2 観覧料は、別表第1に定める額の範囲内において委員会がそのつど定める額とする。ただし、小学校就学前の者の観覧料は、無料とする。

3 第1項の規定により承認を受けた者は、ただちに前項の規定による観覧料を納付しなければならない。

(特別観覧)

第6条 美術館が保管または展示する美術作品等について、学術研究等のため模写・撮影等(以下「特別観覧」という。)をしようとする者は、委員会の承認を受けなければならない。

2 特別観覧料は、別表第2のとおりとする。

3 第1項の規定により承認を受けた者は、ただちに前項の規定による特別観覧料を納付しなければならない。

(施設の利用)

第7条 別表第3上欄に掲げる施設(以下本条および次条において「施設」という。)を利用しようとする者は、委員会の承認を受けなければならない。

2 施設を同一人が引き続いて利用できる期間は、4週間とする。ただし、委員会が特に必要があると認めるときは、この限りではない。

3 施設の使用料は、別表第3のとおりとする。

4 第1項の規定により承認を受けた者(以下「施設の利用者」という。)は、ただちに前項の規定による使用料を納付しなければならない。

(利用の不承認)

第8条 委員会は、観覧・特別観覧および施設の利用(第12条を除き、以下「利用」という。)について、つぎの各号の一に該当すると認めるときは、利用の承認をしない。

- 一 公益を害するおそれがあるとき。
- 二 秩序を乱すおそれがあるとき。
- 三 管理上支障があるとき。
- 四 前各号のほか、委員会が必要があると認めるとき。

(観覧料等の減免)

第9条 第5条第2項に定める観覧料・第6条第2項に定める特別観覧料および第7条第3項に定める使用料(以下「観覧料等」という。)は、つぎの各号の一に該当するときは、おのおのその所定額を減額し、または免除することができる。

- 一 東京都目黒区の区域内(以下「区内」という。)の小学校の児童・中学校の生徒およびこれらに準ずる者ならびにこれらの引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。 観覧料免除
- 二 区内の高等学校の生徒およびこれらに準ずる者ならびにこれらの引率者が教育課程に基づく教育活動として観覧するとき。 観覧料の100分の50相当額
- 三 区が第3条に定める事業を実施する目的で利用するとき。 使用料免除
- 四 前各号のほか、委員会が必要があると認めるとき。 観覧料等のうち委員会が相当と認める額

(観覧料等の不還付)

第10条 すでに納めた観覧料は、還付しない。ただし、委員会が特別の理由があると認めるときは、その一部または全部を還付することができる。

(利用の制限)

第11条 委員会は、利用について、つぎの各号の一に該当すると認めるときは、利用条件を変更し、または利用を停止し、もしくは利用の承認を取り消すことができる。

- 一 この条例またはこの条例に基づく規則その他の規程に違反したとき。
- 二 利用目的または利用条件に違反したとき。
- 三 災害その他の事故により、利用ができなくなつたとき。
- 四 前各号のほか、委員会が特に必要があると認めるとき。

(原状回復の義務)

第12条 施設の利用者は、その利用が終わつたときまたは利用を停止されたときもしくは利用の承認を取り消されたときは、ただちに原状に回復しなければならない。

2 施設の利用者が前項の義務を履行しないときは、委員会が執行し、その費用を当該利用者から徴収する。

(利用権の譲渡等禁止)

第13条 利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)は、利用の権利を譲渡し、または転貸してはならない。

(禁止行為)

第14条 利用者は、つぎの行為をしてはならない。

- 一 承認外の施設を利用すること。
- 二 定められた場所以外で火気を使用すること。
- 三 無断で設備その他の現状を変更すること。

四 施設を同時に利用している他の者または近隣に迷惑のかかる行為をすること。

五 前各号のほか、管理上支障があると認められる行為をすること。

(損害賠償)

第15条 美術館に入館した者は、美術作品等・施設および器具等に損害を与えたときは、委員会の定める損害額を賠償しなければならない。ただし、委員会がやむを得ない理由があると認めるときは、賠償額を減額し、または免除することができる。

(職員)

第16条 美術館に、事務職員・技術職員その他必要な職員を置く。ただし、次条の規定により、美術館の管理を委託し、職員を派遣した場合は、この限りではない。

(管理の委託)

第17条 委員会は、民法(明治29年法律第89号)第34条の規定により設立された法人に対し、美術館の管理を委託することができる。

2 委員会は、前項の規定により美術館の管理を委託する場合において、管理事務のうち、第3条第2号から第6号までに掲げる事務を委託することができる。

3 委員会は、受託した法人に対して、委託した教育機関としての事務の円滑な運営を図るため、必要に応じて、職員を派遣するものとする。

4 第2項に定める管理事務を委託する場合において、当該管理事務の執行に要する経費は、予算の範囲内において委託料として支払うものとする。

(委任)

第18条 この条例の施行に関し必要な事項は、委員会が定める。

付 則

この条例の施行期日は、規則で定める。(昭和62年10月規則第61号で、同62年11月15日から施行)

(2)東京都目黒区美術館条例施行規則

(昭和62年11月10日目黒区教育委員会規則第17号)(別表・別紙・様式省略)

(趣旨)

第1条 この規則は、東京都目黒区美術館条例(昭和62年3月東京都目黒区条例第13号。以下「条例」という。)の施行に関し、必要な事項を定めるものとする。

(開館時間)

第2条 東京都目黒区美術館(以下「美術館」という。)の開館時間は、午前10時から午後6時までとする。ただし、東京都目黒区教育委員会(以下「委員会」という。)が必要があると認めるときは、開館時間を変更することができる。

(観覧)

第3条 委員会は、条例第5条第2項による観覧料(以下「観覧料」という。)が納付されたときは、当該納付者に対し、観覧券(別記第1号様式)を交付するものとする。この場合において、観覧券の交付をもつて利用承認書の交付にかえるものとする。

(特別観覧)

第4条 条例第6条第1項の規定に基づき、美術館が保管または展示する美術作品および美術に関する資料について、学術研究等のため模写・撮影等(以下「特別観覧」という。)をしようとする者は、特別観覧申請書(別記第2号様式)を委員会に提出しなければならない。

2 前項に定める申請書は、特別観覧をしようとする日の6月前の応当日(応当日がない場合は、翌月の初日。以下同じ)から受け付ける。

3 委員会は、第1項の申請につき、その特別観覧を承認し、かつ、条例第6条第2項の規定による特別観覧料(以下「特別観覧料」という。)を徴収したときは、申請をした者に対し、特別観覧承認書(別記第3号様式)を交付する。

4 特別観覧承認の順序は、申請の順序により行う。ただし、同時に申請があつたときは、くじにより決めるものとする。

(施設の利用時間)

第5条 条例別表第3上欄に掲げる施設(以下「施設」という。)の利用時間は、委員会の承認を受けた時間とし、準備および現状回復に要する時間を含むものとする。

2 施設の利用時間は、午後6時を超えることができない。ただし、委員会が必要があると認めるときは、午後8時までとすることができる。

3 施設の利用者が利用を開始した後においては、利用時間の延長をすることができない。ただし、委員会が他の利用に支障がないと認める場合は、前項に定める時間の範囲内で、利用時間を延長することができる。

(施設の利用手続)

第6条 条例第7条第1項の規定に基づき、施設を利用しようとする者は、施設利用申請書(別記第4号様式)を委員会に提出しなければならない。

2 前項に定める施設利用申請書は、利用期日の6月前の応当日(継続して2日以上利用する場合には、当該利用期間に係る施設利用申請書については、当該利用期間の初日の6月前の応当日)から受け付ける。ただし、区または条例第17条の規定により美術館の管理を委託している場合における受託法人が、美術の振興を図るために利用しようとするときは、この限りではない。

(施設の利用承認)

第7条 委員会は、前条第1項の申請につき、その利用を承認し、かつ、条例第7条第3項の規定による使用料(以下「使用料」という。)を徴収したときは、申請をした者に対し、施設利用承認書(別記第5号様式)を交付する。

2 利用承認の順序は、申請の順序により行う。ただし、同時に申請があつたときは、くじにより決めるものとする。

(利用の不承認)

第8条 委員会は、条例第8条の規定により観覧・特別観覧および施設の利用(以下「利用」という。)を承認しないときは、申請をした者に対し、利用不承認通知書(別記第6号様式)を交付する。

(特別観覧の承認の取消し)

第9条 第4条第3項の規定により特別観覧の承認を受けた者が、特別観覧の取消しをしようとするときは、特別観覧承認取消申請書(別記第7号様式)を委員会に提出しなければならない。

(施設の利用承認の取消し)

第10条 第7条1項の規定により施設の利用の承認を受けた者が、施設の利用の取消しをしようとするときは、施設利用承認取消申請書(別記第8号様式)を委員会に提出しなければならない。

(観覧料等の減免)

第11条 条例第9条の規定により観覧料・特別観覧料または使用料(以下「観覧料等」という。)の減免を受けようとする者は、利用の申請の際に、観覧料等減免申請書(別記第9号様式)を委員会に提出しなければならない。

2 委員会は、前項の申請につき、観覧料等の減免を承認したときは観覧料等減免承認書(別記第10号様式)を、観覧料等の減免を承認しないときは観覧料等の減免不承認通知書(別記第11号様式)を、申請をした者に交付する。

(観覧料等の還付)

第12条 条例第10条ただし書に規定する特別の理由とは、つぎの各号に掲げる場合をいい、これに該当するときは、おのおのその所定額を還付することができる。

一 利用の承認を受けた者(以下「利用者」という。)の責任によらない理由で利用することができないとき。

全額

二 条例第11第3号または第4号の規定により利用の承認を取り消したとき。

全額

三 第9条の規定により特別観覧をしようとする日の1月前の応当日前までに特別観覧の承認の取消しを申し出たとき。

全額

四 第10条の規定により利用期日の2月前の応当日前までに施設の利用承認の取消しを申し出たとき

100分の50相当額

2 前項の規定により観覧料等の還付を受けようとする者は、観覧料等還付請求書(別記第12号様式)に観覧券・特別観覧承認書または施設利用承認書を添えて委員会に提出しなければならない。

(利用制限の通知)

第13条 委員会は、条例第11条の規定によりその利用条件を変更し、または利用を停止し、もしくは利用の承認を取り消したときは、利用者に対し、利用制限通知書(別記第13号様式)を交付する。

(委任)

第14条 この規則の施行について必要な事項は、教育長に委任する。

付 則

この規則は、昭和62年11月15日から施行する。

付 則 (平成元年3月31日教委規則第6号)

- 1 この規則は、平成元年4月1日から施行する。
- 2 この規則による改正後の東京都目黒区美術館条例施行規則第12条の規定は、この規則の施行の日以後の特別観覧申請および施設の利用申請(以下「利用等の申請」という。)に係る還付について適用し、同日前の利用等の申請に係る還付については、なお従前の例による。

(3)目黒区美術館資料収集委員会要綱

(平成元年1月25日 目区セ業二第148号)

(設置目的)

第1条 目黒区美術館資料について、購入および寄贈による取得ならびに受託の適正を図るため、目黒区教育委員会に目黒区美術館資料収集委員会(以下「収集委員会」という。)を置く。

(所掌事項)

第2条 収集委員会は、目黒区美術館資料取扱要綱第3条第1項および第4条第2項の規定に基づき、目黒区教育委員会教育長(以下「教育長」という。)が諮問した目黒区美術館資料の選定および評価等を行い、その結果を教育長に答申するものとする。

(組織および委員会)

第3条 収集委員会は、委員10名以内で組織する。

2 委員は、学識経験を有する者の中から教育長が委嘱する。

3 委員の任期は2年とする。ただし、再任を妨げない。

4 補欠または増員により選任された委員の任期は、前任者または現任者の残任期間とする。

(委員長)

第4条 収集委員会に委員長を置く。

2 委員長は、委員の互選により定める。

3 委員長は、収集委員会の会議を主宰する。ただし、委員長に事故があったときは、あらかじめ委員長が指定する委員が会議を主宰する。

(会議)

第5条 収集委員会は、委員長が招集する。

2 収集委員会は、委員の半数以上の出席がなければ開催することができない。

(謝礼等)

第6条 収集委員会に出席した委員には、別に定める謝礼を支払う。また、必要なときには費用弁償を行う。

(事務局)

第7条 収集委員会に関する事務は、目黒区民センター管理事務所業務第二課が所管する。

(雑則)

第8条 この要綱に定めるもののほか、収集委員会の運営に関して必要な事項は、教育長が定める。

付 則

1 この要綱は、平成元年1月25日から施行する。

2 目黒区立美術館(仮称)資料収集委員会要綱(昭和56年11月13日目教美発第37号)は廃止する。

このほか、東京都目黒区博物館資料取得基金条例(昭和55年3月31日目黒区条例第9号)等の関係規程がある。

IV. 組織

目黒区美術館は、目黒区が設置し、財団法人目黒区芸術文化振興財団が運営している。
なお財団の職員は、目黒区派遣職員を主体としている。

●財団組織図



V. 名簿

(1)財団法人目黒区芸術文化振興財団理事・監事

(順不同,平成元年3月31日現在)

役職	氏名	備考
理事長	河原 勇	目黒区助役
副理事長	伊藤 一郎	目黒区教育委員会教育長
常務理事	佐々木英和	財団事務局長
理事	岩崎 吉一	東京国立近代美術館企画資料課長
〃	太田 清藏	東邦生命保険相互会社社長
〃	太田 久行	作家
〃	大庭美奈子	作家
〃	野沢満理子	知識経験者
〃	栗山鈴太郎	知識経験者
〃	加藤 貞雄	目黒区美術館長
〃	薬師寺克一	目黒区総務部長
〃	長田 晃	目黒区社会教育部長
監事	松田 幸夫	目黒区工業団体連合会会長
〃	石田 寛治	目黒区収入役

(異動)

役職	氏名	在任期間
常務理事	和田作治郎	(昭和62年10月1日～昭和63年9月30日)
理事	長谷川光延	(昭和62年10月1日～昭和63年5月31日)
〃	平野 勲	(昭和62年10月1日～昭和63年5月31日)
〃	石田 寛治	(昭和62年10月1日～昭和63年9月30日)
監事	石川 禎英	(昭和62年10月1日～昭和63年10月2日)

(2)財団法人目黒区芸術文化振興財団評議員

(順不同,平成元年3月31日現在)

役職	氏名	備考
評議員	濱田 祐次	目黒区議会議員
〃	小林 道男	〃
〃	長谷川光延	〃
〃	渡部 弘	〃
〃	堀田 武士	〃
〃	下岡 興治	〃
〃	中沢 信平	〃
〃	芳賀 力	目黒区教育委員
〃	横山 宏	目黒区社会教育委員(早稲田大学教授)
〃	杉山 光男	目黒区立東山中学校校長
〃	原川 薫光	目黒区立中根小学校校長
〃	井手 宣通	画家
〃	岩壁富士夫	画家
〃	秋岡 芳夫	工業デザイナー
〃	続木 湖山	書作家
〃	安原 喜孝	陶芸家
〃	有泉 譲	目黒区子ども会名譽会長
〃	影山 敏男	新生文化普及協会理事長
〃	佐々木松栄	婦人団体連合会会長
〃	老田喜八郎	住区住民会議連絡協議会
〃	祝 迫 規之	目黒地区労働組合協議会議長

(異動)

役職	氏名	在任期間
評議員	岡田 健一	(昭和62年10月1日～昭和62年12月29日)
〃	本田 早苗	(昭和62年10月1日～昭和63年5月31日)
〃	横山 大	(昭和62年10月1日～昭和63年5月31日)
〃	原 千万年	(昭和62年10月1日～昭和63年5月31日)
〃	上野 昇	(昭和62年10月1日～昭和63年2月18日)
〃	池田 成治	(昭和62年10月1日～昭和63年3月31日)

(3)目黒区美術館資料収集委員会

(順不同,平成元年3月31日現在)

役職	氏名	備考
委員	朝日 晃	広島市現代美術館副館長
〃	桑原住雄	武蔵野美術大学教授
〃	細野正信	山種美術館学芸部長
〃	三木多聞	国立国際美術館長

(4)目黒区美術館職員

(順不同,平成元年3月31日現在)

役職	氏名	備考
館長	加藤貞雄	
副館長	横田俊文	(昭和63年4月1日 目黒区より転入)
主査	加藤義光	
主事	降旗千賀子	(学芸員)
〃	矢内みどり	(〃)
〃	山田敦雄	(〃)
〃	塚本紀久子	(〃)
〃	正木 基	(〃)
〃	重田 誠	(〃)
〃	宇田川昇	
〃	羽山 稔	
〃	松浦桂子	(昭和63年4月1日 目黒区より転入)

(異動)

役職	氏名	在職期間
副館長	津田九平	(昭和62年10月1日～昭和63年3月31日)
主事	山本ますみ	(昭和62年10月1日～昭和63年3月31日)

Ⅵ. 案内

観覧時間：10：00a.m.-6：00p.m.

(ただし入館は5：30まで)

休館日：月曜日(祝日・振替休日の場合はその翌日)

年末年始

観覧料：展覧会ごとにその都度定める。



交通案内：

●JR山手線目黒駅(西口)，東急目蒲線目黒駅より徒歩10分

●バス，渋谷駅より東急 渋41-大井町駅行，田道小学校入口下車3分

目黒駅より東急，都営 黒01-大岡山小学校行/
黒02-二子玉川園行/
黒06-三軒茶屋行/
恵73-弦巻営業所行/
東98-等々力操車場行/ 権之助坂下車3分

昭和62・63年度
目黒区美術館年報

1991年3月1日発行

編集・発行／目黒区美術館
〒153 目黒区目黒2-4-36
TEL 03-3714-1201(代)

制作／印象社